

REHABILITATION GAZETTE

INTERNATIONAL JOURNAL AND INFORMATION SERVICE FOR THE DISABLED

リハビリテーション ギャゼット

四肢麻痺者のための会報

4





REHABILITATION GAZETTE

INTERNATIONAL JOURNAL AND INFORMATION SERVICE FOR THE DISABLED

1974 Volume XVII

リハビリテーション・ギャゼット国際版は、障害をもった人々と障害を持った人と一緒に働く人々への情報提供の雑誌です。編集者はジニーとジョーで、二人とも非障害者のボランティアですが、二人の家を編集と調査のセンターとしています。その他数人のボランティアのスタッフと多くの世界中にいる障害者の特派員が、いつもニュースや情報を知らせてくれます。

目ざすものは：世界中にいる障害者と連絡をとり、情報を提供して、自信と誇

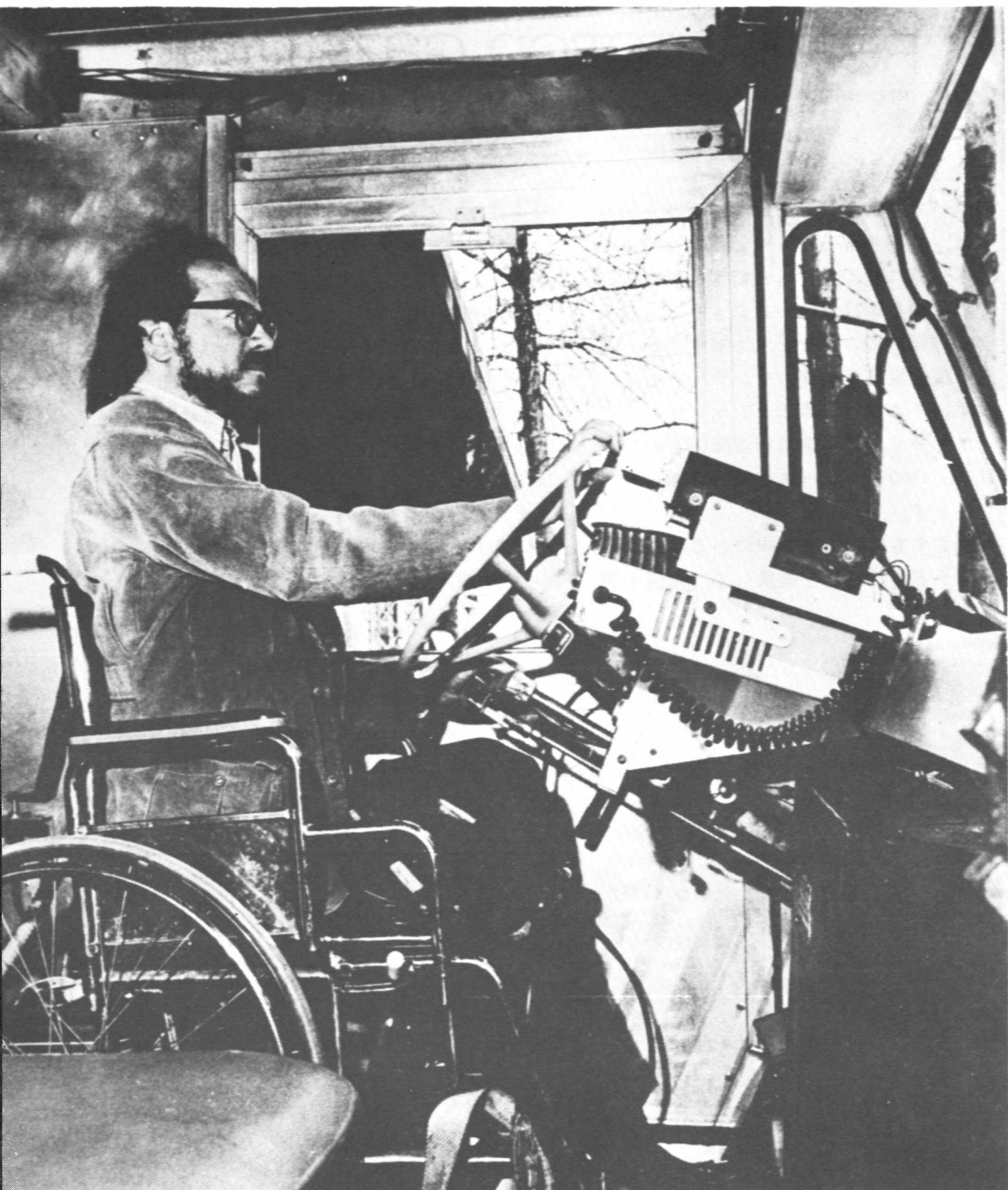
りを持たせることです。

リハビリテーション・ギャゼットは、ボランティアによって組織されている非営利の組織で、寄付金には税が控除されています。宣伝を全くしないので読者の寄付が唯一の財源ですが、それでは印刷代、郵便代、材料費、その他の諸経費の値上り分を埋め合わせるには十分ではありません。

それで大変遺憾なのですが、1部につき障害者から2ドル、非障害者から4ドルずつの寄付をお願いしています。

発行者：Gini and Joe Laurie
Rehabilitation Gazette
4502 Maryland Ave,
St. Louis, Missouri 63108
U. S. A.

これはリハビリテーションギャゼット国際版の巻頭のメッセージです。



第4号の序

鉄道弘済会囑託 松本 征二

私は、長い間、身体障害者福祉に関係をもち、大ぜいの身体障害者の諸兄姉や、その関係者に接してきたが、最初の身体障害者福祉法の実施当時にくらべると、背景となる。社会経済の変動もあって、障害者福祉の事も、身障者諸君の心がまえにも、いちじるしい進歩がみられて、まことに御同慶に堪えない。

身体障害者福祉法の第一条に書いてある“身障者の更生を援助する”という法律の目的をしるした項目では、何故更生と保護・援助を並行してしるさなかったかと、障害者諸君に、ひどく叱られたことも思い出になった。また、元気のよい傷い軍人や、一般障害者諸君に一度とりかこまれて、“お前は偉らそうにしているが、貴方自身が手足を切断されたり、機能マヒにならなければ、本当の俺たち気持はわからないんだ”と、つめよられたことがあった。

身障者諸君の身になって、みんなといっしょに肩をならべて、五体満足な人達といっしょに生活を楽しむためには、身障福祉に努力する人はもちろんだが、障害者諸君も、この世の中に飛びだし、すすんでその残った能力・筋肉をいかし、進めさせるといふ努力が、なにより大切で、それがこの頃になって、漸く芽をだしてきたような気がする。もちろん、まだ改善し、改良する点は数限りなくあるのではあるが……。

このギャゼットは、世界中の障害者が、非障害者をまじえて、“情報を交換し、自信と誇りを障害者にもたせよう”ということを目的にしているが、まだその掲げた“ひかり”は、ささやかで、小さなものにすぎない。しかし、世界中の障害者諸君や五体満足な人達が、手を取りあって、大きなともしびにしようと、地道な運動を続けている。よくわが国で、第4号の発行まで漕ぎつづけたと敬服する。

永井昌夫先生や、丸山さんをはじめ、その他の関係者は、この本の発行に余暇をさいて、一生懸命に努力されている。なにとぞ、この小さなともしびが、やがて大きくかがやいて、世界中の障害者諸君や、非障害者に、大きな希望と誇りを持たせるように、切に祈って已まない次第である。

1976年12月

Volume XVII

REHABILITATION GAZETTE (formerly "Toomey Gazette") is published once a year by a volunteer staff. Its aim is to reach, to inform, and to dignify the disabled throughout the world.

Editors: Gini and Joe Laurie

Artists: Mickie McGraw*, Bob Tanton*

Book Reviewer: Donna McGwinn*

Accountant: Doris Jones*

Legal Counsel: Alan Arnold*

Advisors: Willie Bjorkman, Dorothy & Ray Davis, Marion Greene, Dr. Duncan Holbert*, Nancy Hoover, Jo & Ernest + Kirschten, Mike Huston, Mickie Martin, Frances Payne, Mary Schrage +Deceased, July, 1974

Correspondents: Susan Armbrecht*, Doris Brennan*, Robert Hitz*, Blanche* & Lenny* Goldwater, Jean Stange*, Nancy Westman*

International: Chantal Benn, Gabriela Brimmer*, Arturo Gomez*, Arturo Heyer*, Ronald J. Dickson*, Erich Krell*, Cyndy Pohlmann, Dr. Masao Nagai*, Dr. H. B. C. Sandiford, Eileen Van Albert*

*の印は身障者です。

DONATION per annual copy

\$2 from the disabled

\$4 from the able bodied

All contributions are tax deductible

日本語版では 1部につき

身体障害のある方 500円

身体障害のない方 800円

のご協力をいただいています

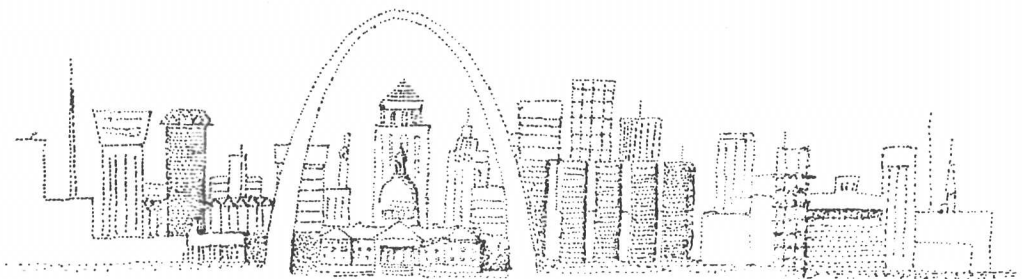


リハビリテーション ギャゼット

No.4 目次

リハビリテーションギャゼット国際版の
ごあいさつ
第4号の序／松本征二

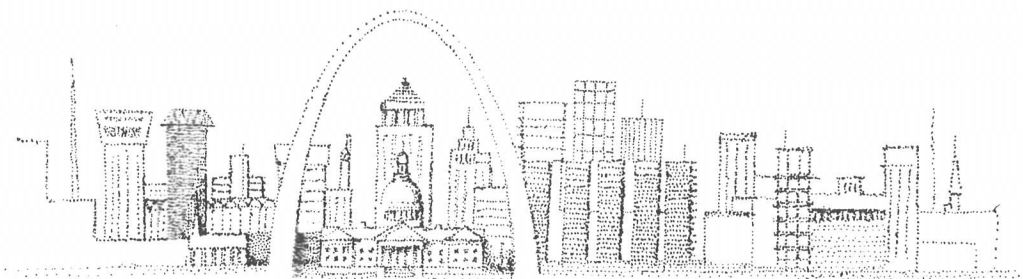
1. 旅行..... 6
 - トロントの休日..... 6
 - メキシコの旅行..... 8
 - 車椅子の旅 8／人工呼吸装置を持つての自動車旅
行 11／車椅子旅行の心得 11
 - キャンプ用バンでドライブ..... 12
 - 身体障害者旅行クラブ..... 15
 - 人工呼吸装置のついたレクリエーション用自動車..... 16
 - 製造業者..... 17
 - 特別旅行代理店..... 17
 - アメリカ合衆国車椅子ガイドブック..... 17
 - 車椅子の海外旅行..... 18
2. 教育と職業..... 22
 - 法学生..... 22
 - 司書..... 23
 - James Lee Solenberger 24／R. Brantly Cagle Jr. 24
 - 筆跡学..... 26
 - 筆跡学の勉強 26／職業としての筆跡学 26／趣味と
しての筆跡学 27
 - 公報／図書館員..... 27
 - 民間保健機関の部長..... 28
 - 目覚しサービス..... 29
 - クリスマスカードのデザイナー..... 30
 - 3Mでのリハビリテーション..... 30
 - 大学専任講師..... 32
 - 著作：やりがいのある挑戦..... 34



3. 身障者のためのボランティア活動	37
特別な子供を養子にすることへの援助	37
相談電話／ボランティア訓練センター	38
補助具の貸出し	39
ラジオで語りかける本／有線放送	39
動きへの挑戦	40
音の郵便による治療	40
国際ロータリークラブ	41
ACTION	42
ボランティア活動の情報センター	42
4. 障害への適応	44
障害への適応に役立った考え方や経験	44
〃 の妨げとなった考え方や経験	47
5. 読書案内	51
“身障者のための就職の機会”	51
“性をよく理解するために”	52
“パットとロアルド”	53
“対人関係，身障者とコミュニティ，ヨーロッパの思想及び解決策”	54
6. 趣味	56
7. リハビリテーションにおけるバイオフィードバック	59
8. ドイツの呼吸治療法	65
9. シャルコー・マリー・トウース症候群	67
10. アメリカにおける身障者関係の法律	69
11. 世界の友達	74
12. 自助具	79

日本の情報

1. 車イス東京ガイド・他県のガイド	21
2. 車イスヨーロッパの旅	19
3. 頸損の会をご存知ですか	49
4. 東海大学リハビリテーションセンター開設	78
5. ホテルニューオータニの身障者用ルーム	20





トロントの休日

M. G. Eisenberg (薬学博士)

病院生活を送る上で、患者の心を非常に弱らせてしまう事柄の1つとしてあげられるものに、社会と長い間つながりを持つことができないということがあります。脊髄損傷者が社会に復帰することはなかなか難しく、多種多様な、又継続的な療養や治療を必要とするため、多くの場合不可能とさえ言われます。患者は社会から隔てられている間に、不安、内攻、絶望、敵意等を含む、種々の深刻な心理学的問題にぶつかります。

オハイオ州クリーブランドにある退役軍人病院の脊髄損傷者部会の数人の患者の提案によって、長い病院生活の結果生じた色々な問題を克服するための旅行が計画されました。最初は患者自身の手によっておおよその計画がなされ、後に病院側によって具体的に肉付けされました。旅行に参加する患者は各自の

旅費を責任を持って調達し、病院は患者の介添をする適当な看護人を世話することになりました。

患者自身によって提案された長期旅行は退役軍人病院の中でも目新しいものでした。しかしそのうちの何人かは常に注意を要するような脊髄損傷の患者たちに、旅行中適当な処置を施さなければならないと考えるといささか不安でもありました。法律的、医学的責任は最初に明確にされるべき問題の一つでした。旅行の計画がすすむにつれて病院側の参加を必要とする問題が増えてきました。例えば、患者たちはカナダのトロントへ自分たち個人の車で行くことに決めました。この決定は一見道理にかなっていませんでした。トロントはクリーブランドから北東わずか300 マイルのところにあるのに、異国なので異った文化を楽しむことができるのです。個人の車で行くという決定も、患者たちの身体的条件に基づいて成されたものでした。病院側が世話できる政府所有の大型バスは、じょくそうを悪化させずに長い旅行に耐えなければならない患者たちにとっては余り快適とは言えませんでした。又、トロントに着いてからも数台の車で行った方が、ずっと自由に行動できるように思わ



左から、E. Robinson, Ed. Brown看護婦, R. Townsend, & L. Aspls博士

れました。

しかしながら患者たちの側で成されたこの2つの決定で病院側の役割は益々難しくなりました。果して、看護婦が外国で合法的に仕事ができるだろうか。個人個人の車で旅行していて、何かあった場合うまく対処できるだろうか。トロントに行ってから一体どこでどのようにして排尿、排便の処置を施したらよいのだろうか。緊急事態が発生した場合は一体どこに援助を求められるだろうか。結局のところ、あれやこれやの問題も皆の満足が行くように解決しました。

患者たちは今ではクリーブランドに帰ってきています。そして5日間の旅行は成功だったようです。旅行には8人の患者が、四肢まひ者が5人、対まひ者が3人、行きました。付添として看護婦が1人、準看護婦が1人、看護助手が3人リクレーション療法士が1人参加しました。旅行中彼らは町を楽しく見物し、生き生きとした生活にふれました。

今年は8人の患者が参加しただけでしたが、来年はもっと多くの人に参加してもらいたいと思うのです。と申しますのも、色々な問題を解決し、前例を作っていくうちに、言わばもう一つの旅行、楽しいばかりでなく知らず

知らずのうちに治療をしたことにもなるからです。リハビリテーション施設内の人たち、入院中の人たち、又家の中に閉じこもっている人たちがこの記事を読んで、同じような冒険を計画して下さることを願っています。皆さんの智恵と熱意こそが成功の鍵なのです。

**住所：M.G.Eisenberg, Ph.D., Coorbina-
tor of Psycho-Social Rehabilita-
tion, Spinal Cord Injury Service,
10701 East Boulevard, Cleveland,
Ohio 44106, U.S.A.**

編集者注：カナダ旅行のため非常に役立つ手引書としてThe Caliperがあります。これは、Canadian Paraplegic Association(カナダ対まひ協会)住所：153 Lundhurst Avenue, Tronto, Ontario M5 R3 A2, Canadaが、年会費2ドルで発行しているものです。もし旅行がさし迫っているならば、1974年春の号から注文すると良いでしょう。この号にはカナダの400以上のホテル、モーテル、観光地等が詳しくでています。The Caliperの毎号に、各地区の支部の代表者と住所が載っています。何か特別の問題がある場合には、前もって連絡しておくことをおすすめします。さらに、

カナダの対まひと四肢まひの方で自動車（バン）用の自動リフトを必要とする人は次のところへ連絡してください。Para Industries Limited, # 4, 1255 45th Avenue N.E., Calgary Alberta T2E 2P2, Canada

メキシコ旅行

車椅子の旅

Blanche and Lenny Goldwater

プエルトヴァーラータまでジャングルを通過してのドライブ、アカプルコの荒海のスリル満点の船旅、メキシコ・シティー郊外のトルテック廃墟の探検、クエルナヴァカの古い教会堂でのマリアッチのミサ、グアナフアートの美しい通り（それも階段がたくさんある細い道）の散歩、史跡の町サンミゲルデアレンデの見物、グアダラハラ町の気まなな見聞、これらのことがメキシコを車椅子で旅行した時の様子だと思われますか。そうなんです、それもごく一部のことなのです。但しJuan Antonio Heyerを旅行のガイドにしたならばの話です。

私たちのガイドは不可能を可能にした
Juanに出会ったことは私たちの幸運でした。Gini Laurieはグアダラハラにいる間に、ギャゼットの寄稿家であるArturo Heyerに会うことを勧められました。Arturoは四肢まひ者でエンジニアの学位を持っています。彼が進めている色々なプロジェクトの中に重度の身障者のための自動具の開発があります。Giniは知らなかったのですがArturoにはJuanという弟がいました。Juanは大学で旅行を専門に学び、現在では旅行代理店を開いてい



左よりLennyとBlanche Goldwater

て、身障者のメキシコ旅行については専門家と言ってもよい人です。彼は自分の国を愛し、外国人にメキシコを見せることを誇りにしています。若く、たくましく、熱意にあふれていて、その上美男子です。つまり非の打ちどころのないガイドです。

ところでJuanが決して文句を言わないようにと言ったことが2つありました。第一は建築上の障壁についてでした。彼は階段や、砂利や、でこぼこ道などまるで存在しないかのように行動しましたし、私たちがまさにそういう場所に連れて行きました。もう一つ彼にうるさく言わないと約束したことは、時間でした。私たちは「マニャーナ manana」（そのうち）という歌や物語が本当にメキシコのたとえ話であることを知りました。メキシコ人は時間厳守というような事に思い思いうことを好みません。時間にきちょうめんなアメリカ人にとって、これはかなりやっかいなことです。Juanは根っからのメキシコ人だったので、時間を守ることにはまるで関心がありませんでした。

私たち一行は5人連れでした。Juan、友達Marvin Lansky、息子のAdonis、そして

我々夫婦でした。Juanは私たちが行けるとは思ってもみなかったような所まで含めて実に色々な場所を案内してくれました。Juanは私たちを車椅子ごと、フォルクスワーゲンバンに乗せ、車椅子をしっかりと固定して、どんなに車がゆれても動かないようにしました。18才になる活発な Adonis が私たちの車椅子を色々な場所へ運んでくれましたが、もしJuanが何だってやろうと思えばできないことはないと言いき張らなかつたら私たちはあそこまでやれなかつたらうと思います。というのも、私たちは不可能と思われることをたくさんやってきたのですから。友だちの Marvin は松葉杖で歩く際に、それは当然の事なのですが、時としていささかつらいと感じたため、いつも私たちについて来れるとは限りませんでした。

グアダハラ

グアダハラは私たちの大好きな町で、そこに一番長く滞在しました。皆さんもその町がきっと好きになるにちがいありません。長く居れば居る程その良さがわかってきて、増々身近なものとなります。人口50万人程の都市で、夜は何もかもが暖い黄色味がかかった光に照らし出されて一層美しくなります。グアダハラの夜はかんばしい香りがして、外に出ているととても気持ちが良く、その上夜でも安全です。

現在では、200~250人のアメリカ人の身障者がそこに住んでいます。アメリカの全人口のうちで何万人になるかわかりませんが、殆んどの人々は収入が固定しています。そういう人たちにとって、グアダハラに住むことは経済的に意義があります。というのも身障者の収入は、多くの場合、低い水準にあるので、そこに住むことは経済的に必然性があると言えるのです。アメリカの水準で考えると低いと思われる収入でも、メキシコではかなりの生活ができるのです。グアダハラに住む身障者の大部分は、政府から支給される年金で暮している退役軍人です。民間人の身障者は進行性の病気（筋ジストロフィーや多発

性硬化症）にかかっている人で、雇用先から身体障害者年金をもらって退職した人たちです。脊髄損傷の人たちも事故の補償金を受けていて、ここではそのお金が大いに役立つことを知っています。

Eileen Van Albertは難問解決屋

ここの身体障害者のグループの中ではたいのいの人がお互いをよく知って、共通の話題を持っています。グループの中心的存在は、Eileen Van Albert のようです。私たちは彼女を情報及び援助の中央交換所のように考えています。最も古い居住者の1人である Eileen は11年前にグアダハラにやって来ました。カリフォルニアで生活することが肉体的に困難になり、又経済的にも苦しくなるころまで筋ジストロフィーが進んでいた時でした。今や彼女は新しい居住地で非常な成功をおさめていて、皆の問題を解決する人になっています。家を探してる？ お手伝いさんが要る？ 介添人が必要？ 配管工？ 植木屋さん？ 何か良いアイデアは？ 適当な話しあい手は？ それなら Eileen に電話してごらん下さい。これを聞いて彼女は奇蹟をうむ人だと思うかもしれませんが、実際彼女はそうなのです。私たちは彼女について経験したことを話しているだけなのですから。

身体障害者用特別住宅

グアダハラのアメリカ人がある限られた地区だけに住むように強制されていないのと同様に、身障者も一カ所にかたまわって住んではいません。彼らは町中の色々な場所に散らばっていて、一戸建ての家やアパートや身障者用の特別住宅に住んでいます。特別住宅はバスルーム付、まかない付、看護付の個室が備わっていて、家賃は1ヵ月185ドルから300ドルです。

この特別住宅に住みたい身障者のために基本的なことをお知らせしましょう。個室（かなり大きいものもある）には車椅子に合わせた大きいバスルームがついていて、モーターなみの設備が整っています。月に50~60ドル

の割増金を払うと個人的な看護助手がつき、そのためのスペースもあります。各住宅には大食堂がついていて、1日3食世間並の食事が出ます。居住者同志は食事時や気がむけばいつでも親交を深めることができます。

住宅は非常に近代的なもの(Villa del Sol)から、貧弱で少々傾きかけたものまで物理的条件によって色々異なっています。しかしながら物理的条件だけが選択の理由にはなりません。Villa del Sol ほど近代的ではなくとも Hacienda de Fuentes(Villa del Sol から1ブロック離れた所にある住宅)はその雰囲気や居住者同志の仲が良いことから、最も人気のある住宅のように思われます。この住宅は四肢まひ者の Paul Patino が経営しています。

住宅では時おり映写会やマリアッチの演奏会等が催されることがあります。しかしたいの場合、人々は自分自身で楽しみを見つけています。私たちが訪れた住宅のうちで最も感心したのは、Eileen Van Albert の弟の Ken Ginsterblum が経営している住宅で、とても協調的で家庭のような感じでした。Ken の住宅は他の所にありがちな施設のような雰囲気がありません。そこは大きな家のように、8人の居住者たちがお互いの存在を認めあって暮しています。彼らはそこを家庭と考えており、あなたもそこへ足を踏みこめば、彼らの考え方がわかるでしょう。

独立生活

もっと独立した、プライバシーのある生活を望む人々にはアパートや一戸建の家があります。大概の場合建築上の問題も何とかなり、家賃も安い所からまああの所まで様々です。私たちが見た所では、月50ドル出すとこぎれいで程良い寝室が2つと中庭のついた家が、又、180ドルでは寝室が4つ、バスルームが3つ、泉水池、庭園、造作つきの家が借りられます。各人の要求とふところ具合に応じたものが手に入ります。身の囲りや、家事を手伝ってくれる介添人は月々60ドルから120ドルで雇えます。食料品はたいいものは安

く、電話も、ガスや電気代等の他の公益費と同じく安くすみます。全体として、身障者の夫婦がかなり高い水準の生活を、1ヵ月400～500ドルでおくることができます。独身者では、歩ける人だと全てを含めて月々250ドルあれば暮せますし、介添人を必要とする人でしたら、最小限300ドルは用意すべきでしょう。

誰も行かない遠い国

私たちがこういった住宅で会った多くの人々には共通する興味深い要素があります。自分自身も身障者である経営者は別として、他の人たちは全く何事にも関心が無く、気にもかけないように思われます。彼らはいわゆる誰も行かない遠い国へ逃亡した、または砂の中に頭をかくした、さまよえる魂のように見えます。自分たちがどのように時を過ごすか話したがない人もいます。このことは私たちを困惑させました。北アメリカの厳しい北国の気候を逃れて、良い暮しとおだやかな生活を求めてメキシコにもし移住するとしたら、一体どのようにして時間を費したらよいのだろうかと考えさせられました。この人たちの生活をもっと実り豊かにするにはどうしたら良いのでしょうか。

確かに、私たちは自分たちの要求によって、家というものを考えます。家をきりもりしたり、献立をたてたり、買物をしたり、もてなしたりということは日々の暮らしの中で大きな部分をしめるでしょう。又、長期滞在の客の泊る場所も必要でしょう。グアハラハラには、2つの主だった大学があるというの也有利な点です。スペイン語を自由に使いこなせるようになりたかったら、どちらかの大学で勉強するのも良いでしょう。

私たちが最も楽しみにしていることの一つはメキシコの人々と親しくなれるということでしょう。メキシコ人はその歴史や文化と共に非常に興味深い素材です。加えて、スペイン人とインディオの混血はとても美しい人種を生み出しました。私たちの会ったアメリカ人の大部分がスペイン語を最低限しか知らず、

それ以上学ぼうとしないことはことは非常に残念なことです。それに彼らの個人的な世話をしてくれる人はメキシコ人に他ならないのです。彼らは自分たちの回りにあるわくわくするような生活を見逃していると感じました。もし見るべき場所を知りさえすれば、その生活は色々な思いがけない経験でいっぱいのものになるはずですよ。もし本当に身近かなメキシコ人と友だちになりたいと思うならスペイン語が理解できるようになっている方が早道でしょう。

住みなれた土地を離れて新しい国へ移住することは大きな一歩です。しかし、気候条件や人手がないという理由で施設に入らなければならなかったり、行動が制限されたりというような事態に直面した時、グアダハラへの一歩は容易なことなのです。

住所：Mr. and Mrs. Leonard F. Goldwater, 305 West 28th Street, New York, New York 10001 U.S.A.

編集者注：グアダハラにある身障者向け住宅のリストは、最近では1973年度版のギャゼット（訳注一日本語版は第3号75ページ）に載っています。

最新のリストを希望する人は次の所へ、
American Consulate General, Guadalajara, Jalisco 又は次へ連絡を、
Paralyzed Veterans of America, Las Palmas 226, Ciudad Granja, Jalisco

Eileen Van Albert の住所：Apartado 208, Guadalajara 5, Jalisco. Phone: 21 38 22

アメリカ自動車協会はメキシコと中央アメリカと題する実に良く出来た案内書を発行しています。ホテル・レストランの他にトレーラーの駐車場まで紹介してあります。会員には無料配布。

Sanborn's Mexican Insurance Service ではメキシコ旅行の計画について無料の小冊子を送ってくれます。住所：P.O. Drawer 1210, McAllen, Texas 78501, U.S.A.

人工呼吸装置を持つての 自動車旅行

呼吸器系ポリオ四肢まひ者の Walter

Robertsonは両親と一緒に2度のドライブ旅行をして、メキシコ中の殆んどあらゆる場所を見学しました。非常によく気のつくレポーターである彼は、1969年のギャゼットに彼の記事が載ってから、彼のところへ便りをしたことのある読者に自分の経験を惜しまずに話して聞かせてくれます。

彼は殆んど24時間、VC of 650と共に、人工呼吸器を用い、椅子や睡眠用の大箱にいる時には呼吸用ベルトを用います。彼は変圧器や小型蘇生器を含め必要と思われるあらゆる備品を細心の注意を払って用意しました。呼吸器具を使って旅行する人は皆、彼の記事を読んで彼と連絡をとると良いと思います。

彼は最初の旅行で、ピエドラス・ネグラス、モントレー、サン・ルイ・ポトシ、グアダハラ、マンツァニーロ、グアアナホアト、サンミゲル・デ・アレンド、タムピコ、キューイダ・ビクトリア、レイノーザに行きました。（編集局では彼が書いたこれらの都市の利用可能なホテルのリストを喜んでコピーします。）

2回目の旅行ではメキシコの地図の略図を描ける程です。ベラクルスを通してガルフコーストに行き、ユカタン半島に出、そこから戻って、テフアンテベック地峡を横切って、オアハカ、グアダハラ、アザトラン、グアイマスを経て太平洋岸に出ました。

住所：Walter G. Robertson, Jr., 7725 Canal Court, Mclean, Virginia 22101, U.S.A.

車椅子旅行の心得

Margaret Doughertyは1973年6月に友達と一緒に車椅子でメキシコをドライブ旅行しましたが、次のような手紙を寄せてきました。

メキシコシティではThe Hotel del Paseoが素晴らしいと思います。階段が無く、町の中心に位置し、コーヒーショップとプールは4階にあります。最上階に展望レストランがあって、全く理想的です。(宿泊費は2人部屋で16~20ドル、住所: Reforma 208, Mexico 6, D.F.) 私たちは強い決意と、劇場の人たちの協力のおかげで Ballet Folklorico (民俗舞踊) を見ることができました。舞台裏を通り、出演者が利用する小さいエレベーターに乗ってボックス席にたどりつきました。フォルタン・デ・ラス・フローレスでは The Hotel Ruiz Galindo が豪華な気分でくつろげて最適です。私たちはプールに隣接した部屋をと

り、食事は全部そこでしました。食堂は使用不能だったからです。しかしこの点を除けば他の全てはけっこうずくめでした。部屋やバスルームのドアは広く、従業員の態度も気持ちの良いものでした。サン ホアン デル リオでは16世紀の農家をそのまま建て直したという La Mansion Hotel に泊りました。そこからグアナホアト (急な坂が多い) やクェレタロ (車椅子の通行に適している) にドライブしました。(宿泊費は2人で18ドル。)

住所: Miss M.E. Dougherty, 4608 Cedar
Green Road, Baltimore Maryland
21229, U.S.A.

キャンプ用バンでのドライブ

Joe Laurie

1973年のギャゼットに掲載されていたバンの問題点について十分調査し、又真夜中にグランド テトンズで腹ペコの黒熊に出くわすことを考えて、私たちはテントよりも金属性のバンの方がずっと安全であるという結論に達しました。ダッジのMaxi-Vanは360立方インチモーターで、オートマチック、パワーステアリング、パワーブレーキ、空気調節機、それに使いものにならないライターがついて

いました。後から、AM・FMラジオ、屋根がもちあがる装置、ベットにもなるリアシートを付け加えました。車の外部の110ボルトの電線の内部のプラグボックスにつなげました。3穴コンセントから2穴コンセントへ変えるアダプターは余分に持たなくてはならないものでした。5ガロン入りのプラスチック容器に入れた水、それに付属する手動式のポンプ、その他にもう5ガロンの真水を用意しました。



サン・カルロス湾の鳥



バナナの屋根の下のバン

国境でのお役所仕事

旅行者カードはメキシコ入国の許可証です。この用紙は出発前に記入することができます。その上で、出生証明や選挙民登録証、又は市民権の証明となるパスポートを用います。この用紙はあなたが携帯してきた証明書と一緒にメキシコで法的に有効なものとなります。帰化アメリカ人やカナダ人は、カードを保証するためにパスポートを持っていないとはなりません。カードの有効期間は180日で、それ以上滞在する場合には国境まで戻って、もう一度許可申請をしなければなりません。

自動車の通行許可は最近の運転免許証登録の受領証を提示すれば、税関で発行してくれます。最新の運転免許証が必要なのは言うまでもありません。すべての許可がおりたら、後から吟味できるようにすぐに出せる袋に入れておくことです。

メキシコの自動車保険しかそこでは通用しません。合衆国やカナダの保険証書は一切使用できません。もし事故をおこしたら、多少封建的ですが、無実と判明するまで有罪です。この場合親しい保険屋を味方につけておくのが一番安心です。どこの保険代理店もこういう防衛手段には同じだけの料金を要求するので、私たちの場合はDan Sanbornを代理店に決めました。というのは、そこはメキシコ中の大都市から辺境の町まで、あらゆる所に事務所を持っているからです。そこでは又、メキシコ中のあらゆる道路が非常に詳しく出ている印刷物を発行しています。この懇切でないパンフレットは、地図や新しい国際道路標識の説明書と共に、紙ばさみに必ずおきます。

リオ・グランデ川はメキシコではリオ・ブラボですが、ここではほんの小さい流れです。というのは、この肥沃な谷間までこの水は果物や野菜を豊富に実らせるため、広い土地を灌漑してきたからです。国境を越えると税関と移住局の人が駐車場へ案内してくれます。係官はあなたの旅行カバンを検閲台の上に置

き開いてさっと目を通します。個人的なものでしたら殆んど何を持っていても許可されません。しかし決してマリファナのようなものを持ちこもうとしてはいけません。そんなことをすると永久に暗い監獄へ入れられてしまいます。係官がカバンを戻してくれたら、カバン1個につき少くとも1ペソ（8セント）をあげると良いでしょう。

移住局の係官は旅行者カードを市民権の証明書と共にチェックした後に、認可してくれます。そして別の係官が車の通行証を発行し、車の内側から窓に貼りつけます。さあ旅の始まりです。Sanbornのパンフレットの標識説明を読みながら50kmばかり有料道路を走ると、そこで税関の出先機関が、手に入れたばかりの書類を検閲します。

いよいよメートルの世界です。3フィート3インチが1メートル、1クォートは約1リットル、2ポンドが約1kg、そして時速50マイルが時速80kmです。

道路で

もしあなたのスペイン語の力が「明日」とか「午睡」程度のほんの片言でしたら、家畜を避けるためにハイウェイの標識を憶える方が良いでしょう。夜は決してハイウェイを運転してはいけません。ガソリンスタンドはしまっていますし、古い車やトラックがライトもつけずに走っています、そして昼間と同じように、たくさんろばや家畜が歩きまわっています。

ガソリンは政府の独占で、ありがたいことにアメリカのようなごまかしはありません。今のところ2種類のスタンドしかなく、ハイオクと新製品のレギュラーで、価格は1ガロンにつき約63セントと40セントです。但し、リットル単位で売られていますから、4リットルが約1ガロンです。The Dodge（私たちの車）は交互に満タンになっていると調子が良かったので、タンクが半分空になると給油しました。そうするとガソリンがほど良くミックスされ、圧縮された湿気がうまく配合されるようです。Sanbornのパンフレットには

スタンドの位置と一番良い施設が記されています。ガソリンを入れる時は車から降りて、背筋をピンと伸ばして、メーターの針がゼロの所からまわり始めたか確認しなければなりません。

ハイウェイは快適です。殆んどが2車線で黒い路面をしています。しかし町に近づいたら用心してください。タールマカダム舗装の道路が終り、丸石を敷いた道路にかわりますが、その境い目はトウプと呼ばれる速度を落とさせるためのうねになっています。仮にあなたがこの注意に従わないとしても、頭のてっぺんがそうしてもらいたいと願うでしょう。自動車専用道路は オートピスタ outopista と呼ばれ、メキシコシティをとりまいています。有料道路は、動物が道の中に迷いこまないようにへいをめぐらしてあります。

いつもうなり声をたてているモーターバイクに時々木の束をのせて、トラックにはバナナやパイナップルを山積みにして、或は風のように走る乗合バスに乗って、メキシコ人はものすごい運転をします。道筋は前後共に同じなので、どんな登り坂もカーブもよく知っています。車はどこからともなく現われる山羊を連れたい百姓のために、全く思いがけない所で急停車します。そして大声で不平を言います。しかし幸いなことに、怪物のようなトラクタートレーラーはめったに走っていません。国境の近くの道路で見かけるだけです。

緑色の官有バスはパトロール中に、難渋している車に出会うと、無料のサービスをしたり、ガソリンを原価で分けてくれたりします。サービスにあたる人たちは、機械のことに詳しいばかりでなく、英語を話せますし、応急手当の訓練もうけています。

トレーラーパークでの生活

電気式ホットプレートのおかげでトレーラーパークでは、いつでもジュースを飲むことができましたし、コールマンのプロパン用ストーブで海岸で料理もできました。イグロー印の貯蔵容器は2人分の大きな氷の塊りと、プラスチック容器に入れた食料品を24時間以

上、冷く保つことができますし水はちゃんとしたレストランかバーでないと、水の中にバクテリアがいるかもしれないので安心できません。純粋な水はコココーラ、ペプシ、セブンアップなどたくさんある清涼飲料水の会社からもらいました。よく沸騰させた水ならばどんな水でも安全です。バスルームに換気扇付のヒーターがあるので朝早く起きても寒くありません。トレーラーパークの宿泊料は、40ペソ（3ドル20セント）です。タイル張りのシャワー室やトイレはとても清潔なので、私たちの携帯用配管に全く適していました。

ブラックコーヒーは目をぱっちりさませしてくれるので、インスタントのコーヒーメーカーをソケットにつないだ時、それをたばこのライター代りに使うことを思いつきました。

食料品やその他の買い物

食料品は小さな食品店で補給することができます。赤い旗がたっていたら、新鮮な肉を売っています。公営の コナスボ Conasupo の店は非常に安いですが品数が乏しい。スーパーマーケットは北米と似たようなものです。しかし包みのラベルに Hecho en Mexico (メキシコ製) と書いてあっても、輸入品かもしれないし、値段も何倍も高いので気をつけてください。デルモンテ、キャンベル、ハインツその他の会社はメキシコにかんづめ工場を持っています。

“メキシコ製”はお酒にも同じように当はまります。スコッチウイスキーは合衆国の3倍の値段ですし、輸入品は全部同様です。メキシコのラム酒は素晴らしく、ウォッカやジンもおいしいですがウイスキーはそうでもありません。ドライワインは全くいけませんし、その上安いです。ビールに当るのは cerveza で味もビールと同じです。

買い物をしていて本当に楽しい場所は市場です。どんなに小さい村にも通りや広場の1つや2つはあります。非常に念入りに作られた市場で、屋根にも壁にも鍵のかかる金属性の巻上げ式ドアがついている耐久構造です。市場ではあらゆる種類の店が軒を接して並ん

でいます。パナマ帽やソングレロを売る帽子屋、ズボン、スカート、シャツ、ブラウスを売る衣料品店、トマト、バナナ、レモン、オレンジ、パイナップル、とうがらし、かめるように短く切った砂糖きび等売る八百屋があります。豆類を扱っている売店では今まで見たことのない程いんげん豆の入った黄麻布の袋がぶらさがっていますし、とうもろこしを売る店には金色の穀物の入った袋があります。金物屋は大おのや、手おの、なたやミルク用のかん等を売っています。すぐその隣の店には新鮮で羽のついたままの家禽類が並んでいて、道路の向い側では肉類が形も分らない程に細く切られて売られているといった具合です。

私たちの旅はCiudad Victoriaからサンルイ、ポテシ、クエレタロ、クエルナバカ、ルカ、ジタキュアロ、パツキュアロ、チャバラ、グアダラハラ、サンブラス、テピック、マザトラン、クイリアンカン、ヘルモシロ、カボルカ、そしてフェニックスを経てはるばる家路へつきました。

来年、又機会に恵まれたら、私たちはもう一度ナヤリとハリスコに行って、その美しい、人気のない海岸を歩きたい、そしてリンコンデギャビトスで最も素晴らしいトレーラーコートに戻ってみたい、そこでは私たちはバナナの木の下で衣服を脱ぎ捨てました。背後にはパパイアの木が茂り、100メートル向うには穏やかな青々とした太平洋が見えました。

身体障害者旅行クラブ

Sam Johnson

身体障害者旅行クラブは発足してまだ1年足らずですが、会員は12の州から35人も集っていて、片まひ、脳性まひ、先天性疾患の人たちも参加しています。Red Glascoと私が1973年8月にこのクラブを創りました。目的はRV（リクレーションとしての自動車旅行）療法を共にすることと、バンや移動式ハウスやトレーラーで旅行のできる身障者の人たちと親交を持つことでした。

23年以上も前、私は自動車事故のため、皮質の傷害を負い、数ヵ月間意識を失っていました。やがて私の声は戻り始めましたが、それから長い長い戦いが始まりました。その戦いは無論まだ終ってはいませんが、どうにか自分の手に負える所まではきました。今日では私は全く自由に動きまわることができますし、多くの親切な、忍耐強い人々のおかげで、ここ数年間は道楽（リクレーションとしての自動車旅行）を見つけて楽しんでいます。Redは卒中で倒れ、現在も右半身がまひしたままです。身体障害者旅行クラブを作るといふ私たちのアイディアは大当りをして、私たちはとても気分を良くしています。

野外や人々が野外で生活することの素晴ら



身体障害者旅行クラブのメンバー

しきは、それが与えてくれる知恵やユーモアを考えると、いくらほめたたえても足りない位です。私の個人的な経験からいって、身体に障害のある人も、できれば、なんとしてでも、戸外に出ることを強くすすめます。

身体に障害のある無しにかかわらず、どなたでもこのクラブに加入歓迎します。入会金は3ドルで、これは最初の年の年会費と、旅行用トレーラーを引っぱる車椅子を描写したうつつ絵2枚分を含みます。その後は会費を年1ドル納めるだけです。もっと詳しく知りたい人は下記へ連絡してください。

Sam Johnson, Box 413, San Marcos,
Texas, 78666, U.S.A.

人工呼吸装置のついたレ クレーション用自動車

「私は夜は人工呼吸装置を使用します。ですから旅行する時はこの装置をモーターの中まで運びこまなければなりませんし、又誰かに私を持ち上げてもらわなければなりませんでした。

去年の夏の初めに私は休暇用トレーラーを買いました。父の協力を得て、中央の窓をちようつがいで動くようにし、そこに鉄製のわくをはめることによって、後の部分にドアを取り付けました。これで車椅子に乗っている間も近づけるようになりました。

1本のみぞくぎを天板の外側につけ、アイボルトを内側に通します。こうして巻き上げ機をしっかりと固定する絶好の場所ができました。私たちはバンに使用したのと同じアルミ製のオートバイ用傾斜板を用いました。夜、ベッドを作る時は車椅子を外に出さなければなりませんでしたが、このことは大した問題ではありませんでした。」

Merton Phillips, 10879 Louis Avenue,
Granada Hills, California 91344, U.S.A.

「1953年にポリオになってから、24時間のうち10時間から12時間は、ロッキングベッドに

寝ていなくてはならなくなりました。」と Juanite Zwiegler は書いています。「私はギャゼットで他のポリオの人たちが旅行を楽しんでいるという記事を読むまでは、自分たちはもう旅行なんてできないと思っていました。私は寝台用の大箱を試してみましたが、私には適しませんでした。

5年前に Winnebago の22フィートのモーターホームの広告を見つけました。1週間でそれを取り寄せ、旅行に関する問題は解決しました。私たちは Burns の中古ベッドを買い、それを切って27インチの幅に直しました。そのベッドの揺れ方は私が家で使っている Emerson のベッドとはちがいますが、私は2時間でそれに適応することができます。必要な場合には、車が道路を走っている間も、110ボルトの発電機でベッドを揺らすことができました。

私は皆さんにこの方法で旅行することを、おすすめします。私たちは5人でその中で生活をし、テキサスに14日間、ワシントン見物に17日間、フロリダ旅行、ノースダコタの親類訪問に15日間と旅行をし、ミシガン州立公園で素晴らしい日々を過ごしました。

私の夫はダウケミカル社の研究員ですが、大工仕事がとても上手です。（彼はひまな時間を利用して私たちの家を建てました。）彼はベッドの基部を補強して、ベッドをしっかりと固定させました。

私たちは2台目のモーターホームを買いました。今度のは Chieftain 型で前のよりも5フィート長いものです。揺れベッドは運転席の真うしろのキッチンがあった場所に、ちようどよくはまります。ドアを大きくした以外は、全く改造しないですみました。

もっとお役に立てるようでしたら、連絡してください。」

Mrs. Maurice Zweigler, 908 Crescent
Drive, Midland, Michigan 48640, U.S.A.

製造業者

対まひ者でミズリー州に住んでいる Bob McHenryは車椅子用の24フィートトレーラーを売っています。これにはピストン式のリフトと広いドアが付いています。無料パンフレットがあります。

McHenry Trailer & Lift Sales, Pilot Knob, Missouri, 63663, U.S.A.

19フィートないし20フィートの長さで、電動式後部とびら、特製トイレット、広い通路の付いたキャブオーバーモーターホーム（自動車用移動住宅）が下記の所で限定製造されています。

Harvest Recreational Vehicles, Inc., Handicapped Division, Box 3206, El Monte, California 91733, U.S.A.
無料パンフレットがあります。

特別旅行代理店

下記の全ての旅行代理店では身障者のためのアメリカ国内及び国外の旅行に関する無料説明書を送ってくれます。

- Evergreen Travel Service, Inc., 19429 44th Street, Lynwood, Washington 98036, U.S.A.
- Handy-Cap Horizons, 3250 E. Loretta Drive, Indianapolis, Indiana 47227, U.S.A.
- Pan American World Airways, Larry Chadwell, Sales Coordinator, 1219 Main Street, Houston, Texas 77002, U.S.A.
- Rambling Tours, Inc., Box 1304, Hallandale, Florida 33009, U.S.A.
- Flying Wheels Tours, Judd Jacobson, 148 W. Bridge Street, Owatonna, Minnesota 55060, U.S.A.
- Moss Rehabilitation Hospital, 12th

Street and Tabor Road, Philadelphia, Pennsylvania 19141, U.S.A. では身障者の旅行者のために情報サービスを行っています。

車椅子ガイドブック

》欧米《

身障者の旅行者のためのガイドブックのリストは次のところでもらえます。The Women's Committee, President's Committee on Employment of the Handicapped（身体障害者の雇用に関する大統領委員会、婦人部会）、Washington D.C. 20210, U.S.A. この小冊子には合衆国の85の都市のガイドブックと、カナダ、オーストラリア、ヨーロッパの都市のガイドブックがリストアップされています。

身障者の旅行者のために設計されたハイウェイ・サービス・エリアの設備

330のレスト・エリアがリストアップされています。希望の人はthe President Committee（大統領委員会）まで、住所は上記と同じ。

身障者のための国立公園ガイド

国立公園の242の地域についてのリスト（80ページ）、そのうち車椅子を利用できるのはおよそ13箇所、目と耳の不自由な人のために特別の施設がある所もあります。40セントでわけてくれます。連絡は下記まで。
Government Printing Office, Washington D.C. 20402, U.S.A.

モーターのリスト1971年版 50セント
Paralyzed Veterans of America, Inc., 7315 Wisconsin Avenue, Suite 301, Washington D.C. 20014, U.S.A.

車椅子の旅行者

1人の対まひ者によって編集されたもので、

合衆国, カナダ, メキシコの宿泊設備について2000箇所もリストアップされています。楽しく、役に立つ小冊子です。送料を含めて3ドルですが、55セントだせば航空便で送ってくれます。希望の人は下記へ連絡を、
Douglass R. Annand Ball Hill Road,
Milford, New Hampshire 03055, U.S.A.

車椅子の海外旅行

車椅子でヨーロッパへ旅行する人は、行く先々の国の身体障害者組織と連絡をとることをおすすめします。次にあげる組織の大部分は、その国の車椅子のガイドブックと適当な宿泊所のリストを送ってくれることでしょう。又多くの組織が暖かく歓迎し、協力してくれることでしょう。

オーストリア Oesterreichische Arbeitsgemeinschaft für Rehabilitation, Baric-
hgassee 28, 1030 Uienna, Austria

ベルギー Croix-Rouge de Belgique,
Chaussee de Vleurgat 98, Bruxelles 5,
Belgium

デンマーク The Society and Home for
Cripples, Esplanden 34, 1263 Copen-
hagen K, Denmark

イギリス Central Council for the Disa-
bled., 34 Eccleston Square, London
SWIV IVE, England

フィンランド ISRD Finnish Committee,
Insurance Rehabilitation Agency, Kale-
vankatu 20, 00100 Helsinki 10, Einland

フランス Association des Paralyses de
France, 27 Avenue Mozart, Paris 16e,
France

ドイツ Deutsche Vereinigung für die
Rehabilitation Behinderter e. V. BRD
69-Heidelberg-Schlervach 1, Zechner-
weg 1A, W. Germany

オランダ Nederlandse Vereniging voor
Revalidatie, Eisenhowerlaan 142, S-
Gravenhage 2078, Holland

イタリア Italian Society for Rehabili-
tation of the Disabled, Clinica Ortope-

dica e Traumatologica delia, Univer-
sità di Roma, Rome, Italy

ルクセンブルグ Croix-Rouge, Parc dela
Vfille, Luxembourg

ノルウェー Norsk Revmatiker Forbund,
Professor Dahls gate 32, P.O.Box 5668,
Oslo 2 Norway

ポルトガル Santa Casa de Misericordia
de Lisboa, Centraro de Medicina de
Reabilitação, Alcoitão, Estoril, Portug
Portugal

スペイン Fraternidad Católica de
Enfermos, Domicilio Social, Montser-
rat 30, Madrid 8, Spain

スウェーデン Handikappinstitutet Fack, S-
161 03, Bromma 3, Sweden

スイス Association Swiss des Invalides
des Frobürgstrasse 4, 4600 Olten,
Switzerland

又は Gazette Internationale, Case
Postale 49, 1012 Lausanne, Switzer-
land

身障者の旅行に関する国際情報センター
Ms. Karen Newbury, The Central Bureau
of Educational Visits and Exchange, 43
Dorset Street, London WIH 3FN,
England

『身障者の休日』

たった40ペンス（郵送料込みで1ドル25セント）の大サービス。素晴らしい情報がいっぱい出ています。379ページにわたり、イギリスやヨーロッパの宿泊設備や広告がのっています。注文は、Central Council for the Disabled 34 Eccleston Square, London SWIP 1PE, England

（訳一郡司素子）

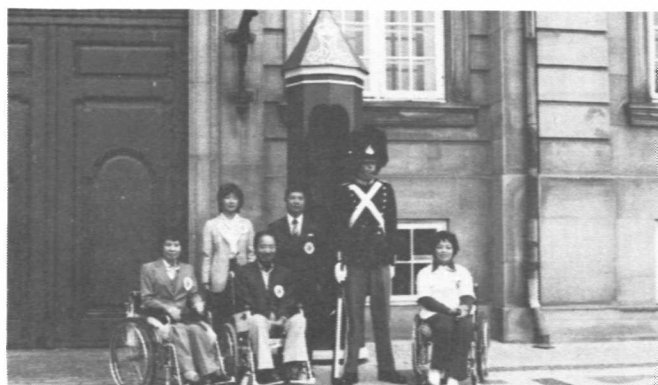
》日本《

車イスヨーロッパの旅

今秋20台近い車イスのグループ2つがヨーロッパを旅行しました。このグループは朝日新聞厚生文化事業団が企画した「車いすヨーロッパの旅」の第1陣と第2陣。訪問した国

々はデンマーク、フランス、イギリス、スウェーデン。10月に帰国した第1陣（石坂直行団長）の旅行の様子は、3回にわたって朝日新聞に詳しく掲載されました。

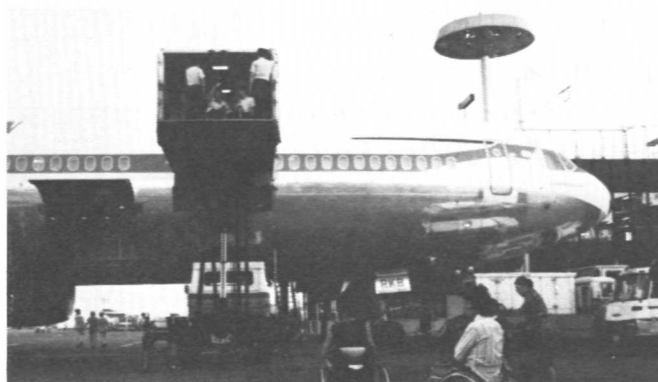
A：デンマークの首府コペンハーゲンの王宮の衛兵との記念撮影



B：スウェーデン、スウェードミューラの身障者用アパートを訪問

C：羽田空港へ無事到着。飛行機から降りるところ

(写真提供：石坂直行氏)



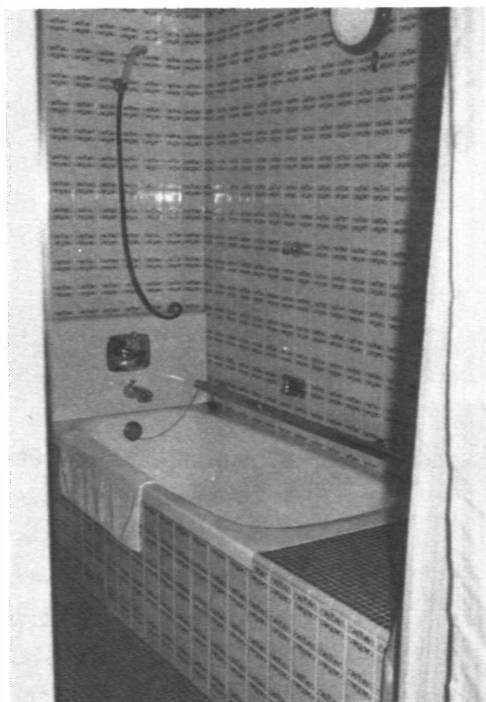
車イスでも利用できるホテル

東京のホテル・ニューオータニの29階には車イスのための客室が二室用意されています。バス、トイレ、洗面所などすべて車イスで利用できるようになっています。

部 屋 シングル（補助ベッドが入れられます）

宿泊料 18,000円

予 約 ホテル・ニューオータニ



B

A：洗面所

B：バス 車イスから楽に入れます。ただシャワーのホルダーが高すぎるのが難点です。

C：トイレ

写真撮影：吉田紗栄子

モデル：浜本勝行（全国車椅子バスケットボール大会会長）



A

C



車イスTOKYOガイド

車イス・ガイドブックの発行が各地で相次いでいる。盛岡、静岡、京都、別府——。3年前、日本ではおそらく初のガイドブックを作った「車イスTOKYOガイド作成委員会」（身障者とボランティアのグループ）の大須賀郁夫さんによると、これまでに各地の身障者グループや社会福祉協議会などが作った車イスのガイドブックは12。いま、大阪、名古屋、鹿児島などでも準備中という。

大須賀さんらが最近出した「車イスTOKYOガイド1号」（500円）は、3年前のゼロ号と同じように車イスの障害者とボランティアが組んで、半年がかりで東京都内の約300ヵ所の社会施設を点検してできた労作。買い物・娯楽（デパート、書店、映画館）、文化・教養（劇場、公会堂、美術館、図書館）、公園、スポーツ、宿泊、会合（区民館、福祉センター）、病院、官公庁の各項目別に車イスへの配慮などがどうなっているかが出ている。

例えば、港区南麻布の都立中央図書館。

周辺道路 A（ただし、地下鉄広尾駅方面からは急坂）。アプローチ A（建物前が2段の階段になっているが、一部スロープ化）。出入口 B（ドアが重いが受付の人が開けてくれることが多い）。駐車場有り、屋外。内部通路 A。階段 B。エレベーター B（回転困難、操作ボタンがやや高い。152cm。）トイレ 1階を除いて各階に車イスのシンボルマーク有り。閲覧室 通路広く回転も可、書架間隔広い（110cm）、読書机の高さ68cm。備考 車イス常備、食堂有り、セルフサービス。

1cmでも幅が狭いと身動きできない車イスの人にとって実にこまかなことにまで気を使っている。

また、昨年暮れに全国社会福祉協議会が出した「車椅子ホテルガイド」（車イスの身障者には無料、送料55円、25日以降は140円）は、「利用できるホテルを紹介してほしい」という

車イスTokyoガイドで、あなたの生活圏を拡大して下さい。

車イス Tokyoガイド

最新版

編集・発行 車イスTokyoガイド作成委員会

A5版 160ページ

定価 500円(¥1600)

- ① 車イスTokyoガイドの最新版ができました。
- ② 車イスTokyoガイドは、東京の街を全城にわたって点検し、車イスで使える建物250箇所を紹介しています。
- ③ 車イス用のトイレは101箇所にありました。
- ④ 道路から建物へ、アプローチ、出入口、駐車場、内部スペース、エレベーター等の状況も詳しく紹介しています。



主な内容

- 買物娯楽、文化教養、公園、スポーツ、宿泊、会合、病院、官公庁
- 車イス新宿に行く、四肢マヒ者と街、誰れでも入れる大学に、車椅子の記、町田市の街づくり、点から線へ

連絡先

〒158 東京都世田谷区奥沢8-11-2 ☎03(705)7052 大須賀 郁夫
〒194 東京都町田市本町町1-5-7 ☎0427(93)3431 木下 洋

障害者からの問い合わせにこたえてつくった小冊子。北海道・東北・関東・東京・中部・近畿・中国・四国・九州の各地で身体障害者も利用可能なホテル、身障者福祉センター、青年の家、国民年金保養センターなどの宿泊施設88を紹介している。略図や宿泊料金、申し込み方法など身障者の旅行に便利のように配慮してある。

しかし、大須賀さんによると、どのガイドブックに出ているのも車イスの人でも利用できる施設だけで、ガイドブックに載せられない施設の方が圧倒的に多い。第一、そこへ行くまでの交通機関はどうするかという大問題が残っているわけで、そのことは、車イスを拒む社会への告発を物語っているという。

大須賀郁夫さんの連絡先 東京都世田谷区奥沢8-11-2。

全国社会福祉協議会 東京都千代田区霞が関3-3-4。

教育と職業



Hal Dixon は教育テストサービス(ETS)に身障者のテスト方法を考えるように訴えかけて見事成功した。彼は現在政治学修士課程を終えるところで、法律学校への入学が決まっている。

法学生

私は1970年以来C 5 - 6 四肢まひとなりました。自動車事故で、大学3年に進もうとしていた私の前途が断ち切られたのです。

1972年9月より私はKent State 大学に通い、政治学を専攻しています。1973年8月25日に文学士の課程を卒業しました。自分の専攻課目の得点平均は3.9で、全科平均は3.61でした。(4.0満点で)

1973年中に私はクリーブランドの一流の法律学校2校に入学を志願しましたが、法律学校適性テスト(LSAT)での点数が低かったことを理由に2校とも入学が拒否されました。そのテストというのは、教育テストサービス(ETS)単独によって行われるものです。大部分の法律学校では学校の成績や推薦状とともに、この4時間にわたって行われるテストの点数が入学許可を判断する材料となるのです。

LSATを受けている時は、時間が決め手なのです。身体的障害のために私には代筆してくれる筆記者がつけられました。私は彼女が問題をずらしていないかしょっちゅう確かめなければならず、それに貴重な時間がかなり失われました。自分の手で書けないということは又、計算を頭の中でしなければならぬし、すばやく読み直せるように要所要所にアンダーラインをすることもできず、ページを繰るのも大変だということなのです。このようなことで貴重な時間が費されて低い点数に終わってしまったのです。

私自身以外でも多くの人が、その低い点数が私の知的能力をそのまま表わしているものではないことを知っていました。私は個人的に、もっと点数が取れるようにテスト時間を延ばして欲しいと申し入れましたが、ETSは受け入れてくれなかったのです。

そこで私は、Kent State 大学学生弁護士連盟にはたつきかけ、LSATの点数が低かったために入学を拒否されたことを話しました。皆は、自分たちが侮辱されたように感じたのです。そこで私は彼らの後立てを得て、合衆国中の法律学校に手紙を出し、LSATを受ける身体障害学生の持つ問題を訴えました。多くの人々が好意的な解答を寄せてくれ、その人々はETSへも手紙を出してくれました。そのおかげで、ETSは身障者のためにテストの方法を変えようとしています。私はこれを聞いてとても嬉しく、私がこのことに大きな役割を果たしたことをとても喜んでます。

現在ケントの大学院で政治学の修士課程をやっています。7月には学位論文を完成させて卒業する予定です。

1973年8月18日に私は理学療法士と結婚し、1974年2月7日にはアクロン大学法学部に入学が許可されました。この9月からは、そこでスタートします。

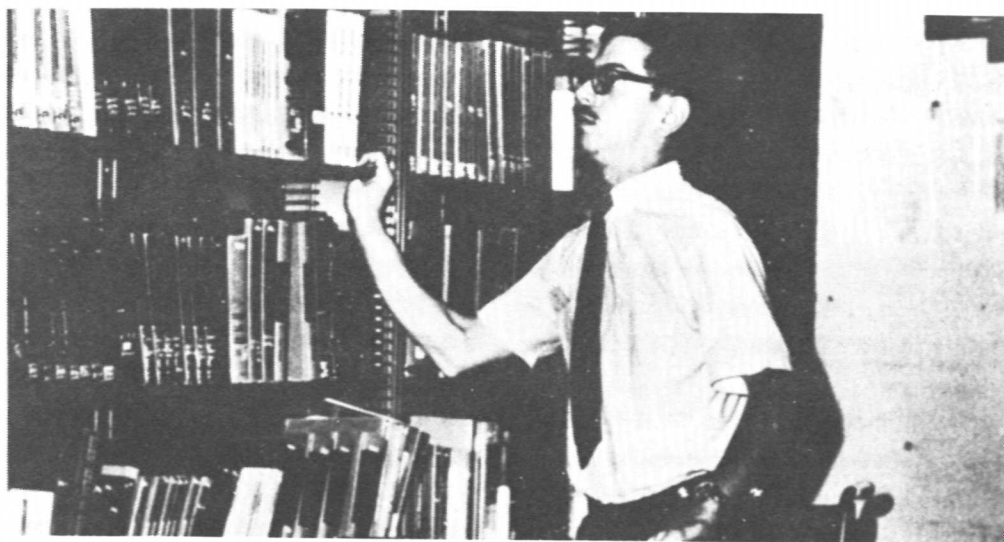
住所：Hal Dixon, C/O College Tower
-s Apartments,
1800 Rhodes Rd, Apt 519, Kent O
-hio 44240 U. S. A.

司書

大統領委員会が行なった、アメリカ国内の図書館における身体障害者の雇用に関する最近の調査によれば、司書は資格のある身障者の雇用に好成績をあげている。調査の示すところでは、脳性小児麻痺の人たちは、目録編集者、図書参照係及び事務員として働いており、聾啞者は図書購入係、目録編集係、事務員及び本の修理係として雇われている。リウマチ、心臓病、癲癇の患者や脳性まひ患者は

目録編集者、事務員、文献紹介者、アシスタントなどとして働いている。そのほかにもこの調査では、様々な専門職あるいは事務職についているポリオや多発性硬化症や、筋ジストロフィーの人々のことが報告されている。

脳性小児麻痺によって身障者となった2青年による次の略伝は、学術誌司書としての職業が彼らに与える満足感や充実感を表わしている。



James Lee Solenberger 氏

James Lee Solenberger

私は公立学校のなかの特別クラスに通いました。1970年に、Southern Illinois 大学からの政治学の学士号を与えられました。SIU (Southern Illinois 大学)のキャンパスには身体障害者の学生のための特別な設備が数々あります。特に改造されたバスルームのある寮、カフェテリアでお盆を運んでくれるサーヴィス、そしてどの建物にもスロープのついた入口とエレベーターがあるのです。

私は筆記がほとんどできないので、大部分の科目は他の人のノートのコピーに頼っていました。テストのときは教授の部屋か講義室のうらの部屋に電動タイプライターを持ち込みました。大学の図書館にはタイプライターがあったので私はそこで勉強することもできました。

私は短い距離は歩行補助具で、長い距離は車椅子で行きます。腕よりも足の方がずっと強くうまく動くので、私は足で車椅子を後へまわしてキャンパス中を動きまわっていました。時には人々が私を見てクスクス笑うことがありましたが、私も彼らと一緒に笑っていました。

レクリエーションには大人用3輪車に乗りますが、それだと比較的遠くまで行けるのです。歩行補助具を後のカゴの上に縛りつけて行くので建物の中にも入れます。

私は、3年制の看護学校に図書館員として勤めています。仕事は本や雑誌の注文や目録作成、貸出しのチェック、資料を並べたり並べ直したり、学生や教授たちの資料参照作業を手伝ったり、視聴覚プログラムの中核が図書館内にあるのでその操作を手伝ったりすることです。

私が分担するのは一年を通じて1つのきまったグループ(約120人)なのでうまく話せないという私のハンディキャップは幾分か、軽くなっているし、私の働くところが医療機関なので、建築上の障壁は他のどこよりも少

ないのです。建物に入るときには補助具を使い、仕事中はローラーのついた椅子と車椅子を使っています。

私は一人で働くことに慣れているので、この仕事に孤独な作業が多いということで悩まされることはありません。そして、教授陣や学生としばしば接することができるのは大きな楽しみです。

**住所：James Lee Solenberger, 1935
South Park, Springfield, Illinois
62704 U. S. A.**

R. Brantley Cagle, Jr.

私の将来は、1951年にHamilton 小学校の肢体不自由者のための特殊クラスに入学したときに、先がみえたような気がしました。

6年もの長い年月の学業と、厳しい会話の訓練と理学療法の後、1957年秋に高校に入学しました。それは重要なステップでした。なぜならそこでは私は皆と異なった目立つ存在だったからです。

1961年に私はマクニース州立大学に入学しました。最初は社会学をとり、後に史学に変更しました。私は在学中ずっと優等賞の地位を保ち続けていましたし、Pi Kap 奨学生に選ばれ奨学金を受け、そして職業リハビリテーションの許可を得ました。1924年のHuey Long 氏の知事選挙運動のとき以来、私の家族はルイジアナの政治と深くかかわってきました。

1965年には優等で学士号をとり、Tulane 法律奨学生資格を与えられましたが、辞退してルイジアナ州立大学の大学院に入学しました。2年後、歴史の修士号と一緒に準専攻科目として図書館学もとりました。ルイジアナ州立大学に在学中、私は優等卒業生の会である、Phi Kappa Phi と優等卒業生の史学会に入会を許されました。

1967年秋、マクニース州立大学の公文書司書に指命され、現在その部のキャップをして



R. Brantley Cagle, Jr.

いますが、仕事において私は2つの問題に直面しています。読みやすい字で書けないことと、特に初めて会った人と話すときに独特の言語障害が出ることです。私の書いたものは7人の学生助手と1人の卒業生の助手が補足してくれています。最初はコミュニケーションが問題でしたが、言語訓練を続けたおかげでこれはほぼ解決されました。私は大部分の時間を博士号取得希望者と一緒にすごし、研究の第一資料が採用され得るかどうかを検討します。その会議は長くて複雑なディスカッションで成り立つもので、そこではスピーチが最大限に明瞭であることが要求されるのです。

コミュニケーションの問題を最少限にするために私は文書研究をリクエスト形式にすることを考え出しました。この形式では学生は自分の研究問題の説明を文章にして出さなければならないのです。このやり方にするとは私はより多くの学生のリクエストに答えられるし、私の勤務外の時間にも学内の人々が資料を使いやすくなるのです。

1972年に、ポリオ患者のLotus McGeeと結婚しました。彼女は教育委員会で言語病理学

者をしています。現在私は休暇年度（欧米では先生は7年つとめると1年の休暇がもらえる）なのでアメリカカソリック大学で図書館学修士課程の勉強を続けていますが、1975年1月にはくくにに帰り仕事に戻る予定です。

大学院の勉強の一部として、最近政府文書とその文書を身障者が活用することに関する援助研究（援助金を得てする研究）を完成しました。1974年夏期及び秋期には、年報や法律研究それに身障者のための報道などに関連したコースを集中してとるつもりです。

私の仕事は充実感がありますが、また絶えまなく頭を使って挑むことが必要です。職業として図書館員をえらびたいと思っている方はAmerican Library Association（50East Huron, Chicago, Illinois 60611 U. S. A.）又は御自分の地域の図書館協会に問い合わせるとよいでしょう。

**住所：R. Brantley Cagle, Jr., Dept. of
Government Documents, Lether
E. Frazar Memorial Library, Mc
Neese State University, Lake Charles,
Louisiana 70601, U. S. A.**

筆跡学

Jean-Louis Binet

(リハビリテーションギャゼットのフランス版であるGazette Internationaleからの抜粋。)

筆跡学は科学であり、芸術であり、技術です——それは人格と筆跡の関係についての学問なのです。書くということは「自己を示す行為」だと定義づけられてきました。筆跡学者はこの行為を通して、考えや感情がどのように筆跡にあらわれるかを知らうとするのです。その解釈は1622年以来続けられてきた研究に基づいて行われています。

私が筆跡学に興味を抱いたのは、15才のときポリオにかかり勉強が中断される以前のことでした。ポリオの体験は、私の将来の職業の下地をいくらか作ってくれたのです。その下地とは、人々やものを観察したり、思考や比較することの習慣を身につけさせてくれたことです。それから私は本をたくさん読み、多くの筆跡を検討したりしましたが、私を指導してくれたプロの筆跡鑑定家の体験から多くを学ぶことができました。アマもプロも私の友達は皆同じ興味を持っているので、もう何年も私のところに集まっては研究や演習を



Jean-Louis Binet と彼の妻及び2人の小さな子供の1人、1944年以来呼吸器系ポリオの四肢マヒとなったBinet はスイスで20年間プロの筆跡鑑定家をしている。

一緒にしています。私は自分の意見を素早くまとめることや人々と考えを交換すること、それに判断をコントロールすることを学びました。論理的に思考し、批判し、評価し、テストし、そして深く感じとることが必要なのです。

筆跡学の勉強

筆跡学の学部はドイツとオーストリアの大学とチューリッヒ大学に属するスイスのセミナーにあります。フランス語の指導は個人教授か通信教育でしか受けられないのです。興味のある方は下記にご連絡ください。

M.M. Meyer, 24 rue de Grand-Bureau, 1227 Geneve (Societe Suisse de Graphologie), 又は Mrs. Perron, 105 avenue d'Italie, 75 Paris 13e (Societe de Graphologie)。

こういう大学での学科がいかに良いものであろうとも、それは序論にしかすぎないのです。専門用語やテクニックを学ばねばならないし、一人で黙々と、一生懸命励まなければなりません。注意力と知覚力を訓練することに加えて、精神医学と精神分析学の基礎を勉強して心理学的理解力を身につける必要があります。

職業としての筆跡学

社内人事に適材適所を望む会社が主な雇用ではありますが、筆跡専門家はいろいろな分野で使われています。若い人々は結婚相手を選ぶためにアドバイスを求めてくるし、悩める親たちも来るし、和解を望むカップルなど様々な問題をかかえた大人たちが来ます。彼らは皆、筆跡分析のこの客観的観察者に自分自身をはっきりと把握しなおす機会を求めることができるのです。

どのみち、チャンスがないということはないのですから暮しをたてることはできます。幾つかの組織から仕事をとるのもよいでしょ

うし、大きな組織に入るのもよいでしょう。
私は独立してフリーでいる方を好みます。

趣味としての筆跡学

趣味としてならば、筆跡学は心豊かにするものであり喜びであり、誰にでもできるものなのです。身障者にとっては、人生に参加する手段であり、歴史上の有名人物の筆跡を分析することで歴史を自分のものとして体験しなおす手段にもなります。筆跡学は頭の中でできるものですから、最も重症の身障者でさえ深い満足を引き出せるのです。お問合せは

**Jean-Louis Binet, 10 Villereuse, 1207
Geneve, Switzerland**

編集注：筆跡学の新しいペーパーバック
(訳注：紙表紙の廉価版の本)：*Grapho-Therapeutics* Paul de Sainte Colombe 著
(Popular Library, \$1.25) 著者は1929-1930年にソルボンヌでPierre Janet 博士と共にペンと鉛筆療法(Pen-and-pencil therapy)を開拓した人で、有名な医師であり心理学者で1940年にパリからハリウッドに移った時にアメリカにその療法をもたらしました。この本の大筋は筆跡学の教本ですが、筆跡学の使い途の調査、幾つかの印象的な実例(訳注：個人又は1群の人々に関する血統病歴などあらゆる事実の記録)、それに初心者のための総括的手引が含まれています。

公報／図書館員

Jack Prial

昨年のリハビリテーションギャゼットを読みかえしてみても、異なった世界に何とかして適応した人々の人間としての快活さに感動しました。以下の私の話はそういう方々の話の半分位までいっていると思います。10年間で1つの段落に要約させて下さい。メリーランド大学の日刊学生新聞であるDiamondbackの編集者だった私は、自動車事故で首の骨を折りました。キャンパスの大物からC5-6四肢まひ者になってしまったのです。そして私は精神まで肉体と同じようにまひさせてしまいました。怖れ、欲求不満、怒り、落胆、他人への依存そして冷笑的になるなどの感情が交錯し循環するなかで、私は何年間か自分自身を孤独の中に閉じ込めてしまったのですが、地区の親切な療護所がその状態から救ってくれたので、私は立ち直るきっかけをつかむことができました。

1973年2月以来、私はメリーランドセンターで公報係官助手として働いています。そのセンターは米国に8つある同じような総合機関の1つで、様々な種類の障害者450人を一時に評価訓練する機能をもっています。

私の仕事は、新しい患者たちのために案内書を書いたり、時々行われるスライド上映会でこのセンターについて説明したり、フィルム係や写真師を手伝ったり、ニュース記事を書いたり、月刊の所内報を編集したり、所内の案内をしたりすることです。

所内報以外で最も楽しい仕事は、個人的に又は50人以下のグループを案内することです。

巨大な迷路のようなこのセンターは3階建て、建築延面積5.5エーカー、廊下が全長7マイルにもなります。(すべて水平で障害物もなく、車椅子の患者がたやすく動きまわるようになっていきます。)3つの評価研究室、25のトレーニング室、プール、フットボールのフィールド2つ分よりも広いレクリエーションルーム、盲人のための設備、50床の熟練看護設備、250床の寮、診療所、理学療法、作業療法及びカウンセリングの設備があります。

私の同僚たちは立派な人々ですし、このセンターは進歩的な雇主です。というのは、職員の約5%が身体障害者なのですから。

大学でジャーナリズムを専攻していたころ、私は広報活動などは“付き合いの一種”だと思っていました。あるものは実際にそのとおりです。が、作り出された「産物」がメリーランドリハセンターのように社会的人道的に有益な場合、広報活動は気高い努力であると云えましょう。私はついこの間、図書館員としてセンターに雇われました——住むところが見つかり次第勤め始める予定です。私は患者用図書館を設立し管理しているのですが、今リハビリテーションスタッフ用図書館を1つにまとめているところです。

ほとんどの時間はその図書館にかかりきりなのですが、私はいまだに所内報を出し、センターの案内もいくらかし、ニュースの報道もしています。私は又、保護工場のためのコマーシャルや、ある保険会社のためのリハビリテーションに関するインタビュー形式の映画や劇を書き、そのナレーションをしたりタレントショーを幾つか行なったり、車椅子バスケットボールの地域別トーナメントのアナウンサーをしたり、テレビに出る機会が何回かありました。働くことは、生きるために生活のお膳立てを見つけないことよりずっとやさしいように思えます。が私はまだまだこれからだと思っています。

**住所：Jack Prial, Librarian, Maryland
Rehabilitation Center, 2301
Argonne, Baltimore, Maryland
21218. U. S. A.**



民間保健機関の部長

セロ・ガルド イースターシール協会の部長であるFrances Halbeisen Lowderさんは、1974年4月に職業婦人クラブの74年度の賞の第4位を受賞しました。

この受賞は当然のもので、10才のときにポリオにかかり車椅子の身となったFranは国のリハビリテーション政策に打ち込むと同時に、彼女自身の地域活動にも専心しているのですから。

高校を卒業してから10年近くFranはある保険代理店に秘書として勤めていました。そして1960年にイースターシール協会で働くためにアイオワ州へ移りました。最初は秘書でしたが次にオフィスマネージャーとなりとうとうサービス部長になったのです。1960年から1967年にかけてDrake大学の夜間部及びサマースクールに通い、心理学を専攻しました。アリゾナ大学に通うために17ヶ月間休職して1969年に学士号をとったのです。その後まもなく現在の仕事である、アイオワ州セロガルド郡のイースターシール協会の部長の職につきました。夫のJamesが5年前心筋硬塞で亡くなったので、彼女は今未亡人です。

部長として、彼女は様々な年齢からなる800人の障害者に対するサービスを監督し、数々のプログラムを司っています。その中には、

ディケアーセンターや、成人向の活動センターや、設備ローン計画や、地域の手工芸品の販売などと、9つの郡内への出張サービスが含まれます。彼女は又資金調達活動と学校教育プログラムも担当しています。

彼女はアイオワ市民権委員会や、身障者の雇用に関する政府の委員会の委員やCORE（リハビリテーション教育に対する審議会の基準及び資格認定に関する委員会）のメンバーとしても活躍しています。

彼女は上記の他にも多数の会のメンバーをしています。その内のほんの少しを挙げると、全国リハビリテーション協会、知恵遅れの子供たちのための協会、地域計画会議、発達障害児委員会、社会福祉協議会、米国基金協会知恵遅れの児童及び成人のための全キリスト協会、ヘッドスタート計画、婦人協会、外地歴戦者補助部隊米国カトリック草生期協会、アメリカン及び職業婦人クラブ。

**住所：Fran Lowder, 418 2nd Street,
N.W., Mason City, Iowa 50401,
U. S. A.**

目覚しサービス

1対の目覚し時計と1台のラジオがRose Irene Doreの安寧に欠くことのできないものなのです——それらがなければ、彼女は仕事ができないでしょう。Roseは自分の家でウェークアップサービス（訳注：朝電話をかけて起こす仕事）をしていて、午前2時半に新聞運搬の運転手に最初の電話をかけることから、彼女の一日は始まります。

1961年以来、毎朝Roseはお寝坊さんたちを電話で起こしてきました。彼女に申し込んでいるのは、郵便配達人が1人、薬剤師が1人、数名の墓掘人、学童を持つ母親たち、専門職の人々、それにビジネスマンたちです。

彼らは皆、彼女の元気な「おはようございます、お目覚めの時間ですよ」という声に親しんでいます、もしいたとしてもほんの小

数の人しか彼女がリューマチ様関節炎で身障者だということに気づいていません。子供の頃倒れて以来ずっと家にとじ込めきりなので、Roseは彼女の契約者たちの誰1人にも会ったことはありません。彼女は生きて来た50年のうち27年間は盲目だったのです。

誰を、そしていつ起こすのか、申し込み者が最初に電話をしてきて自分の名前、住所、電話番号と起こしてほしい時間を告げるときに、彼女は独創的な方法でそれをテープにとるのです。テープにとってしまったえば彼女は全部覚えてしまいます。第1の目覚し時計が鳴ると（第2の時計は予備なのです）ラジオをかけて再び眠り込まないようにします。そして左手の親指を使い、ベッドの上にある電話で最初の呼び出しをするためにダイヤルをまわすのです。

このウェークアップサービスのアイデアは、点字雑誌を読んだ友人の1人が彼女にすすめたのでした。Roseはまずテープ録音した手紙を同じようなサービスで成功している他の盲目の人たちに出し、申し込み者を募りました。

郡から派遣される看護婦が毎日来て彼女の必要な世話をし、帰る前にRoseの時計をセットしていきます。昔からの友人が1人と、準看護婦が他の雑用を助けてくれ、おまけにウェークアップサービスの簿記もしてくれるのです。

Roseはいそがしくなる一方の仕事を持っているにもかかわらず、テープによって盲目の人やそうでない人と文通するなど、他にも色々なことをしています。

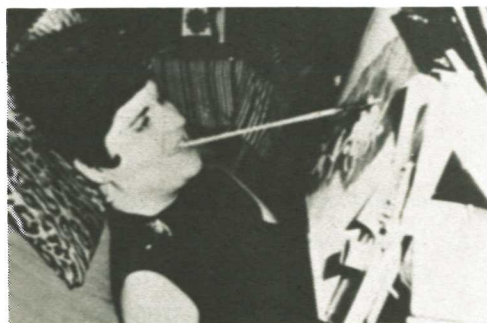
住所：Rose Dore, 913 E. 140 Street. Cleveland, Ohio 44110, U. S. A.

クリスマスカードの デザイナー

1952年以来呼吸まひポリオで四肢まひの Barbara Long は独学の芸術家です。1958年に絵を描くことを始め、それ以来彼女独特のインクと絵筆のテクニックを磨いてきたのです。テキサスの芸術グループやプログループのメンバーである彼女は、何回か個展も開きました。1970年以来彼女の描いたクリスマスカードは全米でかなり売れています。無料のイラスト入りパンフレットをお望みの方は下記へお申し込みください。

512 West Gonzales Street, Yoakum, Texas 77995, U. S. A.

Barbaraは筆や鉛筆を持つのに、固定されたマウスピースを使わないと知れば、マウススティックを使う芸術家のみなさんは興味を持たれるでしょう。「マウスピースは私の筆の動きを妨げるのです」と彼女は云っています。「私の歯はビーバーの歯のように悪いので木柄の部分をかんでしまうのです。けれども、筆に液体ゴムを塗るかビニールテープを巻けば大丈夫です。」



3 Mでの リハビリテーション

リハビリテーションカウンセラーである Paul Ashton は3 M(ミネソタマイニングアンドマニファクチャリング)で、ユニークなプログラムを指揮しています。Ashtonの仕事は、就業中あるいは就業外で事故や病気のために身障者となった3 Mの労働者たちを社会復帰させ、再訓練し再雇用することです。

「けがをしったり病気になった人の大部分が社会復帰できないのです。」と Ashton は云っています。「しかし問題は、社会復帰の可能な人を見つけることです。」

Ashtonの属する部門は、米国中の45,000人も3 Mの労働者たちを受けもっています。そして彼の仕事は会社の人事、雇用、医療、保険などの部門と密接に結びついています。また州立職業リハビリテーション機関や退役軍人局などの外部機関をも参考にしています。「リハビリテーションは単に人を別の仕事につけるのではなく、その人の興味と一致して、そこで能力が最高に発揮できる仕事につけるということです。雇主の必要を充たすと同時に、その人の情緒的精神的欲求に一番びったりしたものでなくてはなりません。」と Ashton は云っています。

彼の扱うケースには比較的容易なものも、困難なものもあります。3 Mのオーディオ／ビデオ製品研究所のエレクトロニクス技術者である Ed Jungbauer は、長く腎臓を患ってついに腎臓移植した後、元の仕事に戻ることができました。しかし Mary Rude の場合多発性硬化症に襲われたことは、特別速いタイプピストとしての職を去らなければならないことを意味しました。Ashton は彼女を電話交換手の仕事につけることができました。彼女は近代的なキーパルスコンソールを使って、どんどんかかって来る電話をさばっています。

Jim Hill の場合は、別の仕事も、追加訓練も共に必要でした。彼は3 Mの職務供給サー

ヴィスの注文調達係でしたが、1969年に自動車事故で背骨が折れ両足がまひしてその仕事はできなくなりました。退院すると、右足に補装具をつけ松葉杖で歩けるようになりました。職業リハビリテーションのミネソタ支部（DVR）が、機械操作員のコースをとるようにしてくれ、軍人法財団がその訓練の費用を負担してくれました。1972年の11月には、彼は仕事を探せるようになりました。DVRが3Mの人事部に問い合わせると、機械技術者の職が見つかりました。

「外部の機関へリハビリテーションの相談を求めたり、必要に応じてケースを処理したり、という方法でなくフルタイムの専任スタッフを置いて仕事をするという方法をとったのは、企業上のそして道徳上の理由によるものです。」人事サービスのマネージャーであるJim Keelyはこう説明しています。「3Mは人であるという経営哲学にのっとり行動する責任が我々にはあります。ですから第一に、人間の必要を充たすことに関心があるのです。」ビジネスの見地からすれば、「1人の従業員を復帰させることでどのくらい節約になるのか、はっきりと計算はできませんが、会社は彼の訓練や知識に投資しているのですから、1人の従業員の代りを求めるには2、3千から何千ドルもかかるでしょう。」とKeelyはつけ加えています。

「このプログラムが設定される以前、すなわちPaul Ashtonがまだ参加していない頃でも、我々は火を消すことは消していました。我々の目にとまった人たちは助けていたのです。しかし知らない人を探し出すということまではしませんでした。プログラム発足以来そういう人々を探しあて約500件も調査しました。」とKeelyは述べています。

住所：Paul Ashton, Rehabilitation Counselor, Personnel Services, Building 224-13, 3M Center, P. O. Box 33-800, St. Paul, Minnesota 55101, U. S. A.



リハビリテーションカウンセラーのPaul Ashtonは3Mが行なっているような会社組織のリハビリテーションプログラムはほかにはないと思う。そして全国会議でカウンセラーたちがこのプログラムに多大な関心を示したと述べている。

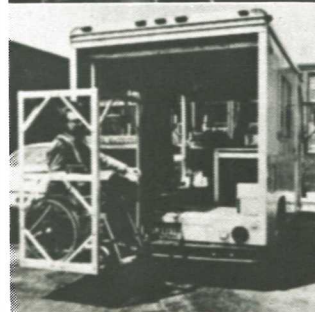
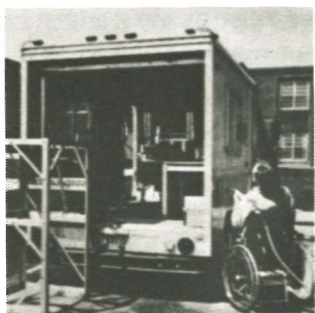
大学専任講師

高校2年のとき、Dick Jaskela はポリオに襲われ、勉学を中断しなければならなくなりました。「その後の10年間、私は人生で何をしたらよいかを見つけようとして過しました。」と彼は云っています。「芸術と文学が、

その味気ない年月の間、私を支えてくれたのです。7年間にわたって毎週平均5冊から6冊の本を読みました。」

大学へ行き文学の先生になりたいと決心した時、人工呼吸装置に頼っている四肢まひ者のDick は懷疑の壁に突き当たりました。「私は地区の奨学金援助団体を私の野心に巻き込んだのです。彼らはケント州立大学のアシュタブラ分校への奨学金を出してくれました。1学年の3/4の授業を受け、学科と著作についていくつかの賞を受けたとき、職業リハビリテーション局のオハイオ支部(BVR)が私の資格を調べて、私がいいテストケースになるだろうと考えたようでした。」

彼はオハイオ州立大学へ移され、彼といここはキャンパスから遠いアパートで1年間暮しました。いここは付添人の役をつとめ、その努力に対してBVRから手当を受けました。



オハイオ州立大学で1年間過ごしたのち、Kentの本校へ移り、学士課程を終え、国語で修士号をとりました。それ以来Dickはケンタ州立大学のアシュタブラ分校で国語を教えるかわら学校新聞の編集をえています。

Dickは現在1人で住んでいて、特別な装置のついたインターナショナル(商標)のトラックを運転して大学へ通勤しています。トラックの購入費及び改造費のほとんどはBVRが出してくれました。改造を担当したのはクリーブランドのTrue-Temper CompanyのリサーチエンジニアであるM.J. Markowskiです。彼は車を作り変えるのに1年以上もかかりました。現在ついている設備(ベッド1台も含めて)の費用は約\$11,000です。

電動で油圧によって持ち上げられる「カゴ」でDickは安全に乗り降りできます。後部側面についている外部コントロールパネルの上

のイグニッションスイッチをまわしてエンジンをかけます。次にアルミニウムのカゴを地面まで降ろし、それに乗り込み安全バーでしっかりとめるのです。

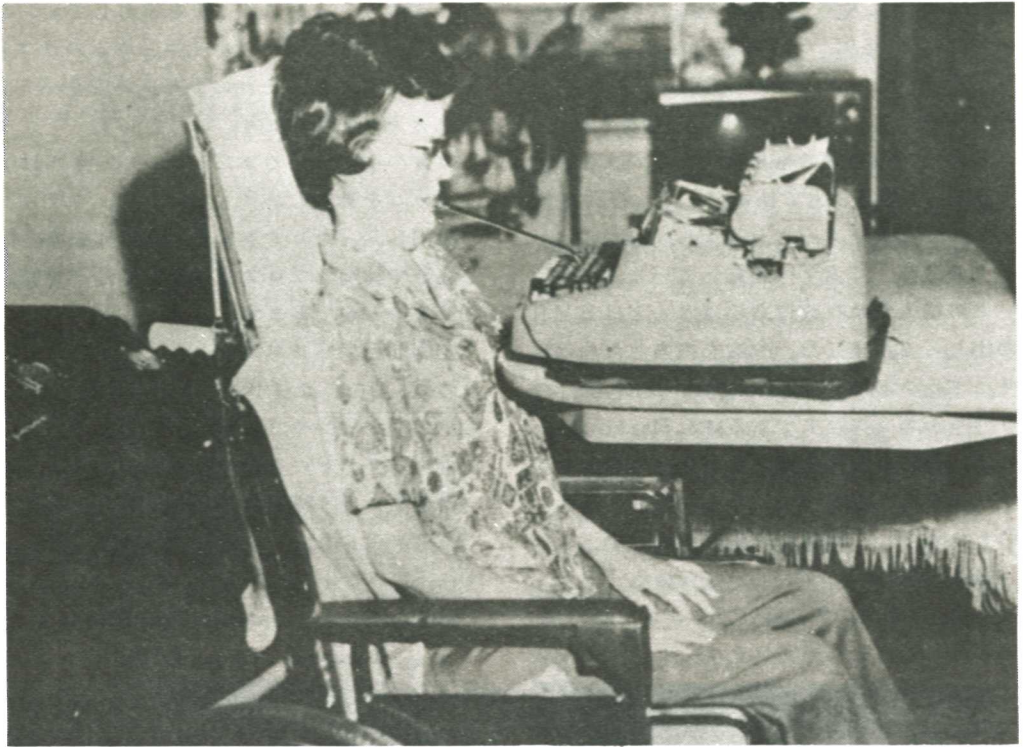
カゴの中の一対のコントロールパネルによってカゴを動かしたり、上げたり、トラックの車内へ入ったりできます。床は運転席と同じ高さで特別のフロアロックで椅子を固定させることができます。

左側前面にハンドコントロールがついているので、Dickは右手でハンドルを握りながらイグニッションやブレーキ、アクセル、オートマチックギヤーを動かすことができます。

携帯用人工呼吸装置のためのソケットはダッシュボードの上とトラックの外部に取りつけられています。

住所: Richard Jaskela, 2323 West 11th,
Astabula, Ohio 44004, U.S.A.





著作：やりがいのある挑戦

Peg Layton Leonard

著作の世界への扉を私に開いてくれたあの広告は、いまだに私の記憶にはっきりと残っています……。

「募集：ニュース通信員。主婦に最適のパートタイムの仕事。」

なぜその広告が——うちでとっている日刊新聞ザ・キャスパースタートリビューン（ワイオミング州）の1969年6月のある版に出ていたのですが——私の目をとらえたのかいまだに不明です。当時は独身でしたが、主婦と同じような生活をしていて、字もへたなので、私はどうしてその仕事には適していないように思われました。

しかしながら、その広告に応募して、出すように指示されたニュースのサンプルを3題提出しました。（こんなことをしたのは初めてです）。するとやがて私は地方での事件を取

材する20人の州通信員の1人として正式に雇われたのです。

その時までタイプは——私にとって——ほとんど手紙を書くだけに限られた趣味で、たまに地区の週間誌にニュースを書いたり、たった一作青春小説を書いたり（当時は「まわし読み」されていたため手元にはなかったのですが）という具合でした。

コネティカット州ウェストポートのフェイマスライターズスクールの通信コースに最後の課題を提出して数ヵ月が過ぎました。私の目標である3年間のフィクションコースの終了を成し遂げたので、少しの間「休暇」を取ってもいいのではないかと考えていましたが、36ヵ月払い（「便利な支払いプラン」を使った初めての経験）で使った金額のことを考えると、早くお金を稼がなくてはという思いに

かられました。

今、私はフェイマスライターズスクールのコースを修了したことを示す立派な証明書を持っていますが、いまだかつてないほど、果して小説書きは私に合っているのかしらと感じています。ノンフィクションのコースは、調査が必要なので私のまわりの人々に負担をかけるだろうと懸念して、やめたのです。

フィクションのコースを勉強しているときに、あの広告をみて私は突然自分の持っている能力で何をしようかと考えざるをえなくなりました。

新聞広告に応募しようかどうか思い迷っているうちに、もし採用されなくても又別の道が開けるだろう、という考えがひらめきました。私の趣味のグリーティングカード書きを通して、採用拒否の通知と一緒に新たな希望——つまり売り口ですが——も来るのだということに気づきました。

さて、私はニュース書きという新しい事業に乗り出していました。

5年後にある編集者に雇われてありがたく感激したことは今でも思い出します。私が呼吸まひポリオ患者で、口にくわえた細い棒でタイプを打つタイピストだとしていた彼は、それでもなお私は仕事ができるのだと信頼を寄せてくれたのです。

仕事そのものは少々変わった種類のもので、まさにワイオミング州ならではといったものでした。人口400,000人以下のこのロッキー山脈の州では、州全体にいきわたっている日刊紙かつ1ページに各地のコミュニティからのニュースをハイライトにしてのせているのです。こんなことをしている州が他にあるでしょうか。

私の仕事は、ダグラス(訳注：地名)を——「ワイオミングステートフェアのふるさと」——いふなれば有名にすることでした。

それまで新聞の仕事などには取り組んだことがなかったので、私はその仕事を与えてくれる挑戦と機会に喜々としてとりくみました。まもなく「やっきになって」日刊新聞にとり組むということ——記事を書くこと及びニュ

ース写真の両方の見地から、といってもどちらとも私は一人前とは云えませんが——は貴重な経験を得られるのだ、ということを知りました。私が述べられるのは、私個人の経験だけです、皆様の参考になればと思います。編集長に提出したタイプ原稿や写真はすべて、1ページに「べし」と「べからず」の2項目に分けて要求項目がきちんとリストにされて、私のところへ戻ってきました。私の書いたものは、頼まなければ何らの批評もされず、されたとしても簡単に述べられているだけでした。写真はどの程度「べからず」に忠実だったかによって印刷されたり、落されたりしました。特にカメラのレンズを直接見ている人を撮らないよう注意されていました。一方、良い作品とは、写っている人が皆忙しそうに何かを「している」ことが必要とされていました。——たとえそのためにポーズを取ってもらわなければならなかったとしても。

1つの話の最初のパラグラフに「5つのW」(誰が、何を、どこで、いつ、なぜ)を入れるテクニックをひとたびマスターすると、私の原稿は提出すればたいがい印刷されるようになりました。提出した原稿を最終的に印刷された記事と比べるために、私はカーボンコピーをとりました。そして印刷された記事のカーボンコピーと比べてチェックしてみれば、すぐにどのような校正がなされたかを知ることができました——もっとも、なぜ書きかえられたかはそうたやすく理解できるわけではありませんでした。

1日ごとに私の仕事は進歩しました。が、私が新聞で成功した真の功績は、私の「スタッフたち」に譲らなければなりません——筆記や調査や読み返しを手伝ってくれた母、ポラロイドカメラを使って写真を引き受けてくれた付添人、そして父——彼は必要なときには、急行郵便トラックの運転手に私の最終ニュースを手渡すために真夜中近くまで起きていてくれました。そのトラックは夜毎この町はずれで給油するのです。ダグラスの郵便を持っていくのは「仕事として」スケジュールに入っていたわけではありませんが、運転手

が次にとまるのはキャスパーのスタートリビューン社で、そこで毎晩新聞を積み込むのでした。アルバイトがその積み込み作業をしている間に、運転手は切手は貼ってあるが消印を押してない私のニュースの入った封筒を、ニュース室へ持って行き編集長の机の上へ置いて来てくれるのです。すると次の朝早く編集長に気がついてもらえるのでした。この便利な方法は何週間もうまくいきました。

2年間、3人のスタッフに支えられて私たちは歩み続けました。いろいろな意味でやりがいのある仕事でしたがそれほど割のよいものではありませんでした。原稿は1コラムインチ20セントだったのです。

1971年、私の生活はがらりと変わり（二人のパートタイムの家政婦さんに家を手伝ってもらい、いまや献身的ではあるが忙しい夫をも巻き込んでいるのですが）私はインチいくらで支払われる毎日締め切りの単調な仕事から、この地方の週刊誌ザ・ダグラスバジェットの月給100ドルの仕事に変わりました。

最初の仕事には、堅いニュースや特別インタビューから結婚・死亡記事に至るまであらゆるものが含まれていました。1972年には主に特別記事の執筆に変わり、鉱物（ウラニウム、石炭、ガス、石油）探索を含む中央ワイオミングの新しい産業に関するものと歴史的な題材などに焦点を合わせた記事を書いています。

私がよく特別寄稿するものは、西部の読者向けの雑誌や、ワイオミングの日刊新聞社が出す年刊の特別号です。特別号は、州の史跡、名勝やレクリエーション施設の紹介や農業、工業の発展の促進を意図したものです。

1月に、管理職の交替につれ私の地方週刊誌における地位も変わり、再び伝統的は「縦桁の」支払いになりました。今回は、1インチ25セントです。けれど、このように変わったのは神の指示だったと思うのです。というのは、今では自分のペースでやっていけるので、締め切り時間に間に合うように夜タイプしなくてはならないような仕事は、あまり引き受けなくなつたからです。

この世界での仕事を通して得た特性のなかには、ワイオミング婦人記者連合（ナショナルメンバーシップも同時に持っている）との4年間にわたるつき合いがあります。それは、インスピレーションの大きな泉であり、生命力にあふれた、外向的な女性達の組織です。

新聞を書くことが与えてくれる「ボーナス」の1つは、つぎつぎとあらゆる職業、階級の、ダイナミックな人々に接触することができることです。それらの人々の多くは自ら気づかないうちに、記者志望の人に役に立つ人間関係を提供してくれるのです。けれども、最大の賜物は、これほどおもしろく、次のに取りかかるために1件を急いで——今日から明日にかけて——片づけなければならないほど強制的な仕事を持つ欲びにあります。

書くということに「終り」はありません、探るべきものは無限にあり、その1つ1つに全く新しい挑戦が必要なのです。自分のペースを持てるやりがいのある仕事を探している人には、著述という分野は間違いなく充実した時を与えてくれるでしょう。

住所：Peg Layton Leonard, Box 681,
Douglas, Wyoming 82633, U. S.
A.

（訳一田村晴美）



DorothyとBob Deboltsの国際的家族。この写真は、盲目で、いためつけられ、おびえていたWendyが韓国から来た日に撮ったもの。彼女は、Debolts夫妻と14人兄弟の9人に歓迎されている。

身体障害者のためのボランティア活動

特別な子供を養子に することへの援助

アジアで浮浪児となっている韓国人と白人の混血の子供たちの窮状を耳にしたとき、Dorothy Atwood と彼女の最初の夫Ted は自分たちの5人の子を育てている最中だった。彼らは韓国人のKimとMartyを養子にした。

1963年に未亡人となったので、Dorothyは家族とプレーシャビルからカリフォルニアのビードモントに移り住んだ。その後まもなく、Dorothyは戦争で孤児となった14才の対まひのヴェトナム少年を2人養子にした。「初めて対まひについて知りました。彼らは多くのことを私に教えてくれたのです。1人は医者になり、もう1人はエンジニアになりたい

と云っています。彼らはよい成績をとっていますし、自分たちで稼いだお金で買った車を運転しています。」

1970年に、Dorothyと建設会社の重役であるBob Deboltは結婚した。そこで、彼のティーンエイジャーの娘もこの新しい家族にやってきた。そしてその後も沢山の子供たちが養子となって加わった。「7月に12才のHenryがピアフラからきて、さらに同じ国から2人やってきました。彼らを養子にはできませんでしたが、1年間法的な後見人になりました。」

「その頃は、大きな子供たちの何人かは、家を出て自分たちのアパートに移っていました。10人しか子供がいないと、家は何だか空っぽのようでした。韓国と白人の混血のSuneeを引きとったのはそんなときでした。Suneeはポリオのため補装具と松葉杖を使っていました。私たちはSuneeのためにもう1人身障

者の遊び友達が欲しかったので、1972年に、生まれつき手足の無い黒人の少女Karenを養子にしました。彼女は人工の手足をつけており自分自身のことは何でもよくできました。食べることも、ベッドを整えることも、刺しゅうさえできました。」

Debolt家に最後に加わったのは、ソウルの街頭に捨てられていた5才のいためつけられた女の子である。彼女は盲目であまりよく合っていないガラスの眼を入れていた。最近、角膜移植をしたので残っている方の眼の視力が回復した。

AASKの目的

「特殊児童」とDeBolt家とのケースが大変うまくいったのでAASK (Aid to Adoption of Special Kids特殊児童の養子縁組助成組織) が創設された。この非営利組織の目的は、養父母志望者と特殊児童の養子縁組先を求めている機関との仲介をするものである。

AASKは、身体的あるいは精神的に障害のある子、又は少数民族、あるいは9才以上の子供たちを養子にしてくれる家庭を積極的に探している。養子を望んでいる人たちの多くは、年のいった子や障害のある子や、人種の異なる子供たちを敬遠しがちである。その結果、何千人もの子供たちが養子に行かれない。AASKは、障害のある子供を育てる費用も普通の子供たちにかかる費用と同じくらいだということを広めて、障害者の子供たちの養子縁組を増やしたいと願っている。なぜならば、たいいていの州が養子となった障害児にひき続き治療を施しているからだ。

住所：AASK, P. O. Box 11212, Oakland,
California 94611. U. S. A.

相談電話

ボランティア訓練センター

The Crisis Line Volunteer Training Center (CLTVC) は専門の職員を備えた訓練及び教育組織である。その役目は、フロリダのバームビーチ郡の精神衛生あるいはサーヴィス機関のためにボランティアを募集し、訓練し、評価しそして監督することである。

相談電話は1週7日間、1日24時間制の電話サービスで、あらゆる公共サービス機関についての情報を提供し、個人的なカウンセリングを受けつけている。サービスには人間に関するあらゆる機関が含まれている——福祉、個人的問題、インフォメーション及び問合せ、麻薬及びアルコールの相談、自殺の緊急救助など。

1971年1月に創設されて以来、数々のプログラムのために2400人以上のボランティアを育成した。その中には、ひと月3000回もの通話を扱えるオペレーターが250~300人含まれている。

1974年春、CLTVは障害者のカウンセリングコースを他に先がけて始めた。カリキュラムには、偏見(「身障者」というレッテルを貼りつける、やりきれない固定化されたイメージ)、身分証明の必要、家族を巻き込むこと、子供と大人の関係、医療問題、身体の障害について、住居、雇用、教育、建築上の障壁、職業リハビリテーション、セックスや死の問題、などが含まれている。

より詳しい情報を得たい方は、下記に問合せること。

住所：Sr. Mary Frances Seeley, M. Ed.,
909 Fern Street, West Palm Beach,
Florida 33401, U. S. A.

補助具の貸出し

「Rebounders (はね返す者)という我々の名前は、人間とは身体の障害をはね返すことができる者である——という信念からきています。」とRebounders Incのパンフレットは述べている。

このクラブの主な事業は、車椅子や歩行補助具、病院のベッド、その他の器具などを、手に入れられない人々に無料で提供することである。1947年に創立され、現在では約200の器具を所有し維持している。たいていそれらは使用中で、しばしば順番待ちのリストができる程である。

この事業は、アメリカのBarber Shop Quartet Singingの保存及び奨励協会のパサデナ支部が催す年一回のショーの寄付と売り上げが資金となっている。

詳細は次のところへ：**Natalie J. Pavani, Welfare Chairman, 4632 Pennsylvania Avenue, La Crescenta, California 91214, U. S. A.**

日本語版編集部注：日本でも同じようなサービスが行われています。お問合せは、

サン・インフォメーションセンター

住所：東京都新宿区新宿4-2-23

大宗新宿ビル710 千160

電話 03-354-1487

または各県の福祉課、都の民生局へ

ラジオで語りかける

——有線放送

国会図書館や他の多くの組織では、何年も前から盲人のために本や雑誌を録音している。数年前、国会図書館は「語りかける本」のプログラムを盲人ばかりでなく重度身体障害者をも含むように利用範囲を拡大した。つい最近、いくつかの組織は、有線放送を利用して「語りかける新聞」を始めた。

この放送をすすめている組織の中には、ミネソタ州盲人サービス、カンザス大学イリノイ州ベルビルの“the Shrine of Our Lady of the Snows”及びシアトル公立図書館がある。FMラジオステーションがその主流チャンネルのほかに、準搬送波で放送できるため、このプログラムを実現することができた。ステレオ用に用いられる、他の1つは特別の受信機で受ける音楽をレストランやオフィスやお店へ放送するのに使われる。

ベルビルの組織はWMRYの有線放送し、1週間に5日15時間ニュースやインフォメーションを約700の特別受信機を借りている人々に提供している。受信機は資格のある聴取者に無料で貸し出され、ステーションの準搬送波にのみ波調を合わせられるようになっていいる。簡単なon-offスイッチで操作する。ステーションの放送半径は50マイルで、ミズーリ州セントルイスの都市圏全体に及んでいる。

誕生後1年になるこの事業は補助金を資金としスタッフはボランティアの助けを借りている。ボランティアの人たちが雑誌や本をカセットテープに録音し、それをラジオステーションへ持っていく。新聞は「なま」で読まれる。

The Telephone Pioneers of Americaとミズーリ州のライオンズクラブが受信機を提供し、Western Electric Council (WE)がその修理をサービスしている。

使用希望者は医者によって資格があると証明されるか、盲人として州の福祉課に登録されていないなければならない。詳細は次のところへ。**B. L. Witterbrink, O. M. I., Executive Director, WMRY'S Talking Books, Shrine of Our Lady of the Snows, 9500 Highway 460 West, Belleville, Illinois 62223, U. S. A.**

ワシントン州では同じようなサービスがラジオで語りかける本(Radio Talking Book)により、視力あるいは身体障害のために本を読めない人々に対し行われている。主な企画は、新聞、ニュース雑誌、本、その他特別におもしろそうな様々な事柄を読みあげること

であり、KUOWのSCA(サブチャンネル)で放送されている。

特製の受信機は、資格がある人が望めば、貸出される。資格は、国会図書館のTalking Book Programと同じである。

問合せは次へ。Library for the Blind and Physically Handicapped, 811 Harrison Street Seattle, Washington 98109 U.S.A.

動きへの挑戦

Adventures in Movement(AIM) は国立の非営利組織で、盲目や聾啞、知恵遅れ、身体障害、情緒障害などの子供たちに動くことを教える団体である。オハイオ州デイトンで1958年に創設され、全国に100支部を持ち、約600人の訓練を受けたボランティアたちが25,000人の子供たちのために働いている。資金は、寄附と特別の資金調達プログラムによりまかなわれている。子供たちに愛と関心を持っている人なら誰でもAIMの先生になることができる。すべてのボランティアは12時間の訓練を受け、最低週1時間は教えなければならない。

A I Mは体操と一定のステップの組合わせのダンスを通して体を動かすことを教える。「進歩はおそいのです」と理事のMiss Jo Geigerは云う、「我々は運動神経を磨く、つまり基礎を教えているので、それに時間がかかるのです。A I Mは1人1人の子供に自分自身のことができるようになるチャンスを与えるのです。もし指を1本伸ばすのに6週間かかるとしたら、それは6週間かかるといことなのです。けれどそれはその子にチャンスを与えることなのです。A I Mでは完全な失敗は今まで全くありませんでした。我々が助けて来た子供たちみんなに進歩がみられました。」

A I Mを説明するMaybe Tomorrow (訳注：たぶん明日には)。という28分の16mmカラーフィルムがある。名誉会長であるGene

Kelly の解説付で、デイトンのジュニアリーグがスポンサーになっているこのフィルムは、借り出すことができる。これはテレビ用に作られ、全国に放映された。

詳細は次へ：Jo A. Geiger, Executive Director, AIM, Inc. 945 Danbary Road, Dayton, Ohio 45420, U.S.A.

音の郵便による治療

ユニークな非常利組織である音の郵便による治療(Recordings for Recovery)は、テープに収めた音楽という形で世界中に治療を送っている。RFRとして知られているこの組織は、Ralph L. Hoy 夫妻によって1957年に創設された。引退したアルコアの重役のMr. Hoy の献身的な指示のもとに、家から出られない1人の友のための1本のテープから始まり、26ヵ国500,000人に15,000本のテープが届けられるまでに発展した。

RFRは全く善意に頼っている。給料をもらっているスタッフは1人もいない。250人ほどのボランティアたちと世界の一流の音楽家たちが奉仕しているのである。この組織の国際医療及び諮問委員会には、精神医学、心理学及び教育の専門家たちが含まれている。また、英国音楽療法協会やカナダのいくつかの組織と提携している。

American Federation of Musicians (アメリカ音楽家連盟)のメンバーに話しがもちかけられると、メンバーの誰が奉仕で演奏を行なってもよいことになった。自分の才能をささげたアーティストの中にはFred Waring, Roger Williams, Lawrence Welk, Danny Kaye, Liberace, Henry Mancini, Herb Alpert, John Charles Thomas, Burl Ives, それにEthel Waters がいる。その他に加わった人は、Longines Symphonette, Paul Whiteman, Mantovani, Tennessee Ernie Ford, それにMischa Elmanを含むGuy Lo-



ピッツバーグのWinchester—Thurston Schoolの先生で身障者のJanet HallとデュエットをするRalph Hoy

mbardo-Violinists, Sydney Harth, Joseph Szigeti, Issac Stern, Edith Peineman, 及びStefan Kroykなどがいる。The New York Philharmonic Orchestra (ニューヨークフィル) は子供たちのためにLeonard Bernsteinシリーズを行いThe Pittsburgh Symphony Orchestra(ピッツバーグ交響楽団) はコンサートの1シーズンをそっくり奉仕した。

現在ライブラリーにはノルウェー, スウェーデン, オランダ, ドイツ, イタリア, アイルランド, 英国の各大使館の寄贈によるものも含まれている。コレクションもアジアやアフリカ音楽のプライベートなコレクションなど, どんどんふくらんで来た。

「現在バッハからプギウギまでであるこのライブラリーを最初からやり直そうとしたら数百万ドルかかるだろうと見積られています。この才能の蓄積は, 善のために奉げられたのであり, 利益のために売られたことはないの

す。」とMr. Hoy は述べている。

テープは無料で個人や, 病院, 学校, リハビリテーションセンター, 刑務所へ貸し出される。RFRは知恵遅れや脳障害や精薄のための特殊学校や病院と密接に結びついて特別な歌やバックグラウンドミュージックやリズム治療などを録音している。長男が海軍病院で死んだので, Mr. Hoy はかなりの時間をさいて, 軍人の病院のためのプログラムを作っている。

プログラムは期限を定めて貸し出されるか, 質の良い空のテープかカセットに吹き込んでおられるので, 自分のライブラリーをつくるために保存しておくこともできる。プログラムは, クラシックや器楽や, ライトオペラ, バンドミュージック, バラード, ミュージカルコメディ, フォークミュージック, 宗教音楽, それにメッセージ, ストリーソング及び児童向けのもなどである。

申し込みたい方は, 説明書及び申し込み書を次のところから取り寄せること: **Mr. Ralph L. Hoy, Recordings for Recovery, Box 288, Oakmont, Pennsylvania 15139, U.S.A.**

国際ロータリークラブ

「The Rotarian」1973年12月号は, 国際ロータリークラブの対身障者事業の長い歴史を, 特集している。「ロータリーの機能はしばしば触媒的である」と編集長は書いている。「ロータリーの人たちは特に, 必要とされているものを見抜くこと, 解決方法を生み出すこと, 企画を軌道に乗せること, そして他の人を走らせるために機械を回転させることに熟達している。」たとえば, 障害児・者のための国立イースターシール協会リハビリテーションインターナショナルは, 1920年代初めにニューヨーク, オハイオ, ならびにオンタリオ州のロータリークラブが後援し 企画から生まれたものである。

国際ロータリーの事業は世界中に及んでい

る。たとえば、アルゼンチンの聾啞学校設立、オランダの障害児の家建設、日本の養護学校設立、インドの特殊治療を必要とする子供たちのためのローター学園、カナダの水治療法のためのプール、グアテマラの病院の建設、オーストラリアのポリオの人に電動式車椅子を贈呈したこと、重度障害の1カリフォルニア人に特殊装備車を贈呈したこと、カンザス州西トベカに車椅子改造工場設立、ケニアのある身障者の仕立屋にミシンを贈呈、などである。

Rotary International, 1600 Ridge Avenue, Evanston, Illinois 60201 U.S.A. に申し込んで、Working With the Handicapped、及びEducational Awards Handbookという無料のパンフレットを請求できる。後者は、他国で勉強する身障者の先生のための奨学金制度の説明である。

ACTION

1971年7月に設立されたACTIONは、異なった機関に運営されていた連邦政府後援の6つのボランティア組織を1つにまとめ、さらに6組織を加えて現在に至っている。ACTION及びThe National Center for Voluntary Actionはボランティア界のあらゆるところで緊密に結びついて動いている。

一方に自分たちの時間と能力をボランティアとして提供したいと願う身障者が居るとすれば、他方にはサービスを受けたいと思っている人たちがいる。例えば、日中家に1人で放っておかれる身障者は、The new Senior Companion program of the Foster Grandparent programを通じてボランティアの「シッター」を頼むこともできる。小さな事業を始めたいと思っている人は、SCOREの退職ビジネスマン又はACEの現役ビジネスマンから専門知識を得ることができる。インフォメーションは、次の10カ所にあるACTIONの地方事務所へ。ボストン、ニューヨーク、フィラデルフィア、アトランタ、シカゴ、ダ

ラス、カンザスシティ、デンバー、サンフランシスコ、シアトル。

ボランティア活動 情報センター

1969年に設立されて以来、このセンターは全国的な情報サービスを行なって、現在行われているボランティア活動についての情報を提供したり、人々をプログラムに配置する手助けをして来た。

この情報交換所は、元スミソニアン協会の情報検索専門家であったDr. Helga Rothの指揮の下に組織されている。何千ものボランティア事業に関する情報——社会サービスの幅広い分野を網羅している——がこの情報センターに集められ分析されている。特定のテーマに関する情報の問合わせに対しては、過去の事例の豊富なサンプルと、関連人物の名を挙げて答える。そのうえ、ボランティア事業の発展に関係したパンフレットや他の出版物の注釈付目録も用意されている。現在、センターは、ボランティア活動の関係者のために2冊の雑誌を発行している。ボランティアリーダーのための季刊紙Voluntary Action Leadership及び隔月刊紙のVoluntary Action News. 両紙とも無料配布されている。

センターを利用するときはスタッフを助けるために、興味のある分野をできるだけ詳しく説明すること。このセンターが扱っている分野は、公務、教育、就職、事業経営、奉仕プログラム、ハウジング、法律上の権利、自然環境、心理/社会援助サービス、レクリエーション、輸送などである。

もしあなたが在宅身障者のためのテーププログラムや「電話友達」調査システムを始めると計画しているとする、センターは全国にある既存の同様な事業についての情報を送ってくれる。それぞれの事業の要約に、連絡先の人の氏名、住所、電話番号が添えられている。これは全く貴重なサービスである！パラパラとページを繰って事業のあれこれに

目を通し、その創造性と活躍ぶりを感じとるだけでも楽しいものである。ボランティアのサービス事業を始めようとするグループや個人は誰でも、まずこのセンターに問合せるとよいだろう。

このサービスは無料である！利用したい方

は郵便、電話で、あるいは直接訪ねること。

**National Center for Voluntary Action,
1785 Massachusetts Avenue N.W., Wash-
-ington, D.C. 20036. U.S.A. 又は 625 Mar-
-ket Street, Suite 309, San Francisco,
California 94105. U.S.A.**

キャンプ旅行

1953年以来毎年、ミネソタ州のThe Future Farmers of Americaはキャンプ旅行を援助してきた。毎年約30人の身障者が参加して、ミネソタ州ブルーミントンにあるHarold Larsonから借りた新しいバンに乗って旅行する。カ

ウンセラーたちはキャンパーを、イエローストン公園、氷河公園、ノースダコダ州のブラックヒル、ミシガン州北部へ連れていった。

(訳——田村晴美)



障害への適応

これはWoodrow Wilson Rehabilitation Center (以下W. W. R. C.) に居る脊損男子学生30人に対して、Lillian A. Pennell 博士が行った面接調査——どのような考え方や経験が障害の克服に役立ち、あるいはさまたげとなっているかという質問に対する答えの抜粋です。

(訳注：ナンバーはそれぞれの患者をさします)

あなたが障害に適応するのに役立った考え方や経験は何ですか

No. 1 : Woodrow Wilson Rehabilitation Center です。

No. 2 : 献身的なスタッフの方々。W. W. R. C. よい家族。よい友達。宗教。自分より悪い状



Dr. Lillian A. Pennell, Career and Personal Counseling Center のディレクター。(Mary Baldwin College, Staunton, Virginia にある) 彼女は1965年 University of Florida で教育学のドクターを得ている。これは彼女の卒業論文“The Relationship of Certain Experiences to Psychosocial Adjustment in Persons with Spinal Cord Injury”の一部で、彼女自身30年前車の事故で四肢マヒ者となっている。

態にある人々に目を向ける事。一般の人々にも。指が良くなってきたこと。

No. 3 : 何か自分に出来ることを見つける事——楽しみとか静かにして出来事。今より悪くならなかった事を感謝し、自分の為、人の為は何が出来るかを考えます。

No. 4 : 神は全ての人に目的を与えられていると信じています。恐らく私の障害も人生の目的を見出すのに何らかの意味で役立つことでしょう。私はこの世にもまだよいことが沢山残されていることも知りました。

No. 5 : 私が幸せだと感じるのは脚が回復に向い、又友人達と家に居る時だけです。私は臆病で死ぬことが出来なかったので障害に直面せざるを得ませんでした。ですから最善を尽くして生きるより仕方がないのです。

No. 6 : 私は傷をおった当時より現在の方が人に会うことが苦になりません。この10年間多くの素晴らしい人達に出会いました。

No. 7 : 医師や療法士がどのようにして自分自身の事が出来るようになるかを助言してくれましたが、私は自分で障害を克服しました。今では日常の軽い仕事でしたらほとんどどんな事でも自分で出来ます。

No. 8 : 故郷には愛する恋人が居ます。彼女だけが生きる支えとなっています。以前より自立し、他人に頼る必要はなくなりました。

No. 9 : 傷をおってこれからどうしたらいいのか全く分らなかった時、私より悪い状態にある人達の事を考えるようにしました。家族も私に精一杯援助の手を差し伸べてくれましたし、釣やハンティング等私がしたいと思うことは何でもさせてくれました。又車を手に

入れ、どこでも好きな所に行かれるようになった事が最大のなぐさめでした。

No.10: 両親と親しい友達が救ってくれました。今では人生に前以上に意味を見出しています。思いやりと又それを示す事の大切さを知りました。神がいつも救いであり、神こそ偉大な治療士です。

No.11: 医師や療法士のお陰です。今では車椅子に乗っていることがそれ程つらくありません。私より悪い人はいくらもいるのです。

No.12: 出来るだけ忙しくする事です。問題があれば他の人達と話し合い、信仰を持ち決して望みを捨てない事です。理解ある家族にも恵まれました。過去、未来について夢を描きます。

No.13: 初めは妻が大きな助けとなってくれました。それから W.W.R.C. に来たことでやる気が起きたのが大変な成長だったと思います。自分よりもっと悪い状態でしかも強く生きている人々を毎日見て、他の人に出来るなら自分にも出来ると思うようになりました。苦しんでいるのは私一人ではないのです。

No.14: 私は結婚したばかりです。妻と一緒にいるとつまらない悩みは忘れてしまいます。新しい生活、今までとは全く異った人生が待っています。自分が世話をし、又世話をしてくれる人、自分を必要としてくれる人がいるのです。必要とされること——それが私にやる気をおこさせてくれます。両親ともなじめるようにやり、彼等の言葉に尽くせないほどの助力や思いやりを感じます。そう、真の友人を見つけたのです。——それは妻です！

No.15: 自分と同じ程度かもっと悪い状態の人達を見ることです。自立することです。社会生活も大事です。——新しい人達と会うことです。

No.16: 何よりも助けとなったのは自分以外の四肢マヒ者、対マヒ者とのグループ療法や他のリハビリテーションセンターの精神科医です。そこでは全員が自分の事故について述べ、意見を出し合い、障害を受け入れることを学びました。又両親も私を一人にし、独立させなければいけないことを学びました。

No.17: 卒業までに就職が決まったことです。ハンドコントロール付の新車を手に入れ、どこにでも行きたい所に行かれ、したい事が出来るようになった事です。再び完全に自立出来たのです。

No.18: 障害者になったことを受け入れられたのは友達のお陰です。

No.19: 事故以前より宗教的になりました。そのお陰で多少すてばちになっていた最初の頃に比べ、障害にうまく立ち向かえるようになりました。私にはもうすぐ修士を取り終える兄がいますが、彼は私が学校を続けたいという希望を後押ししてくれました。「人間は車椅子に乗っているままで得られるものだけでなく、もっと高い所でなければ手に入らないものを望むものだ」というのが彼の考えです。学校では作文の先生が私の為にテープレコーダーを買うお金を集めて下さいました。

No.20: 友人や親せきの人達が事故前と変わらない態度で私に接してくれた事です。私に疎外感を持たせないようにしてくれました。事故以前に学校をやめていましたが、今また大学に行こうかと思っています。

No.21: W.W.R.C. に来る以前、私は他の病院に3ヵ月居ました。そこでは私は赤ん坊扱ひされ、甘やかされ、決して本当のことは知らされませんでした。ここでは何をすることも自分の意志で決めなければなりません。自分自身の為に行動し、自分のことは自分であることを学びました。そうしたことで私は満足を覚え、自立しているのだという優越感さえ持ちました。私は一個の人間なのです。将来への決定が成される前に、自分自身が対マヒ者であり再び歩けるようなことは無いと自覚する必要があります。

No.22: 男女関係です。——悲しみやつらい事を分ち合える人が居れば救いとなります。さらに私にはまだ未来が残されていると感じさせてくれた家族の態度、特に父が救いとなりました。障害があるからといって何ら問題ではないと言ってくれた何人かのよき友も得ました。

これまで身体的なことばかり気にしてしまし

たが、私のような障害ではある程度までならみた眼にもおかしなく着こなすことができます。補装具も魅力があるとは言えませんが、それ程見苦しいものでもありません。私だっておかしくなり、いらいらし絶望的になる時もありました。しかし障害者になる以前にもそういうことはありましたし、その全部がどの人間もが持っている感情なのです。それが人生です。

No.23：事故に会ったのはほんの一年前です。センターに来たことが自分の間違った考え——車椅子に乗っているとジロジロ見られる——を直すのに役立ちました。私は別の考え方をしてみようとしたり、自分はそれ程見苦しくないかと道行く人に印象づけようとしたりしました。一番むずかしいのは車椅子そのものに慣れることです。これからも車椅子に慣れ、障害を克服出来るなどはとても思えません。

No.24：自立して家族によい生活をさせてあげたいという気力です。私には妻と2人の子供がいます。自分のことは自分でやります。障害を克服することはとてもむずかしく、出来るとは思われませんが障害を受け入れることは出来ると思います。

No.25：他の人を見てその中に自分より悪い状態の人を見つけます。

No.26：私の障害は私自身がひきおこしたことです。多くの問題を抱えていました。絶望し自己憐憫に陥った時、自分の人生を見つけ出そうと努力しました。神の恵みによって救われました。その時から私は自分が対マヒ者であることを知り受け入れられるようになりました。私自身の囲りに自分より悪い状態の人人を見つけ、この世界のどこかで毎日戦い死んでいく人達があることを思います。障害者がある人達のことを思うなら、自分が生きていることを神に感謝することでしょう。

No.27：最も役に立った経験はと言えば、同じ問題を持った人達と交わる環境に居られたということでしょう。同じ障害あるいはC.P.や筋ジストロフィーといった障害を持った人達と一緒に居ることで自分自身へのあわれみを

捨てることが出来ました。自分と同程度かもっと悪い人達を見ていると、その人が何を求めているかということではなく、どんな目的をもっているかによって財産とその人の価値が決められるという風に考えるようになるでしょう。又自分の仕事をする時に個性を殺そうとしない人達——看護婦や療法士と交わることも役に立つと思います。非人間的な環境では回復への刺激剤も得られません。車椅子の人でなくても（例えば名前呼び合える看護婦）本当に人間らしい人と付き合うことが必要です。さらに自分の障害をよく知ることも役に立つと思います。W.W.R.C.では加わるという“当り前”の経験を大切にします。この“当り前の人として感じることを軽んじてはいけません。

No.28：理解ある妻を得たことです。彼女は私が努力する気持を失わないよう励ましてくれます。ここへ来て、自分よりもっと障害を背負った人達を見た事も役に立ちました。私には2つの手がありそれで充分です。

No.29：唯たゆまず努力し続けたことでしょうね。神への信仰も救いとなりました。いつも神を頼りにして来ました。兄弟に対しては彼等の狩りの話を聴いてあげることで一緒に行かれない償いをします。もし家族が居なければ私はここまでにはならなかったでしょう。家族は私に小言を云い、私が限らない可能性を持っている事を教えてくれました。

No.30：病院に居た頃、医師達は歩けるチャンスがどの位あるかということについて真実を語ってくれました。とてもいい雰囲気でも私に幸せな気分ではられませんでした。ここW.W.R.C.に来て私が学んだのは自立することでした。自分自身のことが出来るようになると障害者だということを感じなくなります。ここではとても忙しいので、どうして自分が障害を持つようになったかと考える暇などありません。ここに居ると自分より悪い状態にある人達を見ることが出来ます。見方によっては私は幸運な方なのです。

あなたが障害に適應するの に妨げとなった考え方や経 験は何ですか

- No. 1** : 妻が離婚を望んだことです。
- No. 2** : 医学的に将来どうなるかという事がまず心配です。現在はぼうこうけいれんを持ち、カテーテルをはずすのはむずかしい状態です。又常に圧迫創の心配があります。健康な人に負けたくないという気持、将来への大きな不安が有ります。(大学、結婚、就職、子供、死等) ホームシックになったり、退屈したりいらいらしたりするのはしょっちゅうで、昔のことを思い出してはいつも頭痛がしています。
- No. 3** : 障害にはうまく立ち向かって行かなければなりません。克服するには前進しなければなりません。
- No. 4** : 家族や友人が出来る限りの援助をしてくれましたが、彼らにとって私が重荷になっているのではないかと常に思っています。
- No. 5** : 傷をおって8ヵ月にしかありませんから、まだ慣れるまでにはなっていません。事故以前の思い出が最大の障害になっていて、昔の友人と会ったり、昔の歌を聞いたり楽しかったパーティーやダンスのことを思い出します。その事がこの重荷を乗り越えようとする私の意志をともしればくじかせるのです。
- No. 6** : 自分が望む仕事が出来ない、行きたい所に行かれない事です。適切な仕事を見つけないと思っています。時には困りの人が障害者とどう接したらいいのか困ることがあります。
- No. 7** : スポーツが出来ないことです。しかし同じ位興味を持てる事を他に見つけました。
- No. 8** : 他人に頼らなければならない事です。ギターを弾いたり、水の中で遊んだり、模型飛行機をとばしたりしたいのですが何一つ出来ません。望む仕事も出来ません。結婚して自分の家庭を持つ幸せも望めません。能力には限界があります。絶望的になって何回か

自殺を考えた事もあり未遂に終わったことも2度あります。今まで抱いていた希望は何一つかなえられなくなりました。もう生きがいはありません。他の人達の様な生活はもう望めないのです。友達も私が余り悩んでいるのを見て離れて行ってしまいました。

- No. 9** : 最もつらいのは子供を持った時です。十分に面倒を見てやれません。最もいやなことは人に注目されることです。町に出るといつも人にジロジロ見られます。
- No. 10** : 他人に頼らなければならない事がつらい事の一つです。
- No. 11** : 医師や療法士には決して歩けるようにはならないと云われています。多分そうでしょう。しかし両脚共動かすことは出来るので教会にも行き祈っています。あきらめずに努力しようと思っています。
- No. 12** : 間断なくおそってくる痛みです。常に自分の出来ない事、行かれない所にぶつかります。排尿・排便・床ずれの心配。好きなように子供と遊べない事。他人の同情、バランスがとれない事。動作がおそい事。恐れの時。
- No. 13** : 私の最終目的は仕事につき家族を養うに十分な収入を得るようになる事です。今商売を始めることで思い悩んでいます。ダンスに出かけたり、車を運転したり、唯歩くことなど、出来ないことが沢山あります。
- No. 14** : 何かしようとする時動作が遅いのでやりにくい。排尿・排便は退屈で日常生活のさまたげになっています。人の手を借りたり、金銭面でも世話にならなければならないのが苦痛です。唯動けないというだけで!
- No. 15** : 最初は人々の居る所へ出て行くのが苦痛でした。人間としての生活、ガールフレンドがどう思うだろうかという事が心配です。就職、結婚の心配。排尿、排便の問題もあります。
- No. 16** : 家に居て父が仕事に出かけるのを見ると、自分が歩けないことが重荷に感じられます。
- No. 17** : 私は元来、自分でしようと決めた事は何でもやってしまう人間です。しかし今は何をやるにも他人に全て世話にならなければな

りません。トラック運転手として働いて収入を得ていたこと全てが時間の浪費であり、再び運転出来るようにはならないと知った事。又ダンスやハンティングに出かけることが出来ないと思うと、障害にとても慣れることは出来ません。

No.18: 最大の障害は排尿・排便。スポーツが出来ない事。

No.19: 大学でバスケットボールの選手をしていて、去年の夏、傷をおいました。2度とスポーツは出来ないと分った時はとてもつらかった。それからガールフレンドが私を受け入れてくれるだろうか、兄弟はどう思うだろうかかと心配した。特に弟への影響が心配だった。人と居ると疎外感を持った。家族や友人は私が2度と歩けるようにはならないという事を信じようとしないので、本当にそうなった場合彼等はどう思うだろうかということが心配です。父は3年間という期限をつけた、それまでには是非回復したい。

No.20: 私には障害は無いと信じています。もう後戻りすることは出来ないのです。

No.21: 一番つらいのは健康な友達と一緒に居ても何一つ一緒に出来ないことです。自分には出来ないと分っていてゲームを見たり、踊れないのに友達がダンスをするのを見ていなければなりません。四肢マヒ者としてしなければならないこと（腕立て伏せ、訓練、蓄尿袋を空にする事等）が時にはめんどろになります。一度は克服しましたが、時たまこだわってしまいます。床擦れがとても心配で、常に頭にこびりついています。

No.22: 傷を負った頃、私は大学生で婚約していました。一年後婚約が破棄され、何をするのも虚しく感じました。夢は破れ去りました。自立した人間であったのが、それからは他の人に頼らなければならなくなり、自分がすればもっとうまく行くのにとすることが気にさわりません。又周りの人達の態度も気に入りません。あなたより悪い人はいくらでも居る等とは云ってほしくありません。たいていの人は何かにしてあげようと思うとわざとらしくなってしまいます。障害者を理解してくれ

る人はほとんどいないのです。ですから悪い事をした子供のように家に閉じ込もってしまうのです。

No.23: 排尿・排便の調節がうまく行かず、性生活が無いことに慣れるのは非常にむずかしい。しかし障害者であることでまず耐えなければならぬことは待つという事です。車の乗り降りから何もかも。ある意味でマヒ者であることは自立生活を失われることです。両親に孫の顔を見せてあげたいと思っていましたが、私には女性に何もしてあげられないので結婚も出来ません。

No.24: 障害者には必要以上の手助けはいりません。

No.25: 今までし慣れて来たことが何も出来ませんし、この状態を利用しようとする人もいます。

No.26: 誰の心にもある“自己憐憫の石”を神様を取り除いて下さると信じています。私については、“自己憐憫”が人より多くも少なくもない。—考え方、行動は世間の人達とは異なるかも知れませんが、そう信じています。障害者は常に自分の囲りで何が起きているか気をつけているべきだと思います。

No.27: ジロジロ見られたりサーカスの余興のように扱われるのはたまりません。自分が出る事を他の人が手伝ってくれようとするのは嫌です。勿論、わからないが故の善意から出ているのですが。妻は私の料理に塩をかけることまでしてくれましたし、病院では起き上がったり、何か初めてしようとする時、看護婦に私が頼まないのに手を借さないでくれと大声で叫んでしまう程でした。

No.28: 最大の障害は歩けないことです。私は今までずっと戸外で過ごして来ました。農業にたずさわっているのですが、出来ない事が本当に沢山あります。しかし車を運転し、トラクターで耕し、簿記もつけています。

No.29: 障害者となった時、初めは信じられませんでした。しかし私は神を信じいつも見守られていました。ハンティングや野球が出来ないのがとても残念です。人に頼る事は、耐えてはいますがとてもつらい。

No.30：結婚が出来るかどうか心配です。この状態で生きて行くには私の忍耐強さが役に立っています。神が助けて下さることを決して忘れません。（訳——方井柞子）

編集部より：全部をお読みにになりたい方は、Dr. Lillian A. Pennell, Career and Personal Counseling Center, Mary Baldwin College, 135 North Coalter Street,

Staunton, Virginia 24401, 価格：50¢
題名：Handicaps: What Makes It Easier? What Makes It Harder?

1972年のGazetteにも Comprehensive Rehabilitation Center: Woodrow Wilson Rehabilitation Centerの詳細がのっています。

センターは Virginia州Fishersville にあり、6000人の脊髄損傷患者が入所しています。

日本の情報

頸損の会をご存知ですか

頸損の会は昭和49年7月、頸損の有志数名の発議により発足しました。“頸損障害者の新たな連帯をめざして”と題された、初めてのパンフレットには次のように記されています。

——私達、頸損障害者が障害の重さに負けることなく、積極的・意欲的に生きていくために、私達をとりまく様々な問題を自分達で考え、話し合っていく会があっても良いのではないかと考え、今回「頸損を考える会」(仮称)を発足させ、何らかの行動をしていきたいと思うのです。

あなたが障害者としてこれまでにぶつかった問題とか、現在闘っている事柄、あるいは毎日の生活の不便さを克服するためにした努力や工夫の数々などを皆と分かち合いませんか。あなたの経験や知識、あるいは希望、抱負そして悩みなどを語ってください。それらは他の人々にとって大いに参考になるでしょうし、それによって勇気づけられ励まされる人も多いと思います。同じように、あなた以外の同じ障害を持つ人達がどんな努力をして、どんな考え方で生きているのかを知ることはあなた自身にとっても有意義なことであろうと思います。

私達は障害者として行動が著しく限定されるということから、どちらかという情報不足、知識不足になりがちであり、それ故に正当な権利を主張しえなかつたり、また時には必要以上に自分の可能性をあきらめ、将来を悲観的にみつめるというようなこともあるようです。そうしたことを防ぐために私達の間で情報や知識の交換を密にし、それらを十分に活用することにより自分の周囲の現状を改善し、将来を考え、力強く生きましょう。

したがって私達の活動の第一歩も、互いの情報・知識を交換する場として出発したいと思えます。

現実問題として、私達は他の障害者以上に外へ出て集会を持つことが困難な場合が多いので、どうしても文書や電話による活動が主になると思います。一部の動きやすい頸損障害者のためだけの会ではなく、今までそうしたものは遠い所にいた人であっても参加していけるような会にしていきたいと思っています。

——発足してから2年数ヶ月が経過した現在、会員数も30名から65名に増え、また在宅者訪問・療養所病院での交歓会・新宿の街でのリレーションなどを通じて会員相互の連帯意

識も漸く育ち始め、昨秋開催された初の総会では、会員の半数を超える26名が参加し、ボランティア、家族の参加を含めると60名近い人々が一堂に会して、大学の問題（通信教育を含めて）、施設の問題、医療の問題、職業の問題、そして障害者と街づくり、福祉行政の問題点などについて、各個人の実際に当面した体験談を通じて2日間にわたり真剣な討議が行われ、それに基づいて今後の活動方針が決められていきました。

まず医療、リハビリなど会員相互のコミュニケーションを円滑化することにより、ある程度まで予防あるいは促進できる問題と施設や対行政との対外問題に区分けされ、われわれの組織が充実していない現段階では、第1の対内問題に焦点を合わせていくことで了解がとれ、会組織の充実が力がそそがれたのでした。

第1回総会から1年が経過した現在、会は対外的な問題と取り組むべき、第二期の段階に入っています。現在当面する問題は、ケア付住宅・ナーシングホームの問題です。会員の内に現状の施設の中に住む事を望む者が一人もいない現況では、早急な設立が望まれるわけですが、現状ではわれわれが自主管理するケア付住宅という理想は実現し難いので、当面、既存の施設あるいは病院の中に、このような形態に一步でも近づいたナーシングホームを建設しようとしています。最近、国からもケア付住宅の調査予備費が出、この問題に関しては熱心な病院もあるので期待が持たれるわけです。

次に頸損者の実情を理解して戴くために会が昨秋行ったアンケート調査の結果をごらん下さい。

風呂、トイレまで不自由なく、週に1回以上外出できるという者は全体の35%に過ぎず、残りの65%は日常生活で何らかの不便を感じており、衣服の着脱もできない者が35%もあり、職に就く者は僅かに8%、行動的に生きることの目安となるトランスファランス（ベッド—車椅子）の達成者が55%となっています。

アンケート結果

調査対象 49名（昭和50年9月1日現在）

項目	比率
食事	95%
衣服の着脱	65%
買物の体験	65%
トランスファランス	55%
トイレ	49%
風呂	35%
週1回以上の外出	35%
職業	8%

頸損の会では、会の趣旨に賛同して協力して下さるボランティアを募集しておりますので、下記に御連絡下さい。

頸損連絡会

（事務局）新宿区上落合 2—26—14

Tel (03) 361—8853

三 沢 了

（編集局）三鷹市中原 4—17—1—

108

Tel 0422—48—5914

中 西 正 司

読書案内



これはDonna McGwinnが選ぶものです。彼女は呼吸器系のポリオで四肢マヒです。

住所：Box 267, Grand River, Ohio 44045, U.S.A.

身体障害者のための 就職の機会

Employment Opportunities for the
Handicapped

Juvenal L. Angel 著

1969. Simon & Schuster. Inc.

New York. 価格 \$ 12.50

これは就職の機会について書かれたあらゆる本をしのぐものである。もし、この本を読んでここに書いてある情報を取り入れた後、お金を稼ぐなんらかの仕事にまだつけない人は多分働きたくないのか、働く必要がないのだろうか。例えば、障害のある男女に向いている350もの職種分析が行われている。その分析は、仕事の説明、要求される素養及び特質、必要とされる身体活動、どこで就職口が見つかるか、そしてどのようなタイプの障害者にその職が向いているかということを含む。考えてみたこともないようなおもしろい職も幾つかある。たとえば、生物学者、競売人、カナリヤ、インコあるいはネコの繁殖家、ろう

そくやキャンディの職人、チーズ店の経営者、洗濯屋の従業員、メニューの印刷、不動産ブローカー及びセールスマン、タクシー配車係、権利証書の検査官、めがね屋など。自分自身のキャンディショップを持つという考えは余りに魅力的だったので、私は書くことをやめてしまおうかと考えたが、カロリー過剰という妖怪が私をタイプライターに縛りつけた。

この本の著者は次のように断言している。「競争社会において自ら食べて行くための個人の能力に対する脅かしは、また人間の重要な要求に対する脅かしとも考えねばならない。このように我々が納得し理解している考えは、いわゆる社会経済的地位と呼ばれるものをふり返って見ればよくわかるだろう。地位とは、通常実利的な仕事と結びついている社会的地位によって人々を分類したものである」

人間社会における個人の地位に占める職業の重要性を一層裏付けるものはThe Philosophy of Existence (存在の哲学) という本のGabriel Marcel である。「近代人は自分を1人の人間であるとか自己であるなどとは認識していない。そのかわりに、地下鉄の切符売りだとか、食料品屋だとか、教授だと

か、米国電々公社の副社長だとか自分の経済上の職務によって認識しているのである。」収入や地位のほか、働くことには独立とか、自信とか、自尊という別のみのりがあることを身障者たちは知っている。

身障者の雇用に対してよく使われてきた論拠の幾つかが、検討されしりぞけられている。その1つは、身障者を雇うことで雇用主の保険料率が上がるという考えである。Angelは、次のように書いている。「労働者の補償保険制度やその料率に、身障者を雇う雇用主を不利にするような規定は無いということ強調しなければならない。誤解を解くために、以下の事実をのべておく。労働者の補償保険料率は2つの要素によって決定される。なされる仕事の関連危険と会社の事故経験である。保険料金決定に用いられる方式は、雇われている人の種類を考慮に入れることはない」

身障者の身体及び職業リハビリテーションを行なっている各州の機関や組織がリストされている。特定の障害のためのリハビリテーションを直接助ける国立診療所も含まれている。就職に関連した教育についても1章がもうけられており、たとえば、高卒以下ではどんな仕事を得られるかとか、職業及び実務トレーニングとか、大学のコースなどが出ている。他の章は職探しにあてられていて、略歴の書き方や面接の受け方、通信販売や他のホームビジネスの始め方、それにどこで商品やパートタイムの仕事や零細企業を見つげられるかなどが含まれている。驚くべきことに、The State-Federal Vocational Rehabilitation Program (州一連邦職業リハビリテーション事業)のすべての職業紹介先のうち約10%は自家営業であり、その大部分が零細企業である。

Juvenal Angel はModern Vocational Trends Bureau (近代職業傾向研究所)の所長である。彼の本は単に仕事と関連データの編集ではない。身障者に対する社会の姿勢のゆるやかな変化と、その結果彼らが機会と地位に恵まれることが増大したことの総括的評価である。ミニチュア化とエレクトロニク

スという形の科学技術の貢献、及び早期に病氣や怪我で死んでしまったであろう生命を生き永らえさせる医学の貢献が、身障者を屋根裏部屋や奥の部屋から社会の主流へと開放するのに重要な力となったことを認めている。さあ、定職につくことができれば、社会的地位のある、世間の役に立つ生活が保障されるのだ。

性をよく理解するために

Sex A Better Understanding
Community Sex Information and
Education Service, Inc.
Box2858, Grand Central Station,
New York 10017. 価格 50¢

公衆衛生と疫病学の学士号を持つDr. Hale Harvey は、the Community Sex Information and Education Service (コミュニティ性情報及び教育サービス)を創設し、教育を通して人々のセックスの問題を解決しようとしている。彼がこの組織を始めたのは、単に教育が欠けていることから生ずるセックスの問題を抱えている患者が多かったためである。この組織のサービスには、教育的な講演と出版、電話相談、性病及び妊娠の無料検査が含まれている。CSIESの目標の1つはできるだけ多くのコミュニティに地方支部を設けることである。インフォメーションを得るために電話をしても、名前を名のる必要はない。

これはCSIESから出されている小冊子の1冊にすぎない。明快に説明してあるので読者が人間の性欲の特異性や感情を理解するのに役立つ。男と女の肉体と刺激に対するその反応、バースコントロール、妊娠、妊娠中絶の方法、性病その他生殖器の病氣、性的関係などがすべてやさしい、わかりやすい言葉で述べられている。

最も因習的な見解と同様、最も自由なセッ

クスに対する見解も尊重されている。ホモセクスや同性愛と異性愛の併用者、そして性的迷信などが論理的に、理解をもって扱われていて、判断は下されていない。膣オーガズムのことや、ペニスの大きさがセクスの強さを示すという神話は、パラグラフ3つで簡潔に片づけられている。

これから出版される予定の他の9冊の小冊子は次の通り。Birth Control (産児制限), Early Sexual Experience (幼時の性体験) Lovemaking (求愛), Homosexuality (ホモセクス), Masturbation (マスターベーション), Abortion (妊娠中絶), How To Tell Your Child About Sex (子供にセクスをいかに教えるか), Venereal Disease (性病), Sex Outside of Marriage (婚外セクス)。

パットとロアルド

Pat and Roald

Barry Farrell 著

1969. Random House, New York,
Toronto

映画ファンでなくとも、ハリウッド女優の Patricia Neel と彼女に何回かおこった命にかかわるような卒中については聞いたことがあるだろう、Pat は5回目の妊娠が人目につき出す前に映画を1本撮り終えようと一生懸命になっていた。ある夜、彼女は激しい頭痛がして、ものがぼやけて見えた。彼女の夫 Roald は、ただちに対処した。彼は電話へかけつけて、書斎の壁にびょうではってある電話番号を回した。それは彼らのかかりつけの神経外科医の番号で、幼い息子 Theo の事故以来目立つ場所にはられていたのである。Theo はその事故で脳に広範囲の損傷を受けたのだ。その経験から、Roald は脳の傷害を扱う場合には時間とコツが重要なことを学んでいた。

15分後に病院に着いたとき、Pat は脳に2ヵ所出血していた。そして、放射線技師たちが動脈を調べて出血個所を探している間に、Pat はX線台の上で3回目の大きな出血をおこした。3時間後に、その場所がつきとめられ、手術の決定が下された。彼女が助かるかどうかについては疑問が多かったが、手術しなければ死んでしまうのだった。

手術後2週間Pat は昏睡状態を続けた。1ヵ月後に帰宅したが、口はきけず、ものは二重に見え、記憶をなくし、右半身不随というありさまであった。未完の映画からのPat の収入がなくなったし、作家のRoald は映画の脚本を1本書きかけでやめていたので、出費はかさむばかりであった。出費は1ヵ月に、2,000ドルをオーバーした。まもなく彼らはカリフォルニアを去り英国の二人の家へ戻った。

動けなくなった身重の妻と3人の子供、それにどんどん減っていく貯金の重荷がRoald にのしかかったが、彼は最大限の努力をした。その後の数ヵ月間、彼は家の雑用をし、専門の言語治療士たちの仕事を補うためPat に訓練してくれるように友人や隣人のチームを組織し、残った時間で毎日届く何百通もの手紙に返事を書いた。家庭がその機能を果すための段どりをきちんと整え、Pat のリハビリテーションに適した雰囲気を作ったのはRoald なのである。読者はたちまちRoald の才能と心づかいの深さを知るだろう。ここに示されているのは愛の強さとそれがもたらすことのできる奇跡の治療なのだ。

脳溢血になった人を知らない限り、再び話し、動くことを学ぶのに要求される日々の苦闘は想像できないであろう。幸い深刻なものばかりとは限らない。Pat が言葉を徐々に取り戻しつつあるときに勝手に作り出したいくつかの言葉の中に Roald はユーモアを見出した。例えば、マティーニのことを「すすだらけの小ぎれ」と云ったり、タバコのことを「おもり」とか「スキッチ」とか「必要物」などという具合に。リハビリテーションは根気強く熱心に進み、他の人々にもリハビリテーション訓練をやりやすくするためにRoald

はアドバイスを分かち与えた。彼はリハビリテーションの計画と治療の詳細を謄写板で手紙に刷り、助けを求める人々に送った。Roald が一番強調するルールは、「私の考えでは、患者が最も頼りにしている人、夫であれ、妻であれ、父、母、兄弟姉妹、あるいは親友などはリハビリテーションの厄介な仕事を決して引き受けてはいけないことです。その人は自分のエネルギーを、家庭を維持していくこと、生計を立てること、それに何よりも陽気にしていることに使うためにとっておくべきです。」Roald は、患者が考えたり言葉を使ったりする練習を助けてくれる友人たちをどのようにスケジュールに組み入れたらよいのかを述べている。「最初友人たちは、失語症などにかかった人を教えるなんてどうしたらよいかかわからないと云うでしょうが、そうしたら何も知らなくていいんだと答えなさい。すべては常識的なことなのです。患者のすべきことは、訓練だけなのです。」とRoald は教えている。Pat の最初の「先生」は午前9時に来て、最後の先生は午後6時に帰り、お昼休みが3時間である。これらの先生たちは、Roald のリストに自分独自の指導のやり方についてのアドバイスを与えている。それらは脳溢血にやられた人を見る人たちにとって貴重なインフォメーションである。

脳溢血の発作後6ヵ月してPat は娘のLucy を産んだ。病院から帰ったのちPat は補装具なしで歩けるようになった。2年後にはウォルドルフアストリアホテルで脳障害の子供たちのための慈善会においてスピーチをするほどになった。そして3年後には「The Subject was Roses」という映画に出演した。

この本には勝利と並んで皮肉なケースも出てくる。Dahl 一家では家族のうち4人までが脳や神経系統の傷を受けたり病気になったりした。娘の1人は麻ひ後脳炎で死に息子の1人は自動車事故で頭蓋骨に傷を受けて脳水腫になり、8回の大脳手術を受けた。そしてRoald 自身も3回の脊髄手術を受けて、80%の身障者として英国空軍を退職した。どうしても悲惨な運命は特定の家族に集中するのかわ

思議である。そしてその宿命の瓜跡からは悲しみと共に強さや創造性も生まれるのだということだけが慰めである。

対人関係、身障者とコミュニティ、ヨーロッパの思想および解決策

Personal Relationships, The Handicapped and the Community, Some European Thoughts and Solutions.
Derek Lancaster Gaye 編
1972. Routledge & Kegan Paul, London, Boston

個人的なものであろうと、ビジネス上であらうとあるいはコミュニティであらうとかわりあいは、人生及び我々自身に意味と価値を与えてくれる。我々は自分に関心を持っている人から認められ、満足されることを夢みて努力する。そうして受けとる報酬は、相手も又自分に関心を持ってくれることだ。要するに、我々がかわりあいを持つ相手は我々自身の内にあるものと呼びおこしたものであり、それが形をとったものである。つまり彼らは我々を我々自身にさせるのだ。この本には、デンマーク、スウェーデン、英国、オランダ各国の14人のリハビリテーション専門家による随筆が収められている。この本の第1部は、身障者同士あるいは身障者と一般人の個人的及びより正式なかわりあいが発展してきた総合的背景にあてられている。オランダのHet Dorp、スウェーデンのFokus、並びにデンマークのKollektivhusets の提供した、身障者のための野心的な住居設備が3つの随筆の題目となっている。これらの企画では、立案の段階で構造上の細目と同時に生活の質が考慮されている。独立することが奨励され、そのために建築上の配慮がしてあり部屋代及び付添人への支払いは手頃な額となっていて、

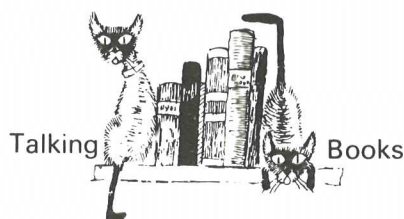
ところによっては個人教授を受けさせてくれるようにさえなっている。コミュニティの一部となることが強調されているのだ。心理的な問題や、潜在対象者を社会に適応させることの困難さは、前もって調べてある。そうすれば、家庭やコミュニティの生活とうまく一体となることに潜在対象者が失敗する危険は少なくなるのだ。

第二部はかかわりあいのなかでも最も個人的なもの、つまり性的な関係についての研究である。世俗的な神話や偏見のせいで身障者は性的に中性であり、未成熟であり、不能だと見なされてきた。彼らの性的欲求や能力が認められ議論されるようになったのはつい最近のことである。個人的な体験やセミナーや研究によって、セックスと身障者に関する情報が増えた。オランダでは、この問題についての2年間にわたる社会心理学的研究がアムステルダム大学で許可され、その報告はペーパーバック（訳注：紙表紙の廉価版の本）で出版されることになっている。

事実のあるものは意外であった。1969年から1970年にかけて、Swedish Central Committee on Rehabilitation（スウェーデンリハビリテーション中央委員会）は、75人の身体障害の少年少女に対し、セックスについての知識及び姿勢を調査した。彼らは身障者のための3つの別々な特殊施設に通っていて、年齢は16才から25才である。SCCRの事務官であるInger Nordquistは次のように述べている。「身障者のセックスライフの心理的な問題が普通人のそれよりも多いということを示す証拠はありませんでした。それどころか、かかわりのあった問題はコミュニケーションの問題であり、ある者たちにとってはテクニック上の問題でした。」若者たちは学校で性教育を受けて来てはいるが、彼らは特にセックスライフの倫理や心理学、それに性交をたやすくするためのテクニックを知りたがっている。性交の体位と避妊法を知りたがっている者が多い。

身障者のための生活向上は、最も心の奥底からの表現の形に焦点が当てられている。い

くつかの発見がこの本の中で報告されていて、読んでいてためになると同時に勇気づけられる。



もしあなたがこのページをマウススティックかページめくりかあるいは余り具合のよくない手でめくっているのなら、あなたは語りかける本の企画を受ける資格があります。この企画では、国会図書館があなたに特別に改良されたレコードプレーヤーを無料でお貸しして、レコードにされた本や時事雑誌をお送りするのです。郵便料も無料です。

証明のために必要なのは、正当な権威のある人（地方図書館員、巡回看護婦、医師など）によるあなたの障害の簡単な報告書だけです。御自身の地域の図書館に問合せるか、次の所へ手紙で申し込んで下さい。

Divison for the Blind and Physically Handicapped, Library of Congress, Washington, D.C. 20540, U.S.A.

（訳一田村晴美）

趣味

Duncan A. Holbert, M.D.

ガゼットの医学アドバイザーである Dr. Duncan A. Holbert は、1946年から呼吸まひを伴うポリオ四肢まひで、人工呼吸用の鉄の肺とロッキングベッドの助けを借りています。ポリオになる前、彼はインターンでした。ポリオになってから、サンフランシスコにある医科大学の再修コースに戻り、それ以来、アレルギーと皮膚病学を専攻しました。こうした分野なら、体を動かしたり手を使ったりする必要がないからです。

Dr. Holbert は、身障者の生活に於けるセックスの重要性を、初めて、はっきりと取り上げた人達の一人です。1967年のギャゼットに載った“セックス 身障者”という、彼の率直でわかり易い記事は、恐れや驚きとなって、多くの反響を呼びました。その6年後の1973年のギャゼットに、この記事が再掲された時、多くの読者が心を動かされて、意見を述べたと思います。

何年もの間、Dr. Holbert は、他のポリオ患者が直面する多くの問題、例えば、風邪をひかない様にする事だとか、腎臓結石の原因を取り除く事などについて、記事を書いてきました。そして、自分の時間をさいて、気やすく読者一人一人の質問に答え、自分自身の経験を分かち合いました。1968年に、彼は次の様に書いています。15年間というもの、便器の事では、本当に惨な思いをしました。一年程前に思い切って人工肛門造設手術を受けました。その結果、痛みもすっかり取れ、灌腸も無用、出血する事もなく、実にすっきりとして救われた思いです。初めは、この考えが途方もない様に思われましたが、今では、この手術を18年前のあの最初の年に受けておくべきだったと、つくづく思います。

大学時代に結婚した Dr. Holbert と奥さんの Peg には、成人した4人の子供と、養女にした姪がいます。



趣味というのは、本当のところ、それ自体とても魅力的で楽しくて、一度始めたら、そう簡単に止められないし、又暇さえあれば、すぐにも戻って手をつけたくなるものの事をいうのです。

それ程夢中になってしまう要素は、面白くて楽しくて愉快で、そして何かしら心の内が満たされるところにあるのは確かです。切手を集める人、ミルクびんのフタ、ボタン、古い眼鏡、空の香水びん、ウィッシュボーン（鳥の胸の暢思骨のことで、これを二人でひっぱって、長い方を取ると、願い事が叶うという。）など、又私達の殆んどの人が、ゴミ箱に投げ捨ててしまう様な物を集めては、こうした気分を味わう人達があります。事実、有史以前の古器物などでも、どれも歴史的見地から見たり、器の表面に見られる色々な様子からすると、興味深く思われてくるというのと同じだと思います。マッチブック（二つ折りのポケット用はぎ取り式マッチ）は、どれも決まりきっていて、特に面白い物ではないけれど、この紙のマッチブックが一度、数百個、数千個となって索引がつけられ、分類され、

美しく展示されると、突然ゾクゾクする程楽しいものになるのです。“このマッチブックは、イエローストーン公園の近くのホテルにあった物だよ。覚えているかい？ Charlie 伯父さんが目を覚ましたら、テントには熊がいて、伯父さんが夜食用にかくして置いたポテトを探していたじゃないか”——こんな風の一つ一つその由来があります。世界中の趣味と名のつく物の少なくとも半分が、こうした形で始まっているのです。ごく何でもない物のコレクションです。

私のお気に入りの趣味の一つは、古い銃の蒐集です。この趣味を持って良かった事は、仲間がどんどん増えて共通の興味で親しくなり、良い友達になれた事です。今は身動き出来ず殆んど家に釘付けになっている状態でも、彼等が、せり売りの掘り出し物の古い雷管やボールライフル、又物々交換で手に入れた南北戦争の頃のピストルなどを見せに、フラックと来てくれます。その人達の中には教師もいれば、材木置場で働いている者、機械工をしている者もいます。そして私達は、銃の事、インディアンの事、歴史上のエピソード等のおしゃべりをします。こうして、より広い人間関係と経験を得て、私の趣味も益々発展し、私の生活を豊かにしています。ですから、こんな自分に嫌気がさしたり情ないと思ったりしている暇はありません。

会う人ごとに、ちょっと自分の話をしてごらんください。あつという間に、あなたのような趣味に夢中になっている人が、手紙を書いたり、週末に現われたりします。やがて、コレクションの人数だか、インディアンのかごだか、玩具の汽車だかが、テーブルの上いっぱいになるでしょう。すると近所の人か幾人かやって来て棚を作らなければなりません。あなたの部屋に幾つか棚を作ります。次に食堂に。その頃には、あなたは永久に趣味中毒症です。何とすばらしい事でしょう！ あなたの Clarise 伯母さんは、物知りげになつて、家の者にこう囁く事でしょう—George ときたら可哀想に、あんな古いつまらない果物壺みたいな物を集めるのに、もうまるで気

狂いの様になっているんですよ。そう言っている間にも George は、自分の部屋に戻って汗をかきかき嬉しそうにして、目をキラキラさせ、興奮しているのが分からない様に声をおさえて、34丁目の小柄な老婦人に電話をします。その婦人のガレージは、古いグリーンの“ボール壺”でいっぱい、亜鉛のねじ蓋の付いたのや、全部陶器で出来た蓋やスプリングの付いたのがあるそうです！ 大したものだ！ “夕食は、僕を待っていないでおくれ。忙しいんだから。”と George は言います。私には彼がどんな気持ちだか分かります。それは、あの不治の病の精神異常の状態、つまり興奮状態なのです。

どうやってクラブに入りますか？ いろいろな人に話してごらんください。彼等が何をしているか見て、集めている物を見てごらんください。多分、何かにあなたはとりつかれてしまうでしょう。趣味のショーを新聞で探してごらんください。かなり体の自由がきく人ならば、ショーの会場まで行って楽しんでいらしゃい。動けないなら、誰かに代わりに行ってくれる様に話してごらんください。図書館員は、あらゆる種類の本を集める手伝いをしてくれます。地方の雑誌スタンドでも手に入る雑誌があって、これには趣味に関する情報、交換案内、売ります買いますコーナー、その他あらゆる種類の適切な仲間内の情報が載っています。

実際、切手を集めてみて、全然満足しないかもしれない。そしたら切手は止めにして、次の事をやってみてごらんください。電柱の碍子の蒐集はどうですか？ 多分、それも徹底して興奮する程の物ではないという事になるかもしれません。そこでがっかりしてはいけません。それは放ほうつて置くのです。まだ別の事があります。——アマチュア無線です！ 警察無線を聞いてごらんください。海上の船と交信してごらんください。音声作動マイク（声を出すと自動的にスイッチが入り、これを電波にかえて送り出すマイク）や、リレー装置を使っている身障者だけが会員になれる、全員障害者のクラブがあります。耳と眉がピクピクと

動かせれば、もうあなたは仲間入りです！

そして一晩中、あなたの部屋の壁は、スマトラやミネソタやヨルダンや南アからの交信カードで埋められていきます。こうして果てしなく続いて行きます。

“良い事づくめだけれど、私にはそんな余裕はありません。趣味というのはお金がかかりますから。”と、言うかも知れません。必ずしもそうとは言えません。たしかに、お金のある人はロールスロイスを買い集めたり、鉄道の模型を買ってきて、興奮を味わう事が出来ます。しかし一方では、月末には文字通り一文無しになって、それでも雪男の記事の載っているものであれば、どれもこれも読みあさって、これが趣味で、幸福な人もいます。又、マッチブックを集める人、少々用心深くして、うまい交換取引きで趣味を生かしている人、キューピーや“ジムビーム型ビン”蒐集のようなごくポピュラーな蒐集熱に早々と取りつかれている人もいます。

蒐集の意味が、物を買ってきて棚に並べて置く事だと思って氣勢をそがれてはいけません。必ずしもそうではありません。私の友人の1人は、なかなかうまいアイデアを開発しました。自分の家の裏庭に棲んでいるあらゆる異った種類の虫を、それぞれ種類ごとに一匹ずつ集めて標本にし、分類しました。真面目な話、彼はとうとう虫の権威として、その地方で有名になりました。

木の葉、蝶々、貝殻、岩石等、もっと分かり易い物も沢山あります。コレクションのリストが増えるも減るも、あなた方の想像力次第です。熟練した蒐集家になると、同じ物を幾つか集めて、売買したり、交換したり出来るものだと分かるでしょう。もう一人の私の友人は、1865年ものとして称する赤いガラス製のビールびんがいっぱい入った古い井戸を発見しました。彼は、これらを1びん30ドルから40ドルで売りました。

通常の子算で趣味を伸ばせれば、これがうまくいった時には、もっと興味をそそられるようになります。私は、銃を集め始めた頃に、古い銃を持っている人を誰か知らないかと、

会う人ごとに尋ねました。2週間と経たないうちのある日の夕方、一人の地方のビジネスマンがやって来て、何年も燃料部屋に転がされていた錆びついた古い銃を2、3丁要らないかと尋ねました。“もちろんいます。持って来て下さい。”と私は言いました。一丁は銃身が長く、台じりも完全なペンシルバニアライフルで、フロント（火打ち石）から、雷管と弾丸のところまで曲がっていました。こびりついたグリースと錆びを取り去ると、美しい虎のしま模様のついた、楓材で出来た台じりが表われてきました。この台じりには、美しいすかし細工を施した金属製のパッチボックスと、きれいな金属製の取付け金具の飾りがついていました。南北戦争の頃のカービン銃は、完全な状態でした。平凡な銃や関係がない物は最後には売り払ってしまいました。

こんな話は、もっともっとありますが、丁度、友人が2、3人やって来ました。彼等は私を、バンに乗せるところです。人工呼吸装置から何もかも備わっているバンです。

そして、私達は、古い New Idria 鉱山へ行きます。その近くに、アレクサンドル石の鉱脈が露出していると、誰かが教えてくれたのです！ 私は行かなければなりません。我々の今のこの状態が、どんなかお分かりですか？

リハビリテーション

ギャゼット

バックナンバー

訳注：趣味についての記事が既刊の日本語版ギャゼットにもあります。

ボーリング：第3号 109ページ

飛行機操縦：第2号 92ページ

園芸：第3号90ページ

アマチュア無線：第1号70ページ、第2号23
～31ページ

釣り：第3号 109ページ

音楽：第2号40～44ページ

絵画：第2号33～39ページ

スポーツ：第2号90～93ページ

著述：第3号36～38ページ

（訳一橋詰美知子）

リハビリテーションにおける バイオフィードバック

Susanne McL. Owen



Susanne McL. Owen (Robert P. 夫人) は, Pomona and Smith Colleges の生物学の修士課程を卒業した。彼女は, インディアナのスマス大学とカリフォルニア工科大学で主に研究分野の仕事にたずさわってきた。11年前交通事故の為 T11-12 の段階の下半身不随となった。後もグループカウンセリングの卒後研究をつづけた。過去1年間彼女はバイオフィードバック訓練に没頭してきた。彼女は, 夫と4人の子供と共に下記の住所にて生活している。

412 Woodward Boulevard, Pasadena,
California U. S. A. 91107 (郵便番号1)

数年前までは, バイオフィードバックという言葉は誰にとってもあまり耳慣れない言葉だった。今日では私達の大多数が, そのことについて読んでいる。明日になれば, 私達自身の毎日の治療の一部となることだろう。なぜなら身体的疾患を最少限にするため, その

応用が非常に増大しているからである。

苦痛は, 私達の誰もが経験しているものである。運がよければ, すぐにその苦しみの根源を見つけ出せる。適切な処置によって, 苦痛は消えてゆく。けれども幾人かにとって, 痛みは, それを軽減する為のすべての努力にもかかわらず, 常につきまってくる存在となることがある。最終的な脊髄切断さえ必ずしも成功するとは限らないという事実は, 特效薬の無い痛みの発端についてはほとんど知られていないことを, 私達に思い起こさせる。カイロプラクターによる脊柱調節に訴えることは, しばしば為されてきた。そして今日, 鍼術は全盛となっている。それはある人々には明らかな効果があり, 他の人々には無いのである。

さて, バイオフィードバック方法は, まだ原因が知られていない苦痛を含めて, 抑制が働いているために起こる痛みにも効果を表わすかも知れないと考えられる。“まだ原因が知られていない苦痛”というのは, 特定の病気の貴重な目やすとなるような, 明確な痛みではない。しかし, 様々なテストから, 苦痛の原因について何の指示も得られない場合は, バイオフィードバックが痛みの軽減を約束するであろう。

個人が身体のいわゆる不随意に働いている過程に対して意識的なコントロールをすることは出来ないという仮説は, もはや正当なものではなくなっている。私の仲間の一人は, バイオフィードバックによってある程度まで, 脈拍や血圧, 脳波などをコントロールすることが出来るということを学んでいるのである。例えば, もし自分の心臓の打つ音が聞こえるならば, 練習によって, このフィードバックを通じて, 心臓を意のままに早くしたり遅く

したりできることを、彼は修得した。以前には意識的には調節不可能と考えられていた身体の活動を調節するということを学ぶのが、バイオフィードバック訓練のすべてである。

身体内部の作用の調節は、不随意或いは自律神経系の機能である。私達は、脳の中樞機能や随意的神経組織をもつ脊髄は熟知している。不随意の神経組織は、やはり脊髄を通じて様々な生体組織を頭脳へと接続している。しかし神経は、脊髄を離れてからは、ほとんど神経節や神経細胞の集団を通して様々な器官とつながっている。神経節や神経細胞は、脊髄の両側全般に沿って張りめぐらされている。

この自律的な組織は、交感神経と副交感神経という2つの分野から成り立っている。一般的に、交感神経の分野は“攻撃と逃走”の反応を統制している。恐怖、怒り、嫉妬などの強い感情は、アドレナリンやノルアドレナリンを血液の流れに送りこんだりするなど、一連のホルモン作用を引き起こす。そして、これらのホルモンは、身体のあらゆる部分へ血液によって運ばれ、特定の部所によって使われる。無数の効果のうちには、心臓の拍動を早くすることや、血圧を高くするための血管の収縮、消化作用を遅らせたり止めたりする作用、呼吸を早めること、そして手に汗を握らせたりすることなどが含まれているようである。

交感神経の分野が主に身体の活動的な仕組みと関連しているのに対し、副交感神経の分野は身体の生命力を保持する傾向をもっている。例えば、脈拍を少なくしたり、消化作用をする内分泌線の分泌を増大させたり、血管の拡張や時には収縮を引き起こしたりすることなどである。これらの2つの分野は平衡的に働いており、ロスアンジェルスにある。

Biofeedback Research InstituteのHerchel Toomim氏によれば、この両方は、原因のわからない痛みを含めての苦痛の出現や消失に関係しているということである。疼痛は覚醒期の段階にある。より多くの緊張は疼痛を引き起こし、事態は急回転する。そして、攻撃

の作用機構が解除され、リラックスがなされると、疼痛は引いてゆくようである。

バイオフィードバックは、リラックスするための訓練に役立つのである。様々な器具機械の使用によって、この訓練は多くの場合に疼痛の軽減をもたらしている。まさしく、ストレスがどういふふうにして身体や精神状態に影響し、人間に苦悩を起こさせるかについての知識は、ストレスを生み出す状態を避けたり、よりくつろいだ状態を維持する為に役立つのである。

様々なバイオフィードバックの器具は、緊張や弛緩に関係した身体が目立った活動を監視する。計量器の表示や音がよりくつろいだ状態へ導いてくれる。人は興奮しやすくなって緊張している時は、手に汗を握る体験をすることがある。電気皮膚反応計(GSR)は汗腺の活動を計るものである。GSRは、交感神経によって汗腺が活動する足の裏や手のひらに取りつけられる。この活動は不随意の神経組織の機能であるから、その計量器の上昇は自律的緊張を示すことになる。計量器の目盛が低くなればなる程、汗腺の活動は少なくなり、人はよりくつろいだ状態となる。Hershel Toomim氏はこの状態を“解放”と考えている。「知的な活動は交感神経に影響を与える。そしてこの活動は止めることが出来、解放が達成されるのである。」

手の温度を計ることも、くつろぎへの導きとなり得る。ヨガ行者達は、身体の部分の温度を上げたりする能力でよく知られているが、これは、普通の人でも手の温度が上がっているか下がっているかを示す装置に導かれた訓練をすれば出来るのである。温かい手は、血管が拡張されていてよりよい血液循環がなされていることを示す。これは“解放”のもう一つの徴候である。

筋電計(EMG)は随意筋の電流活動を表示することによって、筋肉の緊張を指し示す。前頭部や緊張している筋肉のどこにでも置かれた電極は、“解放”への案内者となり得る。

緊張を弛緩させる目的で使用される第4番目の道具は、アルファメーターである。ヨガ行

者についての実験によれば、彼らが特殊な技を遂行している時には、脳波は起きている状態に特有な複合波ではなく不均衡な程多くのアルファ波が生ずる。さらに研究された結果、アルファ波はくつろいだ冥想の状態と関係していることがわかった。その状態とは、ある人によれば、不安が少なくなるよりはっきりした思考をしていることである。これは眠っている間に我々にも起こる現象である。アルファメーターは他の波からアルファ波だけを選び出すので、この方法によってリラックスしたいと思う人にとっては、1つの訓練装置となる。

バイオフィードバック研究所のHershel Toomim氏とStuart Gast氏は、上記の器具を取り混ぜて理学療法に使用することによって、様々な種類の頭痛やよう痛、むち打ち症の頑固な痛みを改善するのにある成果を上げている。

ポモナにあるCasa Colina リハビリテーション病院での慢性よう痛緩和プログラムは7カ月間行なわれてきている。心理学担当のLaban Strite氏は次のように言っている。

「バイオフィードバックは、私達が使用する時は、促通器であって治療薬ではない。患者は病院へ平均して6週間通ってくる。彼らに最初に教えることは、EMGを使って随意筋の緊張を解くことである。我々は、慢性的な筋肉の緊張が疼痛を増大させることを知っている。個人が完全にリラックスすることを学ぶと、その人は、彼の疼痛を調節するのに重要と考えられる特殊な訓練を始めるに大抵充分なくらいに、彼の疼痛が軽減されていることに気付くであろう。」

随意筋の緊張を解くことは、しばしば、リラクゼーションのほんの一部である。Strite氏によれば、ある人々は自律神経組織からみれば慢性的に緊張しているのである。吐気、便秘、不眠その他あらゆる種類の疼痛や“壁をよじ登っている”かのような全般的な緊張が、この状態の症候である。GSRは内部の緊張を少なくする導き役である。患者が自分の不安の表現の仕方を理解した時、その表現の手

段が随意的なものであれ不随意的なものであれ不安、緊張、そして疼痛との関係が明らかになるのである。

Casa Colina リハビリ病院では、疼痛の問題について、バイオフィードバックや理学療法以外にも様々な角度から取り組みが為されている。講義や映画を通じての教育、個人での、あるいはグループでのカウンセリング、必要な場合はセックスについてのカウンセリング、めい想、能力適性相談、職業紹介などそれぞれが、彼らが再び社会の一員として機能する能力をもつことが出来るよう寄与している。成功率は非常に高い。18名の終了者のうち17名が、「正常な機能を制限する因子ではなくなるところまで、機能的な進歩を示したのである。」疼痛に対する薬の服用は、充分考慮した上で少なくされるか全く中止されていた。1974年の4月では、2人は、もはや再び働くのは不可能な程後退していたのであった。

疼痛を伴う他の多くの分野にも、同じくらい高い成功率を、この人間全機能論的アプローチは広げられようだろうとLaban Strite氏は確信している。彼は、Casa Colina リハビリ病院がその設備を拡充出来るその時を、待望している。

疼痛に関する他の研究施設でもバイオフィードバックは使用されている。Long Beach Community 病院のStuart H. Mann博士は、バイオフィードバックの器具(GSR)に接続されている患者に向って、彼に聞こえてくる騒がしい音が痛みであると教える。それで患者は音を低くするようにと指示される。そして、ある種の努力で大抵そう出来るようになる。疼痛からの解放は、50%の患者に実証されている。ウィスコンシン州のラ・クロスにある疼痛リハセンターでは、医者であるBecknerとShealyそして看護婦のWilliam Gaumerが、バイオフィードバック法は疼痛のコントロールも容易にすることを発見している。(2)

カンザス州トベカにあるメニングークリニックでは、患者が手の温度の調節を学ぶことによって、偏頭痛の痛みの軽減がなされてき

ている。(3)手を温めることは、頭部からの血液を外側の領域により多く流れさせることになるので、交感神経の活動を鈍らせ、抹稍の血管の緊張を取りのぞくこともできるのである。

緊張による頭痛は、EMG器具の使用によって、バイオフィードバック訓練により反応を示している。コロラド大学メディカルセンターのJhomas Budzynski 博士とJohann Stoyva 博士は、EMGの導線を患者の額に取り付ける。この筋肉の緊張の解放は、上半身がリラックスしているかどうか示すよい尺度である。そしてこの方法は通常頭痛を軽減する。(3)

バイオフィードバック訓練は、高血圧の分野にも、期待が約束されている。イギリスのC.H.Patel 博士は、20名の高血圧の患者のうち16名の人の血圧を下げる事が出来た。彼女は、GSRを指示器として使用して身体のすべての部分の緊張を解くことに注意を集中するよう患者達に指示した。そしてヨガの、ある呼吸練習の仕方を彼らに教えた。週6回、1回につき1時間半で3カ月の訓練を経た後、5人は高血圧の治療薬を全く使わなくてもよくなり、7人は薬の量を33%~60%減らすことが出来た。他の4人もいくらか状態が良くなった。インドのボンベイのK. K. Datey 博士は、バイオフィードバックを使用しないで、ヨガの緊張解放訓練を中心にしたプログラムを実行して、高血圧の患者の状態について一様に良い結果をもたらした。

1974年2月Colorado Springsでは非常に積極的な研究者達のグループから、Biofeedback Research Society が結成され、年1回の会合で、100枚もの研究論文が発表された。これらの論文は世界中の病院や大学そして私的研究機関の研究者達によって書かれたものである。論題は、喘息、てんかん、糖尿病、緊張の頭痛や偏頭痛、心臓血管系の調節、高血圧、不眠症、麻痺した筋肉の機能回復、盲人に顔の表情を教えることその他で、すべてバイオフィードバックとの関連についてであった。多くの場合、バイオフィードバック

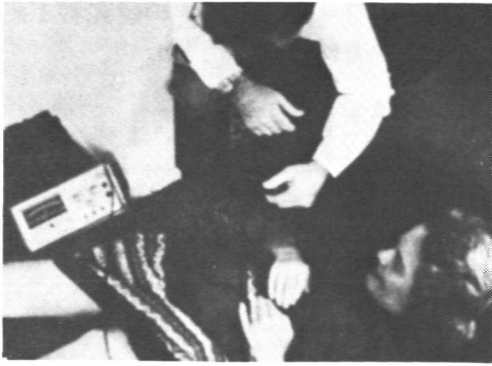
技術は処方薬を補捉したり、薬に取って代わるほどの、可能性を持ってきている。

今まで議論されてきた領域とは異なり、同じように未来に対して非常に大きな可能性を持ったもう一つの領域がある。それは、リラックスするかわりに筋肉の緊張を示すことにバイオフィードバックを使用することである。これは、筋肉の再教育の分野である。

随意筋は多くの小さな運動単位の集まりから成り立っている。各々の集まりは散らばった繊維によって成り立っていて、全体が一つの神経につながっている。この小さな運動単位の集まりが、刺激されている時には電気的インパルスを放つ。そのインパルスは筋電図の計器によって取り上げられ、音に変えられたり計器に表示されたりする。

麻痺した筋肉においてもこれからの小さな運動単位の集まりのいくつかが潜在性の電気活動をしていることが発見された。これは、神経がまだ働いていることを意味するものである。しかし患者はそれが眼の前で実証されなければ、この潜在している活動単位を知ることができない。筋電計を案内役として、これらの筋肉の小さな集まりを訓練することは、他の集まりにも十分広がる活動を引き起こす。そして筋肉は再び活動しうようになる。

筋電図は、しばしば、筋肉の開発や予測の為に使われる。しかし、この使用は筋肉の再教育の分野においては比較的未開拓である。バイオフィードバックのこの分野の先駆者は、ロスアンゼルスグッドサマリタン病院の筋電及び脳写室の責任者であるAlberto Marinacci 博士である。彼は、過去25年に渡って、神経障害に関する仕事にバイオフィードバックを使ってきた。彼はEMG(筋電図)の訓練によって、幾つかの患者のグループが良い効果を上げている。ことに気がついている。最初のグループには、かなり多くの潜在的な機能や働く可能性のある運動単位の一団を持っている患者が含まれている。彼らは、生物学的に両面の壁を持っていて重い灼熱痛(四肢麻痺の神経障害でセンセーションを引き起こしている。)で、インパルスの伝達の仕方を



バイオフィードバック訓練中の
Susanne Owen と Hershel Toomim 氏

忘れてしまった人や、神経障害で萎縮した使用不可能な神経もあるが再生可能な神経も持っている人、又は部分的な神経障害の人達である。もう一つのグループはポリオ患者（下半身麻痺については彼の本には述べられていない。）のような、最少限の潜在的な機能をもつ重い麻痺の人達である。多年にわたって彼は20人のポリオ患者の治療と訓練をしてきた。そして幾人かにおいて機能的な進歩が見出された。3番目のグループは、脳溢血の患者達である。驚いたことに、彼はこの分野へ他の多くの研究者の誰からも誘いをかけられたことがないのである。

カサコリーナリイ病院でHerbert Johnson 博士は、かかってから1年以上になる脳溢血の患者10人に対してバイオフィードバック方法を使ってみた。10人のうち6人が足を持ち上げる力を取り戻し、4人は短下肢装具をはずすことが出来たのである。その実験は非常に成功したので、今やバイオフィードバック訓練はすべての脳溢血患者の日課となっている。レドランド大学ジョンストン分校の神経心理学者であり、ロマリンダ大学のバイオフィードバック計画の協力者でもあるWalter E. Tubbs 博士は次のように話している。

「Johnson 博士のようにバイオフィードバックを使用することは増大しており、それは、多分筋肉のリハビリテーション分野に革命を起こしつつあるという事実は疑う余地の無いことである。」

私が非常に興味を持っているのはこのことである。私は11年前の交通事故によりT11-12の下半身麻痺となったが、1年間のバイオフィードバック訓練を経た今、毎日に筋肉の力を取り戻しつつある。手を使わずに練習用の自転車に乗ることは、55才の下半身麻痺の母親に期待される適当日課ではない。それにもかかわらず、これは、私がやっていることなのである。私の主治医であるバイオフィードバック研究所のMitsuya Yamaguchi 博士と Hershel Toomim 氏とバイオフィードバック訓練のお陰なのである。

Toomim 氏と訓練を始めてからちょうど1年になる。この訓練で、私は練習用自転車のペダルを踏んだり、手の支え無しに補装具をつけたまま立ち上がったたり、片手のみの支えで膝まづいたり出来るようになったという事実を証明することが出来る。筋肉のほんのわずかな部分を訓練しているのだということを知ることからくる勇気づけは、練習を続けさせ活動的な筋肉を強くするのに十分以上のものであった。私の進歩向上は過去1年に渡って続いており、来年はもっと向上するだろうと期待している。この経過について。私はどこへ行っても、詳細に述べて来たし、興味をもっている人なら誰にでもレポートの写しを送って差し上げる用意がある。

下半身麻痺とバイオフィードバックに関する文献はほとんどない。Medical World News によれば、1973年3月ニューヨーク大学メディカルセンターのJoseph Brudny 博士は、3才の時に四肢麻痺になった患者が自分で食事したり、ひげをそったりするに十分な腕の力をもつことが出来るよう援助することが出来た。Hershel Toomim 氏は他の下半身麻痺についてもいくつか成功例があり、この方法で実験中の私達のような1人又は2人の人達と接している。

バイオフィードバック訓練についてのどの論文においても明らかでないいくつかの要点がある。バイオフィードバックは貴方に何も働きかけるわけではない。自分が本筋にいるかそれともはずれているかを示すバイオフィード

バイオフィードバックの研究者と英文の研究資料は下記のとおり。

REFERENCES

- 1) Biofeedback — Teaching Your Body to Heal Itself. John J. Fried. *Reader's Digest*. May, 1974. pp. 110-113.
- 2) Biofeedback Training in the Treatment of Severe Chronic Pain Patients. Thomas F. Beckner, M.D., C. Norman Shealy, M.D. and William Gaumer, R.N. The Pain Rehabilitation Center, S.C., 615 So. 10th St., La Crosse, WI 54601.
- 3) Biofeedback in Action. *Medical World News*, March 9, 1973. pp. 47-61.
- 4) Yoga and Biofeedback in the Management of Hypertension. C. H. Patel. *The Lancet*. Vol. II, #7837, Nov. 10, 1973. pp. 1053-55.
- 5) Biofeedback Research Society Abstracts, 1974. 4200 E. 9th Ave., Denver, CO 80220.
- 6) Applied Electromyography. Alberto A. Marinacci, M.D. Lea and Febiger, Philadelphia. 1968. Clinical Case Studies Illustrating Neuromuscular Re-education. Chap. 27, pp. 265-274.
- 7) Muscle Re-education in Hemiplegia by Use of Electromyographic Device. Herbert E. Johnson, M.D., and William H. Garton, RPT. *Archives of Physical Medicine and Rehabilitation*. Vol. 54, No. 7. July, 1973.

バックの力を借りて作業をするのは、貴方なのである。これは、忍耐と根気強さが必要であり、あたかも自分の主治医であるかのようにバイオフィードバックを取り扱うのでは無いということを意味している。医者は錠剤を処方して熱を下げさせる。すなわち、錠剤を飲むこと以外は貴方に負担はかからない。

しかし、バイオフィードバックでは、そうではないのである。良い結果を得る為には、奮闘的な身体的、精神的努力が必要とされる。だが、勝利は非常に心地良く、骨折った時間のすべてを無駄にはしない。その器具は小さいものであり、有能な人の説明さえあれば家庭でも使用しうるのである。(私は、非常に感受性の強いToomim 筋電メーターを持っている。筋肉の機能回復においては、高い感受性が重要である。)そして、健康に関する事柄のすべてと同じように、知識と技術の拠り所としてのみ取り扱うことに注意が払われねばならない。

長い期間を通じて忍耐強く、根気強くある為には、人は信じなければならない。努力している目的が何であろうとすべて可能性があるということ。私の主治医であるYamaguchi 博士は、正しい機会がある時の身体の自然な治癒過程を信じるよう、私を勇気づけて下さった。1年前バイオフィードバックを始めたがその以前の4年の間、彼の指示に従って、私は遅くとも確実な進歩を成し遂げていたのである。私は回復は可能であると信じていたので、何ら眼に見える進歩の無い避け難い期間を我慢することも比較的容易であった。

結局、バイオフィードバックを手段として成功裡に成し遂げようとするのは自分自身なのである。今日の試験的なバイオフィードバックの実験は、明日には確立された事実となるかも知れない。しかしそれらの確立された事実がバイオフィードバック概念の存立可能性を実証するには、我々の十分な根気強さにかかってゆくことになるであろう。

(訳—平山治子)

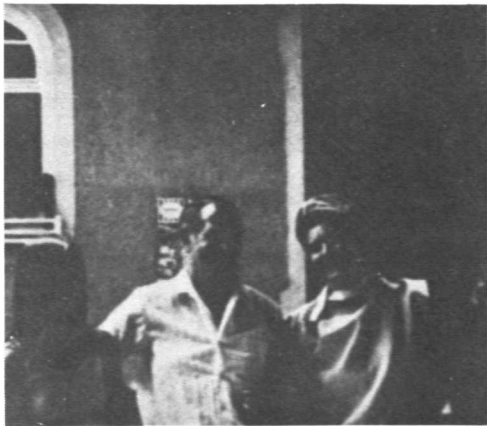
ドイツの 呼吸治療法

Marjorie Cappel

私はワシントン州シアトルで生れ、そこで育った。ワシントン大学とエール神学校で学んだ後、1951年、ドイツ人の夫Walter Cappelと結婚、2人の子供をもうけた。1959年、突然ポリオにかかり、鉄の肺に入り、8ヵ月もの間、ロッキング・ベッドを用いなければならぬ程であった。

それから15年後の現在、私は、車椅子に乗って家のまわりを歩き回れるところまでになった。無論、「歩く」というよりは「座っている」と言う方が当たっているが、ゆっくりならば、松葉枝を使って歩くこともできる。それも、もし、誰か他の人や、犬等が、こちらにぶつかって来なければ、の話である。私は台所仕事をし、洗濯にも精を出す。大体は立って仕事をしている。と言うのも、座ったままであると、腕を十分に挙げる事が出来ないからなのだ。

この何年間にも渡り、私達夫婦が乗り越えて来た困難な問題は、非常に多い。私達は、2度のドイツへの旅行を含めると、とても多



数年前のCappel家

くの旅行をしていることになる。夫は当地(ミュンヘン)で大学教授をしており、最近5年間は、学校を対象とした、教育映画の製作を指導している。

私が今まで学んだうちで、最も重要な事は、あらゆる呼吸器系ポリオでは——例えその人が十分にうまく呼吸出来るにしても、出来ないにしても——規則正しいマッサージと、肋間の筋肉や、その他の呼吸組織を、出来るだけ弾力ある、柔かい状態に保っておくのを助ける、特別のストレッチング(筋肉を伸ばすこと)が必要であると言うことだ。

2年前呼吸が非常に困難になり、私は呼吸を補う為に、「カエル呼吸」をしなければならぬのではないか!と思ったことがあった。

しかし、まさにこの特別な型のマッサージ治療をただ2回行っただけで、呼吸は楽にそして自由になり、その結果、ゆっくりではあるが、プールで500メートル泳いでも、何の呼吸トラブルをも引き起こさなくなったのである。

ここミュンヘンで、私を担当している理学療法士は、毎週訪れる度に、徹底的に、身体を伸ばす療法を行う。療法士は、肋骨あたりの背中に敷いてあるタオルの上に、私を持ち上げる。(私はマットの上に横になっている。)この様に持ち上げる事が、私の、吸い込む方の筋肉を伸ばすことになるのだ。これらの筋肉がとても固いと、吐き出す方の筋肉の動きを妨げてしまう。呼気(吐き出すこと)は、呼吸まひの後には、特に弱くなるものであるので、極めて重要である。この治療法は、私を担当している療法士が自分自身で考え出したのであるが——すばらしい効果がある。

私は家族4人の為の家事をするのに、毎週たった7時間だけ、有給の家政婦を頼んでいる。子供達が交替で夕食を作ってくれるお陰で、詩を書いたり、また、時には絵を描いたりさえする時間とエネルギーを持てるのである。私は毎朝6時前に起床し、10時に寝る。

もし、4週間も5週間も、この治療法をしないしていると、私は疲労を感じ、呼吸を楽にする為に、十分なストレッチング(筋肉を伸

ばす療法)が必要になってきたとわかるのだ。私の経験が、誰か以前よりも、自然と呼吸が出来にくくなって、勇気を失なってしまうている人の役に立てば嬉しい。この様な状態になるのは、固くなった筋肉のせいで、少なくとも一時的には簡単にらくになる。

この実に効果的な特殊マッサージは、Hede Teirich-Leube博士によって開発され、その著書『結合組織マッサージ手技』に書かれている。この本は既に、ドイツ語、フランス語、スペイン語で読むことが出来、近々オランダ語にも翻訳される予定である。誰か英語で翻訳してくれる人はいないだろうか。言葉で述べるよりも、そのマッサージのやり方を、実際に見た方が解り易いのであるが、当地へくる人はいないだろうか。一日間だけでも、ハイデルベルグのこの学校を訪問出来る理学療法士はいないだろうか。整形外科診療所の構内にあるのだが。

住所: Orthopadische Klinik
69Heidelberg - Schlierbach,
Krankengymnastikschule

このマッサージは、あらゆる種類の、心身不調に効果がある。その概念は、「循環を妨げている結合組織は固くなる傾向がある」ということだ。2本の指先で、この組織を横十字に軽く引っぱってみると、患者は、身を切られる様な感じや、心地よい、しかし、はっきりとした痛みを感じるだろう。この身を切られる様な痛みが、自立神経系統を刺激する。その結果循環が改善され、健康も回復する様になる。そして、このマッサージを受けた後は、1、2時間横になって休む事が、絶対必要である。

もし何か私でお役に立てることがあれば、喜んで手紙でお知らせしよう。

住所: 8 Munchen 60
Schwettingenstr, 12/VIII
West Germany

編集者注:

「リハビリテーション文学」(Rehabilitation Literature) 1974年1月発行。第35巻第1号。18頁 "Grundriss der Bindegewebs massa

age: Anleitung zur Technik und Therapie (結合組織マッサージ概要: そのテクニックと治療の為の入門書) 医学博士Hede Teirich-Leube著, 1972年発行, 説明図共全132頁, 価格: 22ドイツマルク出版社Gustav Fischer Verlag: Postfach720143
7000stuttgart 72,
West Germany

ドイツ語で書かれた、結合組織マッサージに関する基礎的な文献。1929年Elisabeth Dickeによってドイツで考案されたもので、背部結合組織に於ける反射作用環帯の触診のテクニックについて専門的に書かれている。写真と図で説明されている。”

(訳——和泉利子)

シャルコー・マ リー・トウース 症候群

Bruce H. Scott

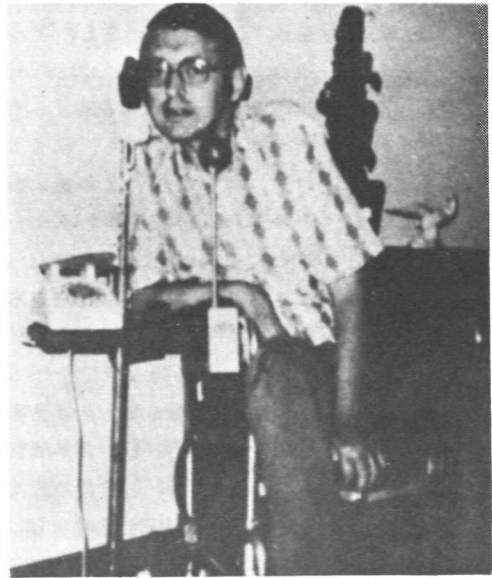
「あなたの病気は、シャルコー・マリー・トウース腓骨神経まひです。シャルコー・マリー・トウースの三博士が、何年か前にこの病気の症状を分離し、以降これをこの3人の医師の名前をとって呼んでいます。腓骨神経まひというのは、筋肉に結合する神経細胞が休止するか、又は死んでしまうことを意味し、未だはっきりとは解っていないのですが、筋肉が何も命令を受けなくなる為に、結果として、筋肉を全く動かせないように なってしまいます。従って、筋肉も萎縮してしまうわけです。」

以上の会話は、20年以上も前に、カンサス・シテイにある、カンサス大学メディカルセンターの神経外科医長が、私に述べたものである。その当時、私は、ただつま先の感覚を失っただけであったが、現在は車椅子に乗り、腕も手も動かせない。

私はC—M—T症候群に全く無知だったわけではなかった。私の母が1941年に同じ医療施設で診断を受けており、1949年以来車椅子の生活を続けているし、7才年下の弟も、私のすぐ後にその徴候が現われ始めた。しかし他のもう一人の兄弟には、何の徴候も現われていない。

これは、極めて稀なことなのである。アメリカでは、この病気になった人は、数百人しかいないのだから。

ある説明し得ない何らかの理由により、末梢神経が、その機能作用を止めてしまうのだ。一度にひとつづつ、つま先と指の先端から始まって、末梢神経は、皮膚と骨格筋肉とを往復する刺激を伝えるのを止めてしまい、足と腕へ上り、最後には背骨、胸、そして、首の筋肉へと進行して行く。その進行は極めてゆ



C—M—Tで身障者となったBruce Scottは、新しい英国製の電動車椅子を肩かあごでゴムまり型マウスステックを押すことにより運転しています。

っくりであり、不快感も、外傷性症状も、痛みもない。

私の症状は、19才の時に、つま先と足の裏の、かゆみを伴った強烈なしびれで、始まった。2年後には、垂足、ハンマーの様な足指、そして足首の弱さを矯正するために、短下肢装具（SLB）が必要となった。手の指の麻痺に最初に気づいたのは、それより遅く、1956年であった。1964年には、長下肢装具（LLB）も加えて使う様になり、1967年には両手が使えなくなった。1969年にはひじが、1970年に股関節が使えなくなり、それ以来、ずっと車椅子の暮らしを続けている。

私は大学在学中から、スーパーマーケットで、最初はサッカー（袋につめる）として、その後仕入れ係のアシスタントとして、働いていた。大学3年生になった1955年の6月、メリーランド州ベセスダにある、国立衛生研究所（National Institutes of Health）で26日間検査と診察を受けた。そこでは、前のカンサス大学での診断が確認されたが、何の治療薬も治療法も見つからなかった。

1965年、商業経営部門（小売り）での学士

号 (B. S.) を受けて、大学を卒業し、4 年間、ミズーリー州カンサス・シテイの大規模な青果卸問屋で働いた。そして、結婚し、双生児が生まれた。妻も外で仕事を持ち、私も食料品仲買の会社で働いていたが、2 年後に倒産してしまい、それからは自家保険のグループの仕事をしてきた。それから 2・3 年たった。私は不安になりはじめ、教師の資格を取得する為に、大学へ戻ろうと決心し、中学校程度の社会科を教えるのに必要な単位を得るのに 4 年半、夜間の大学に通った。私は仕事をやめ、学生として教育実習をし、2 年間代用教員をした。そしてそこで、身障者の教師は、猛烈に戦い、生徒人口が減少する時には、教師の契約を結ぶ為に、他の二倍は抜け目なく振舞わなくてはならない、ということを知った。

私の身体は段々に衰弱して来ている。歩くことはずっと困難になり、自動車の運転は殆んど不可能になった。1968 年のクリスマス頃に、インフルエンザにかかってから、足と腕の麻痺は、これまでよりももっと早いペースで進行した。病状が一般的に進んで衰弱したために私は退職し、社会保障の身障者給付を受けようと決めた。

過去数年に亘り、私は全米対麻痺財団の地方支部の活発な会員であり、現在は大カンサス支部の支部長として、活動を続けている。また、建築上の障壁排除の委員会 (Architectural Barriers Committee) の議長としては身障者の為に新しい公共建築物の設計を変更させ、どうすれば公共の建物に入りやすいようになるか、ということについて発行されている図解説明の小冊子「Access」の編集もしている。

私には、外で仕事を持っている妻と、15 才になる双生児の娘と郊外にある家、一台の電動車椅子がある。もう自己満足できるはずなのだが、実際はそうはいかない。私は、この市を、この地方を、この州を、全ての身障者にとって、もっと住み良い場所にする為に、自分に出来ることを、やり続けるつもりである。現在 39 才。19 才で最初に C—M—T の症

状が現われてから、ずい分長い道のりを歩んできた。この先、あらゆることをしてしまうのに足りるだけ長い間、起きて暮せることを期待しているのだが。こしょくなく C—M—T め、速度を落してくれ！

住所：Bruce H. Scott

4370 North Drury.

Kansas City, Missouri 64117

U. S. A.

(訳——和泉利子)

米国における身体障害関係の法律

1973年成立のリハビリテーションに関する法律

1973年のリハビリテーションに関する法律は、重度身体障害者にとって重要な意味を持っている。この法律は保健・教育・福祉省(H E W)、州立職業リハビリテーション機関の双方に、「最重度の障害をもつ人々が実りのある職業につく準備をしかつ職業に従事できるよう」優先的にサービスすることを命じている。

以下に、この法律の要点をあげておく。この法律の恩典を受ける方法がわからないときには、「援護機関 (client assistance pilot projects)」のカウンセラーが助言してくれることになっている。

第7条重度身体障害者の定義——生涯にわたって複合的サービスを必要とし、切断、盲、癌、C P、繊維性のう腫、聾、心臓病、片麻痺、精神遅滞、精神障害、多発性硬化症、筋萎縮症、神経障害 (脳卒中とてんかんを含む)、対麻痺、四肢麻痺その他の脊髄障害、腎臓及び呼吸器疾患 (内部障害)、その他H E Wの長官の指定する障害。(筆者は、ポリオが含まれていないことに疑問を感じている。)

第101条 (a) の9) 個人的リハビリテーションプログラム——リハビリテーションプログラムは障害者各々について考えられ、毎年再評価される。

(a) の16) 雇用の再調査と再評価——リハビリテーション機関 (ワークショップも含む) における雇用の定期的再調査。

第103条 (a) 職業サービスの拡大——就職がより容易になるために必要な物品サービスには、次のようなものがある。

- (1)–(3) 適性の評価、カウンセリング、訓練、本やその他の教材、家族へのサービス。
- (4) (A) 矯正手術又は機能回復訓練
(B) これに関連して必要な病院、
(C) 義肢・装具・自助具、(D)、眼鏡や視力に関するサービス、(E) 腎臓病の治療診断、(F) 精神的・情緒的障害の治療を含む身体的・精神的回復のサービス。
- (5) リハビリテーションの期間中に必要な一定の生活費。
- (6) 聾啞者に対する通訳サービスと盲人に対する読書サービス。
- (7) 新しい雇用の機会。
- (8) 盲人に対するリハビリテーション・サービス。
- (9) 職業的資格、道具、仕事を始めるにあたっての資料。
- (10) 職業サービスを受けるための乗物の利用。
- (11) 通信、感覚器官その他工業技術による自助具。

第103条 (b) 集団への職業サービス——最初の仕入れも含めた小企業に対する指導・援助及び団体リハビリテーション機関の設立。

第130条働くことのできない身体障害者——より独立的で、自給した生活ができるように、能力を伸ばす方法が研究されるであろう。

第202条 (a) 研究——リハビリテーションに影響を及ぼす因子を調査するプロジェクトに対し補助金を出す。その因子とは家に閉じこもったままの人とか、長い間施設にばかりいる人などが持っている特別な問題、あるいは障害者向の建築や工業デザインの問題などである。

第202条 (b) の1) 研究及び訓練センター——単科及び総合大学でリハビリテーションに

ついでの研究と個人的訓練が準備される。

(bの2) 工業研究センター——設備の問題を解決したり、環境障壁を減少させる。

(bの3) 脊損研究——計画と実証を援助する。

(bの5) 国際間のリハビリテーション・プログラム——研究、実証、訓練、専門家と技術援助の交換。

第 203条 訓練——職業的サービスを与える訓練士の人員を増やすための予算。

第 400条 研究員と訓練生の調査——リハビリテーション医学、看護、カウンセリング、ソーシャルワーク、心理学、理学療法、作業療法、言語病理学、音響学、補装具製作、レクリエーション、その他特殊な分野における調査。

第 301条 リハビリテーション施設の建設——スタート時の職員や計画の援助を含む。

第 302条 (bの1) 訓練サービスに関する費用——HEWは、国立公立あるいは非営利的な機関に対し、リハビリテーション施設における重度障害者にかかる職業訓練費用の90%以上を払うことになった。

(bの2) 訓練サービスの種類——

職業的技術の訓練、作業の評価と検査、道具や設備についての指導、訓練やそれに関したたサービスを受けている人に対する職業紹介と心づかい(週単位)の支給。

第 304条 (b) 特別のプロジェクト——国立公立又は非営利団体が行う特別なプロジェクト(脊損や聾盲などの重度傷害者へのリハビリテーションの改善をテーマとしたもの)に対し、その費用の全額又は一部を補助する。脊損へのサービスに関するプロジェクトとは、地方ごとに職業、その他のリハビリテーション(この中には後療法ばかりでなく急性期のケアも含まれる)を提供すること、住宅・交通・レクリエーション・雇用・地域活動について地域自体を教育する方法の検討、などである。

第 304条 (d) 実際の仕事場と同じような設備をもったところでの訓練と雇用。

第 306条 住宅付きの授産施設の設置

第 405条 (a) 中央情報交換所——最新の障害者数及び彼等のニーズ、サービスとプログラム、研究、医学と科学の発展状況を含む。情報交換所の職員雇用にあたっては、資格のある身体障害者が優先されるであろう。

(c) 身体障害者の事務所の設置

第 406条 授産施設の研究

第 501条 障害者の雇用——障害者雇用主相互協会は公務員任命委員会と協力して、雇用、配置、昇給などを集中的におこなうであろう。

第 502条 (a) 障壁のない環境の確立——最近設置された建築物及び交通機関に関する障壁解決委員会は、規準に従って、あらゆる障壁についてその改革案を調査し、障害者のための国際シンボルマークの使用を促進している。

(Cの1、2) 交通機関の障壁は委員会で検討される。たとえば、職場への往復にかかる費用を支払うとか、障壁を排除したり予防したりする。

(Cの2) 住宅の要求——委員会は家を建てるについてどういう寸法が使い易く便利か、あるいは身障用住宅の要求に合うかを決定する。

第 503条 連邦契約下の雇用——

個人的な財産や団体的なサービス(建設費用など)を確保するために、支払われる金額で2500ドルをこえるものについては、下記の条項を契約書に含むこと。たとえば、身障者を優先雇用することなど。この契約が行われなかった場合には、労働局に提訴することができる。

第 504条 連邦助成下の無差別待遇——アメリカにおける資格のある障害者は、単に障害があるという理由だけで、参加を拒否されたり、恩典を否定されたり、あるいは連邦の財政援助を受けるいかなる計画や活動でも差別を受けることはない。

大統領は上記の法律に示されている計画を推進するため、7億ドル以上の予算を含む追補法案に73年9月、署名した。

編集注：この法律の原文を欲しい人は下記に連絡すること。

Dr. Andrew S. Adams,
Commissioner, Rehabilitation
Services Administration, P.O. Box
2366, Washington D. C. 20013
U. S. A.

身体障害者の 公民権法案(1)

合衆国の障害者は、要求や目的の一致で少数者集団を構成してはいるが、アメリカ人が生得権であると信じている生命、自由、幸福の追求といったものを、自らの為に獲得しようとしているが故に、

又、いろいろな場面にいろいろな形で現われる妨害や障害物が、障害者の人生の望みの達成を、大変決定的に妨げるが故に、又、アメリカ人は、知識の不足や誤った情報により、障害者を、便宜の払われるべき仲間であり、かつ市民として平等の機会が与えられるべき仲間であると気付いていないが故に、

又、国会、大多数の州議会、郡、市(町)会では、健常者が人生を楽しんでいると同じ程には、障害者に対してはまだ法律的に確立されていないが故に、

次の如く解決されなければならない。

1——健康

全ての障害者は、人種、宗教、経済的階層、民族起源、性別、年齢、社会状況に関係なく、病院、診療所、リハビリテーション・センターでの最大限の総合的な、診断、治療、リハビリテーション、フォローアップが与えられなければならない。

2——健康

全ての障害者は、より可能性をふやし、より快適に生活出来るようにする為の、視力補正、補装具、自助具が与えられ訓練されることを望んでいる。

3——教育

全ての障害者に、自己の能力に応じ、望む程度に応じた段階に到達するまで、正規教

育のあらゆる機会が与えられなければならない。

4——雇用

全ての障害者は、その必要に応じて、社会的に障害を感ずる面での残存能力に相応した特別な訓練を受ける機会を持つべきで、それによって、自由競争の労働市場に復帰する可能性がでてくるかもしれない。

5——雇用

全ての障害者は、他の人達と同等の生産力、能力、行動力があれば、作業、昇進、給与、作業負担、各種手当といった言葉で表現される同等の待遇がされるよう、法的に平等の機会が与えられなければならない。

6——雇用

障害が重度である為に一般の労働市場へ参加することが出来ないと思われる障害者には、授産所や在宅雇用、その他保護された状態での限られた作業の中で、特別な訓練と雇用の機会が与えられなければならない。

7——雇用

全国的規模の助成金で、自由競争の労働市場では働けない重度障害者全員に対して、授産所で一定の限られた作業につく機会が提供されなければならない。

8——住宅

人間としての尊厳をもち相応しい快適さで生活できる機会を与える為、全国的規模及び地方独自の計画で障害者に対する特殊住宅が作られなければならない。

9——建築上の障壁

連邦、州及び地方議会は、ビルディング、リクレーションや文化社会的施設及び公共施設での建築上の障壁を除去することを求める法律を通過させた。又、同時に、新しい建造物に対する建築規準も含まれるであろう。

10——建築上の障壁

連邦、及び地方議会は、障害者が快適に使用できるよう、歩道やビルディング、建造物改修の規準とその期限を設定すべきである。

11——公共交通機関

各地域社会その他の法律で定められた当局では、現在ある大衆輸送システムの改修も含めて、障害者のための特殊な交通機関と新しい、特殊設計の交通施設の発展をはかるため、計画と規準を確立している。

12—所得維持

障害のため自立できないあらゆる障害者は、充分快適に、尊厳をもって生活できる連邦規準を下まわることのないよう、最大の保障が与えられなければならない。

13—公共機関の監督

連邦、州、地方法で、障害者を制限するような公共設備の構造などに対して、建物、設備、援助、職員、サービスなどその便宜の最大限の規準を制定しなければならない。

14—市民権

市民権の立法者である国及び地方政府は、区別することは違法でないとするカテゴリーの中に障害者を含めることは改めなければならない。

15—訓練

保健、教育、リクレーション、福祉の分野で、障害者が専門的、非専門的仕事につけるよう、連邦及び州の助成金付き訓練計画が確立されなければならない。

16—研究

連邦議会は、障害状況と障害者の問題を扱う基礎と応用分野で、研究と実証の新計画を拡大、発展させるよう制定すべきである。これらの権利は、合衆国の障害者の福祉にとって急を要するものであるから、一層の解決がはかられるべきものであり、国民指導者の計画の中で、最優先権が与えられなければならない。

Arthur S. Abramson, M.D.

Bernard Kutner, Ph. D.

ARCHIVES OF PHYSICAL MEDICINE AND REHABILITATION

身体障害者の 公民権法案(2)

この「身体障害者の公民権法案(2)」は、1973年5月3日、ワシントンで開催された全国脳性まひ協会年次総会に提出されたものである。300の脳性まひ関係の団体の数百人によよぶ代表者が、この基本的権利を支持し、押し進めてゆく約束のもとに署名をした。そして1973年5月4日、会員によって正式に認められたのである。

序文

我々は、全ての人間は平等に生まれ、譲渡できない権利を創造主から授かっており、その中には、生命、自由、幸福の追求があるという真実は、自明のことであると信じている。

個人の権利は、十分に成長・発達する能力を持って生まれるべきことと、生得権は胎児の環境と世の中に人間として登場するのを守るサービスで保障されるという固有の権利に始まる。

これらの生得権が否定されたり他の原因で障害を受けた人々は、成長・発達を最大限に促進する対策がとられ、合衆国憲法に列挙されている自由と特権に基づいて、すべての人にふさわしい尊厳と尊敬、機会が与えられる権利を持つ。

最上の市民としての特権を自ら獲得できない障害者に対して、社会は、その人生の最も幼児期よりこれらの権利が確かなものとされるような方策を準備し、維持し、保護しなければならない。これらの対策が、特別な「身体障害者の公民権法案(2)」である。

身体障害者は次の権利を有する。

1. 障害の予防

可能な限り幼児期異常の早期発見、ただち

に家族指導を開始しそれを継続すること。
最大限の可能性が達成されるまで包括的ハ
ビリテーション・サービスをすること。

2. 健康保持と医療

全身的状态の保護と身体障害に起因し必要
とされる特別なサービス。

3. 教育

アメリカ教育の正規な過程を通ることによ
り知的能力を最大限に開発すること。

4. 訓練

自己の素質と能力にあった職業及び趣味の
ための訓練。

5. 労働

その能力があり準備できている作業につく
こと。

6. 収入

障害のない人と同程度の生活様式を維持す
るのに十分な収入。

7. 自己に適した住居と生活様式

普通の家で生活ができない場合には、自分
の要求に合ったように住宅の便宜をはから
れた中で生活すること。

8. 公共施設の障害物除去

ビルディング、交通機関、社会施設、リク
レーション施設、劇場などの障害物除去。

9. 自立

自分の力でできることや、行動・コミュニ
ケーション・日常生活動作などで必要な援
助を得て、あらゆる方法を通して自立する
こと。

10. 請願

他の人々によって楽しく過ごさせてもらえ
るような機会を得る社会制度や場面を請願
する。障害者は、見落しや大衆の無関心又
は差別待遇によって否定されてしまってい
る。

患者の公民権法

アメリカ病院協会の委員会では、患者の権
利に関する次の如き定義を準備して、全国の
メンバーになっている病院に配布した。

患者には次の権利がある。

- (1) 思いやりがあり礼儀正しい取扱いをうけ
ること。
- (2) その患者に理解できる言葉を使って、診
断、治療、予後について主治医から最新
の情報を得ること。
- (3) どんな手続きも治療も始める前に、それ
に同意するのに必要な情報を主治医から
得ること。
- (4) 法律の許す範囲内で治療を拒否できるが
その場合、自分の行為の医学的重要性に
ついて知らされること。
- (5) 医学的計画に関してのプライバシーへの
あらゆる配慮がされること。
- (6) 自分の看護に関する通信や語録は秘密に
されるべきだと期待すること。
- (7) 病院として出来る範囲内で、サービスに
ついて患者の希望に応じてくれるにちが
いないという期待をもつこと。
- (8) 患者の看護に関する限りにおいて、病院
内の他の健康管理や教育設備の関連につ
いての知識を得ること。
- (9) もし病院でその患者の看護や治療に効果
的な人体実験が行なわれているのならば
助言されること。
- (10) 看護を適当な期間継続してもらえると期
待すること。
- (11) 明細記入のない勘定書きの審査と説明を
受けること。
- (12) 患者としての行為に適用される病院の規
則を知ること。

(訳一岩坪奇子)

カナダ・アルバータ州 からの便り

こちらの呼吸器系ポリオ患者達は、かつてない程忙しい日々を送っています。秋には、患者と、リハビリテーション部門が、大学病院から Aberhart (アーバーハート) 病院に移されました。物理的には、2 街区動いただけなのですが、(アーバーハート病院は、大学複合体の一部なのです。) その改善されたところは——大きな面積の病室ではなく、むしろ個室になり、素晴らしい休憩室、広々とした事務室、パテオ (スペイン風内庭)、一階の通路等——大変なものです。患者たちは、恒例のクリスマスパーティを催し、そして病院の

of Mouth and Foot Painting Artists) の正会員に昇格することができるかもしれません。

コンピューター・プログラミングの事業は、6 人の非身障者を雇い、下町の事務所から脱出するところまで、拡張するに至りました。彼らは処理出来る仕事は全て、取り扱っています。

Jeanie Mark が 10 月に結婚し、Gordon Packer 夫人となって、彼女のアパートで暮らしています。

Connie Kowalski も同様に、Bill Clark と結婚しました。Bill も多発性硬化症なので車椅子に乗って暮らしています。地元の社会開発局が、1 ヶ月 800 ドルもの額の費用を全部、支払ってくれています。

騎手の Clayton May と Bob Johnson は、まだ仕事を続けていますが、彼等の厩舎を建

世 界 の 友 達

雰囲気は引き継がれて残りました。それで皆、これから先は、うまくやって行けると信じています。対麻痺患者も、アーバーハート病院で看護を受けています。そして、もっと高いレベルの看護が受けられることを楽しみにしています。さてそれでは、私共呼吸器系ポリオ患者ひとりずつの最近の出来事をご紹介します。

Henri Baril は、頸部から下が完全に麻痺しているのですが、2 年前に結婚しました。そして、およそ 4 か月前に、双生児の父親になりました。皆さんも、御想像出来ると思いますが、とても感動的でした。彼は、口と足を使う、両手の使えない画家の為の、国際身障者芸術協会 (International Association

て直すことにしました。現在、3 頭の馬を所有しています。

Gary McPherson は、パラリンピック・スポーツ協会の——カナダで最も忙しく、そして最も優れた、車椅子スポーツとリクリーションクラブの一つですが——会長の仕事を続けています。

エドモントン市は、ケベックから 21 人 (うち 14 人は身障者) の団体を迎え入れました。そして今度はエドモントンから、同数の人が、モントリオールを、お返しとして訪問することが、計画されています。資金は連邦政府によって支給されます。

一般的に言えば、身体障害者にとって、状況は良好です。州政府は身障者に対して、優

先的に行うべき事柄の一つを、促進して行ないました。エドモントン市では、下町の交差点には、傾斜路をつけ、優れた特別低所得者用住宅を建設し、移動方法システムの改善に取り組んでいます。身障者達は、市当局によって行なわれる、すばらしいリクリエーション計画に、徐々に、参加しはじめています。

そして、より多くの人々が、学校や大学に行き、コミュニティ・カレッジ（地域社会の専門学校）に出席し、職を見つけ、そして、一般的に言って、その地域社会に於いて、正当の地位につくようになりつつあります。最初は身障者自身によって、次に一般の人々によって、何と多くの、身障者の主張が、追求されつつあるかは、目を見張らせるばかりです。将来に期待が持てることには、単に専門的な機関だけが変革を押し進めることに専念するという時代は、消え去ったのです。

現在では、身障者の問題は、全ての人間の関心事になっていると、思われる程です。

Pierre Gariepy
Executive-Director
Canadian Paraplegic Association,
Alberta Division, Edmonton Region
10996-124 Street, Edmonton, Alberta
T5M0H8, Canada
(カナダ対麻痺協会理事)

文通を希望します

私は音楽と絵画の趣味の他に、オカルトの種々な領域に、次第に興味を感じています。特に、精神感應術（メンタル・テレパシー）つまり一般的に言うESPに興味があります。同じ様なことに興味のある方、是非連絡して下さい。また、大学に通っている、私の様な人と、文通を希望します。（私は、生まれつき手足がなく、義肢を使っています。）

Terry Haffner, 4600 Dorarrow Drive,
Fort Wayne, Indiana 46825, U.S.A.

☆

私は、シャルコー・マリー・トゥース症の人々と知り合いになりたいのです。それで、共通の関心事や問題について、文通が出来ればよいのですが。患者同志が語り合う方が、医者や療法士、そしてリハビリテーション・センターが結合するより、もっと有益だと思うのです。

Mildred Levenson, Apt 6B. 185 East
162 St. Bronx, New York 10451,
U.S.A.

☆

私は、音楽、読書、旅行、写真、スケッチ、絵画が好きです。骨とう品やしおり、ハンカチーフ、そして外国のクリスマスカードも集めています。私は、リウマチ性関節炎で身障です。

Yvonne M. Romasas,
12850 S. Parnell Ave.
Chicago, Illinois 60628, U.S.A.

☆

私は59才。身長4フィート7インチです。（骨の退化する関節炎の為に、股関節が手術する毎に弱くなるのです。）2年前に右の股関節を手術し、チャンレー式人工股関節をとりつけました。手術はあまりうまくいかず、1年後に、人工関節を除去し、現在まだ回復しきっていません。それは、ガードルストーン（girdlestone）型の手術と言われているものです。現在は、ウォーカーもつかいますが主に、電動車椅子を用いています。起きたり歩いたりするのは杖を使ったり、回りにあるものにつかまったりしています。私は、ただ、あきらめたくないのです。

Mrs. Ray A. Piper, 32 Marion Rd.,
Hollywood, Florida 33023, U.S.A.

☆

フリードライヒ失調症として知られている病気の為に車椅子の生活を余儀なくされていますが、ここ8年間、毎週金曜日の夜、私は「冒険して」プールで水泳をしています。私の水泳能力を証明するならば、今迄に、5個のカップ、4枚の水泳認定証、7個のバッジ、それに、3個の水泳熟練者バッジを受け

ました。

A.R.Smith, Franklin House, Shaw Way,
Roundshaw, Surrey, England

☆

孤独な対まひ患者が、同じ対まひの人や、グループと文通出来るところがあったら教えて下さい。私は25才で、損傷して7年になります。

Albert Pfau, 1201 S, 9th Avenue,
Yakima, Washington 98902, U.S.A.

☆

先号のギャゼット誌に、世界のあちこちの地方から寄稿がありました。アフリカからのものはありませんでした。私は南アフリカ共和国からの情報をお知らせし、アフリカを代表したいと思います。南アフリカの雑誌の記事に使用したいので、様々な製造業者の人に、小冊子や写真を送ってほしいのです。 (私はC4-5の四肢まひ者です。)

Lane Flint, P.O.Box 171, Clocolan,
Orange Free State, Republic of South
Africa

☆

私は1938年、2分脊椎で生まれました。私の趣味と活動は、自由な立場でものを書くこと、地区の多発性硬化症者のクラブでのボランティア活動、文通、どんな種類の音楽も好きなこと。釣り、コイン収集、読書、そして都会よりも田舎が好きなこと、等々です。

Stuart Rosen, 324 E. Northampton
Street, Wilkes-Barre, Pennsylvania
18702, U.S.A.

☆

私は30才。1971年に「ハンディキャップーホライズンズ」のツアーで、合衆国へ行きました。私はロイマ様関節炎(RA)の身障者です。助けてもらえば、ほんのすこし歩けます。昨年、青年身障者クラブ(Young Disabled Club)で、スペイン沖のイビスサという小島へ旅行しました。私は26才から36才迄の旅行の好きな対まひの男性と文通したいと思います。手紙を書くことも、受け取ることも大好きです。

Georgiana Rogers, 10 Homecroft
Gardens, Loughton, Essex IG 10 3RB,
England

☆

フロリダからこんにちわ！母と私は、フォード・バンを購入し、リフト(昇降機)を備えつけました。そして一年間にわたり、行きたいと思う所はどこにでも出掛けて、素晴らしい旅行をしました。私は43才。進行性化骨性筋炎と呼ばれる病気によって、段々四肢がまひしてきています。1964年以来どこへも行けなかったのですが、今は(気分のよい時に)いつでも出掛けられます。

Miss Shirley Lee, 5064 Ivywood Road,
West Palm Beach, Florida 33406,
U.S.A.

☆

私の趣味と気晴らしになるものは、切手、コイン、記念スタンプ、マッチのラベル等々を収集すること、文通、それに読書です。私は末日教会信者です。1960年以来身障で片足が悪く、片方の耳もほとんど聴こえません。

Miss Marie Vengergriff, 10526 Walden
Street, Daisy, Tennessee 37319, U.S.A.

☆

私は当地の刑務所で、身体障害者援助計画をたて、実行に移す収容者のグループ活動を始めました。このグループは既に活動を開始していて、生れつき両手のない、ある若い女性の為に10,000ドル集め、特製のバンを買いました。また、当地バージニアの身障者のために、療法用の玩具を組み立てる作業工場も始めたところです。役に立つどの様な情報も、有難くお受けします。

Clarence R. Sipe, Jr., Drafting Teacher,
Virginia State Penitentiary, 500 Spring
Street, Richmond, Virginia 23219, U.S.A.

☆

「友情の扉」(Friendship's Door)は、身障者が、手紙を書く事によってだけでなく、手紙をテープに録音することによって、お互いをより良く知ることが出来るように力をかけています。もっと詳しく知りたい人は、

Maxine Gabe に、手紙を下さい。

Maxine Gabe, 545 N.E.121 Street,
North Miami, Florida 33161, U.S.A.

ハリスコの

身体障害者協会

住所：Escorza 442, Guadalajara, Jal.
México

☆

昨年、グアダハラハの身障者グループが、Association of the Physically Handicapped in Jalisco (ハリスコ身体障害者協会) と言う1つの組織を作った。下記のスペイン語の声明文は、彼等の目的を定義し、現在のプロジェクト、及び将来の計画を詳細に記している。

現在、彼等はリハビリテーション・ギャゼットのスペイン語版を出版する為に、資金を集めている。又、世界中のスペイン語を話す身障者の元へ届けようと努力しているところでもある。彼等は、身障者が行動することによって学び、又発明家が自分達のアイデアを実現させることが出来る様な、作業学校といったものを始めようと計画している。

会長はArturo Heyer氏で、住所はEscorza 442, Guadalajara, Jaliscoである。

グアダハラハのこのグループは、同じ様な目的を遂行する為にクエルナバカに作られたもう1つの身障者のグループと、親密に活動している。会長：Arturo Gomez 住所：Condominio Tlaltenango, No.9 Avenida Emiliano Zapata, Cuernavaca, Morelos

☆

「身障者とは、その肉体的欠陥の程度により、障害が彼にもたらし、そして通常の生活を送るのに伴ういろいろな仕事の実現を、多少とも困難にしている、大小の問題を克服して行く人のことを言う。

身障者が会おう問題は数限りない。その幾つかは余りにも大きい為に、身障者を、自分自身では何も出来ない、全くの無能者に変え

てしまう。

ハリスコの身体障害者協会は、一年少し前に、お互いに助け合う為に自分達の力を合わせよう、と言う、ある青年身障者のグループの理想の下に生れ、以下の達成を、自分達の責任とした。：

I) 国際的水準のリハビリテーション情報の専門誌を作る。

英語では、この様なタイプの文書は数多くあるが、スペイン語でのそれに相当するものがないと訴えたいのは、如何なる企画でもその実現には情報が基本になる、ということを知っているからである。

身障者は、多様をきわめ、又、一人では解決出来ない自分の問題に関する情報を必要としている。

我々の雑誌 リハビリテーション・ギャゼット (Gaceta de Rehabilitación) は、もう印刷に回せば良い様に準備出来ている。全世界の身障者が、この雑誌に寄稿してくれた。この雑誌を通じて、メキシコの身障者、そして一般に、南米の身障者は、自分が一人でないことを知り、自分と同じ様な状態の人々のことを学び、そして、例えば、科学の世界が、中枢神経組織の損傷や、病気(麻痺)の完全な治療を研究していることを知るであろう。又、同誌には、その他に新しい器具や身障者にとって有用な装置に関するレポートも発表される。

II) 職業安定所及び職業訓練所：第一段階として、協会の作業学校を設立する。

a) 当作業学校の利用目的は、車椅子に乗った身障者が、容易に利用出来るようにすることである。

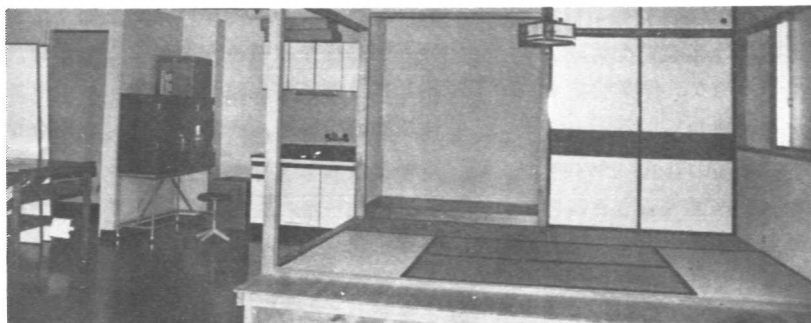
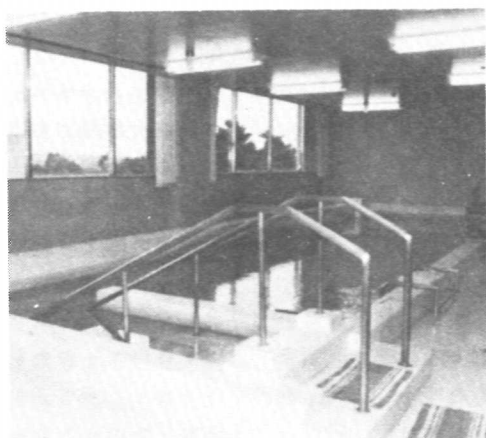
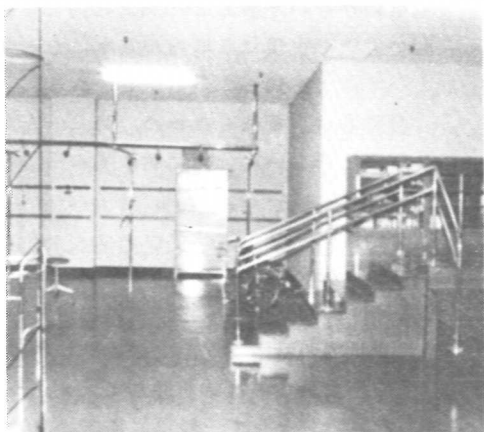
b) いかなる身障者も、やりながら学ぶ機会を持つということ、即ち、手芸品から、自分自身にとって有用な整形外科器具や整形外科以外の器具まで、多種多様の物を創り乍ら働くことである。

c) 我々の作業学校では、身障者は、自分達の考えを独創力をもって、実現出来る。

新しいリハビリテーションセンター

今秋完成した東海大学医学部付属病院の1階には、リハビリテーションセンターが完備しています。ここには、理学療法室・運動療法室・水治療室・作業療法室・日常動作訓練室・言語治療室があります。

- ①運動療法室 ②水治療室の運動浴槽
③日常動作訓練室



A | B
—|—
C

身障者の間でも、新しいメカニズムに対する、異常なまでのアイデアがあふれ出しても、何も不思議なことではない。「必要は発明の母である」という言葉は、身障者にも適用され得るのである。これ迄、身障者の自助具が数多く発明されたが、どれも経済的に手が届かないか、又は、完全に個人の必要を満たすまでには至らなかった。我々の作業学校は、これらの多くの問題に対する解決となるであろう。

ハリスコの身障者協会は、IJAS（ハリスコ社会救済事業協会）への加盟を受け取ったばかりである。これにより、上述の救済事業協会を通じて、公けの減税を、合法的に申し出る権利が与えられたのである。メキシコは、この重要な仕事を理解してくれるであろう。どうぞ支援をしてほしい。

“意志、団結、そして労働”

——身障者の独立のために——

(訳一和泉圭亮, 和泉利子)

自助具

「ギャゼット誌」では宣伝は一切していません。ここに載せている補助具や自助具は読者の手紙やその他の情報をもとに、編集者が集めたものです。読者の皆様が、パンフレットや最近の価格を取り寄せ検討できるようにとの考えから掲載しています。

「ギャゼット誌」はいかなる製品も特別に推薦したりしませんし、又記されているおおよその価格についても責任は負いません。

新型リクライニング式電動 車いす

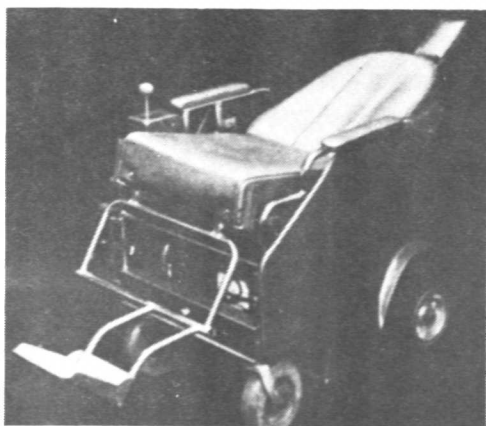
技術設計コンサルタント

M. Eugene Nelson

私は1936年にフットボールの事故により怪我をした54才のC-6四肢マヒ者です。幸運にも回復が良く、この約20年間介助なしで歩くことができました。この間に私は大学で機械工学について学び、ある航空会社に技術者として就職し、最愛の妻Normaと結婚し、3男1女の子供をもうけました。

丁度、1956年の前の頃から、私は筋肉の知覚の機能が次第に衰えるのに気が始めました。そして、その原因を調べるため2回目の椎弓切除術を受けました。診察の結果、最初の脊髓損傷をとり囲む外膜が化膿、肥大して、クモ膜炎になっていることが分かりました。

外科手術のショックの結果、私は永久に車いす生活を余儀なくされることになりました。私は神に祈り、奇蹟を信じ続けましたが、ついに諦めて、車いす生活に入る決心をしました。知識も専門家の指導もなく、私は足を切断する原因となったじょくそうの問題に取り組み始めました。Rancho Los Amigos 病院で、2ヶ月間のリハビリテーションを受けた後に購入したE&J社の電動車いすに、コンチネンタルパワーシートから取り出した旧式の5ドル(約1500円)の発動機を利用して電動リクライニング背もたれをつけました。この車いすの良い点は、圧迫創が広がるのを周期



私は新しいリクライニング式電動車いすの製作に関心を持つ信頼できる製作者を探しています。背もたれが、後に倒れるにつれて座席の前部が一たん上がり、それから再び下ります。そして足台は徐々に上るようになっていきます。

的にやわらげ、筋肉の疲労を軽くして血行を良くすることです。

私は生じてくる新しい困難を解決するために、技術者としての私の才能を活用し始めました。私の電動車いすの自動車への積み込みなどの問題は、Porta-Ramp運搬器の設計により解決しました。仕事のための、自分の身の周りの品物を管理するため、いすに据えつけられる機が必要になり、Porta-Deskを開発しました。以上2つの製品は現在下記の会社が市販しています。(Trujillo Industries, 815 Nash Ave., El Segundo, California 90245, U.S.A.)

私が現在計画中のものは、現在市販されているものより、もっと魅力的なリクライニング式電動車いすです。この車いすでは、背もたれが次第に下るにつれて、座席の前部が一度上り、それから下がり、又、足台は徐々に上るようになるので、乗っている人が滑り落ちることがありません。又、劇場の通路のように傾斜した場所に車いすを停める時は、座席の背もたれ全体が後に傾くようになっています。原案の全重量は250ポンド(約113kg)です。20マイル(約38km)範囲を動くのなら、室内でも室外でも楽に安全に使用することができます。幅はたった22インチ(約55cm)で現代的なファイバーグラス製のカバーが枠組と機械装置を覆っています。

私は車いすの開発のために準備した資金を使い果してしまっただけで、私の設計する車いすを製作することに興味を持っている信頼できる製作者を探しています。製品販売当りの若干の公正な特許使用料を受け取る代りに、私はおしみなく技術援助をするつもりです。私の得る特許使用料は、次の新しい製品開発に投入するつもりであり、金を儲けることは目的としていません。私の開発した車いすが誰かの役に立つのを見ることを楽しみにしているのです。

私はフルタイム就業をやめるように医者にすすめられたので、現在は障害者用の特別な補助具を設計することに専念しています。又、私の母校、San Diego 州立大学の100人の身

障学生が特別な設備を獲得できるように、大学の身障学生サービスの責任者達と協力しています。身障学生達は現在特別な休憩室とバン型自動車と学内を動き回るのを介助する学生介助者を得ています。

私は、自分で設計した最近完成したばかりの家に住んでいます。扉は幅広く、玄関ホールのスペースも広く、入口には斜路がついていて、車いすのまま乗り入れできるシャワーや、寝室には移動用の高架式電気リフトがあります。そのリフトは500ポンド(約227kg)に耐えられる電気鎖巻上機で天井の滑車から吊り下げられています。私は坐ったまゝの姿勢でベッドから椅子に自分を持ち上げるために脇の下と脚にかけてつり上げる特別な三角形のつり上げ具を造りました。もう一つの工夫は、扉の把手を四肢マヒ者の手でもまわしやすくするために、把手に直径2インチ(約5cm)の凸凹のある締め金をつけたことです。段差のない私の家から、電動車いすで、州立大学(1マイル=1,600メートル離れている)やショッピングセンター、教会、近くのレストランに楽に行くことができます。

住所 M. Eugene Nelson
4921 Gary Street, San Diego,
California 92115, U.S.A.



私の設計した Porta-Ramp 運搬器の上を新型車いすが昇っていくところです。



新しい英国製車いす

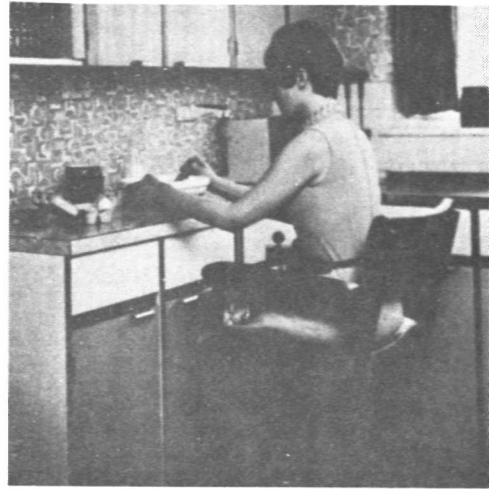
Newton という名称のこの車いすは、アルミニウム製、折りたたみ式で超軽量（30ポンド≒13.6kg）です。後輪、肘掛、足台は取りはずしできます。三方面の寸法は25 $\frac{1}{4}$ インチ(63cm)×24 $\frac{1}{4}$ インチ(61cm)×22 $\frac{1}{4}$ インチ(56cm)です。製作は英国 Spastics society の経営する身障者が従事している工場で、米国ではニューヨーク市のUCPが卸売り原価で販売しています。無料パンフレットがありますので下記に御連絡下さい。

Internatinal Marketing Program,
UCP of New York City, 122 East
23rd Street, New York 10010, U.S.A.

自動車に取り付ける 斜路

DAF(現在はボルボ社)44 Automatic型自動車の運転席は取り除かれ、折りたたみ式斜路が扉の敷居の所に取り付けられています。床の部分は、斜路の角度をやわらげるため4インチ(約10cm)下がります。車いす運転手が介助なしに昇ったり、降りたり、又斜路を折りたたむことができる様に斜路にはバネが取り付けられています。

自動車に乗り込むには、電動車いすは後向



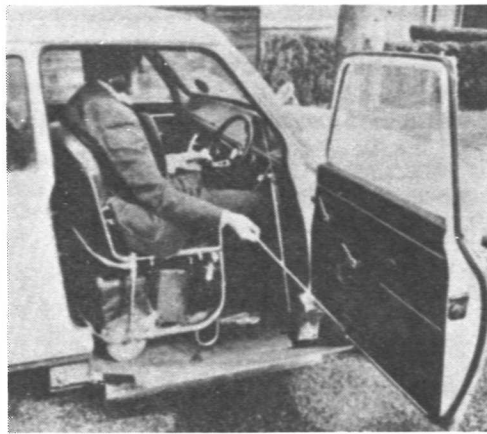
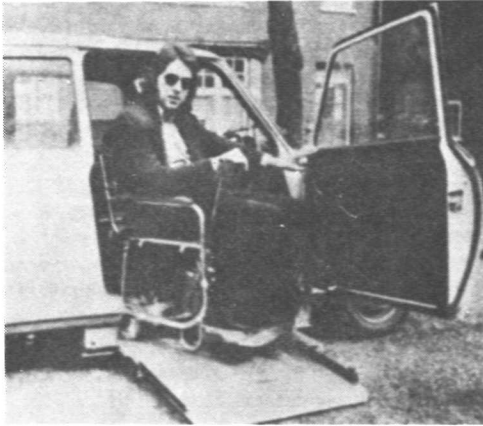
The Queensway

電動いすはどの方向にも回転し、ひっくり返ったりはしませんし、大変楽に滑るように進みます。製作会社は米国での販売代理店を探しています。

White Batley and Co.,
Spring wood Industrial Estate, Rayne
Road, Braintree, Essex, CM 77 RD,
England

きになって斜路を昇り、車輪を後に位置づけ適当な場所に固定します。それから斜路を上げます。斜路は扉と車いすの間に邪魔にならない様におさまります。手動の運転装置が取り付けられていて、その他いろいろな小規模な改良が下記の会社で行われています。

West-Town Motors Ltd.,
Huddersfield Road, Dewsbury,
Yorkshire, England



斜路とドアの工夫 バン型自動車とリフトの 追加補充

1973年版ギャゼット誌（「リハビリテーションギャゼット」第3号24頁参照）はバン型自動車とリフトについて特別記事を載せました。その後、名称・住所の変更、新メーカーの追加等ありましたのでお知らせします。

○名称及住所変更

The Braun Corporation, (旧名 Save-A-Step) 1014 South Monticello, Winimac, Indiana 46996, U.S.A.
R.J. Chair Lift Company, Inc., 7228 West Madison, Forest Park, Illinois 60130, U.S.A.

ギャゼット誌の会計係 Doris Jones はバン型自動車を購入して、リフトをつけました。リフトの費用は州の職業リハビリテーション局が支払いました。

○新メーカーの追加

Maxon Industries, Inc.,
1966 East Slauson Ave., Huntington Park, California 90255, U.S.A.

Maxon Industries,
Highway 11 South, Box 1089,
Monroe, Georgia 30655, U.S.A.

上記2社は、移動式電気動油圧リフトを製作しています。

The Cheney Company,
7611 North 73rd Street, Milwaukee, Wisconsin 53223, U.S.A.

上記会社は全国的に代理店を拡充しました。最寄りの代理店に問い合わせして下さい。

車いすおよび付属品

機能的な車いす

A.G. Garris 氏が車いすを選ぶ時の手ご
ろな案内書を改訂しました。無料で頒布して
います。

A.G. Garris (リハビリテーションコン
サルタント)

State Department of Rehabilitation,
Rancho Los Amigos Hospital
(Building 214) 7601 East Imperial
Highway, Downey, California 90242
U.S.A.

新しい階段を昇る車いす

下記の両下肢マヒの機械設計のベテラン
が6年の才月を費やし、4台の試作を経て、
階段を昇る車いすを工夫開発しました。製品
は1974年10月頃出る予定です。

Henry McMahan, Route 1, Box A-36,
Saunderstown, Rhode Island 02874
U.S.A.

楽に車いすを操作するための付属品

一組の「Wheel-eye」を取り付けると、速
度を早くし、機械的にてこの力を増し楽に車
いすの操作ができるようになります。たい
ていの標準車いすに取り付けることができ、又、
車いすが持運びにくくなることもありません。

Wheel-eye Company

P.O. Box 561, Kenmore, Washington
98011, U.S.A.

バッテリー式成人用三輪車

成人用三輪車「Pedalelectric」は手でも、電
気でも操作でき、持ち運び、分解及再組立
ても楽にできます。自重94ポンド(42.5kg)。負
荷容量は人間ならば300ポンド(136kg)まで、
全重量500ポンド(227kg)まで乗せることが
できます。

下記にてパンフレットを頒布します。

Enclon Products,

James Research Division, 1 Morris
Avenue, Glen Cove, New York. 11542,
U.S.A.

二段階出力アタッチメント

この12ボルト、又は24ボルトの装置をつ
けると速力と傾斜上昇力を増すことができ
ます。低スピードで走行するように調整する
こともできます。

Motorette Corporation, 6014 Reseda
Boulevard, Tarzana, California 91356



可動式アゴ操縦装置

装置は標準電動車いすの左側か右側に簡単
につけられます。

製作者 Motorette Corporation
6014 Reseda Boulevard,
Tarzana, California 91356,
U.S.A.

リモートコントロー ル装置

リモートコントロール装置についての情報
が下記の設計者、製作者から提供されていま
す。

● "Genie"

設計者 Dean Tougas

住所 923-23rd Street East,
Seattle, Washington 98112,
U.S.A.

- “Touch Operated Selector Controls”
(一寸触れただけで作動する選別装置)

開発者 Department of National
Health and Welfare,
Sunnybrook Hospital,
Toronto, Ontario, Canada

- ・ “Modular Communication Device”
「Archives of Physical Medicine
and Rehabilitation 1974年2月号」の
記事によるもので、下記にて販売して
います。

Silas D.White, Ph. D.,
Department of Psychology,
Muhlenberg College, Allentown,
Pennsylvania 18104, U.S.A.

- ・ “Nu-Life”

製作者 Scientific Systems Inter-
national,
2024 Wooddale Drive,
Huntsville, Alabama 35801,
U.S.A.

コミュニケーション

言語障害者に関する講習会が、2月、3月、4月にChicago市、Boston市及太平洋沿岸地区で開催されます。対象者は臨床医と臨床医を指導している大学です。主題は「重度言語障害者用コミュニケーション装置に関する全国講習会」です。詳細については下記に連絡して下さい。

Warren P.Brown
922 E.R.B., 1500 Johnson Drive,
Madison, Wisconsin 53706, U.S.A.

その他の補助具

スウェーデン製自動車Saab

身体障害者用の特別装置を取りつけたスウェーデン製の自動車 Saab 型式99が現在米国で市販されています。この自動車は手動のブレーキ及加速装置と90°回転し、移り乗りしやすい様に約4インチ(10cm)程、扉の外に押し出される前部座席が設置されています。

自動車用遭難信号旗

4本のプラスチック製の明るい「助けて！」と書かれた旗が詰合せて一束になっています。

製作者 Doug Norman Associates,
305 Angus Street, Victoria,
Texas 77901, U.S.A.

カナダの遭難信号旗

車いすシンボルマークと「助けて！」の文字が印刷されている四角形のビニール製旗で、ひっかけられるようになっています。

製作者 Delta Distress Aids Signals
for the Handicapped Society
(D.A.S.H.), P.O. Box 133, Delta,
British Columbia, Canada

緊急信号

普通の電気目ざまし時計に鮮紅色の閃光灯をつけると $\frac{1}{4}$ マイル(約400m)先からも見えます。この操作は延長コードの端につけた病院型スイッチか又は直接緊急ボタンによって行います。

販売会社 N-P Corporation
Box 117, Sarasota, Florida
33578, U.S.A.

水マットレス

水を充填したマットレスは、身体の特に出迫される部分の重さを軽減する十分な弾力性を持っており、又十分固いので動きにくいことはありませんと下記の会社は言っています。

す。普通のベット用枠組で使用出来、特別な加熱器は不用です。

製作所 Stebco Industries, Inc., 1020
West 40th Street, Chicago,
Illinois 60609, U.S.A.



Clapper Dapper

たいていの靴に皮ヒモで取りつけられるアルミニウム合金製の板である。底にゴム製の底材を貼ると滑り止めとなります。価格は約8ドル(2400円)です。

開発者 Oregon Medical School
Susan B. Hanks, R.P.T.

販売元 UCP workshops, 5417 South-
east 72nd Avenue, Portland,
Oregon 97206 U.S.A.

新しいマウススティック・ホルダー

IBMの修理人はScubaの調整器の口金を試してみたらどうかと言っています。スポーツ店でたった1ドル(300円)で販売しています。

本の頁めくり器

感度のよいスイッチにより、テープでカバーされたローラーが本や雑誌の上を滑り、頁をめくります。スイッチはあごや肩の他何によっても操作できます。

製作者 WTB, Inc.,
2647 Tod Ave., N. W., Warren,
Ohio 44485, U.S.A.

読者のアイデア

ズボンを収尿器に合わせて改修すること

脚につける収尿器を使用しており、ズボンの脚が狭くて困っている男性は、洋服屋か誰か裁縫の心得のある人に、股下の縫い目をスソから必要に応じて4~5インチ(10cm~12.5cm)程割ってもらい、そこに三角布のマチを入れ、これにヒダをつけしっかりアイロンがけするとほぼきちんと閉じられます。必要なら閉じておくためにスナップかマジックテープをつけると良いと思います。

John Starks

2101 6th Auenne, Scottsbluff, Nebraska
69361, U.S.A.

脳性マヒの男性のための尻当て

私は歩き方の不恰好な痙直性脳性マヒ者です。体重はわずかに112ポンド(51kg)しかありません。1950年代中頃からしょっちゅう尻もちをつくために、長い間職につけなっていました。温熱パットの上に横たわったり、浴槽につかることが不便なことから私はある考えを思いつきました。それは素早くつけたり脱いだりすることのできる尻当てを見つけることでした。私はまず旧式のバスケットボール用尻当てを締めつけることを試みました。その後中古のベッドパットを必要な寸法に切断し、 $\frac{1}{2}$ インチ(約1.3cm)幅の布テープをつけて、締めつけるようにしました。その後腰回りが太って来て、新たな問題が生じて来ました。大型で薄いズボンを買わなければなりませんでした。細いアイビーリーグスタイルのズボンより、フルカットズボンの方がその点でお勧めできます。もし丈の短かい背当てをつけている人がいるなら、尻をカバーするために、両側に厚さ $\frac{1}{8}$ インチ(3mm)のフェルト尻当てを縫いつけると良いでしょう。長目の上着を着ると更に保護されることになり、良いと思います。皆様からの批評を歓迎します。

Raymond H. Greenleaf

68 Commonwealth Drive West, Portland, Maine 04103, U.S.A.

マウススティックで軽く操作できるカセットテープレコーダー

私の今まで見た限りでは、サンヨー A M - FM ラジオカセットレコーダー型式 No. M R 414 P F (カナダでの価格 149 ドル 95 セント) が再生ボタンを押すと、録音ボタンが押されるまで再生ボタンの押されている唯一のテープレコーダーです。

Jim Wallace

4195 Napier Street, Burnaby 2,
British Columbia, Canada

長い靴べら

私は腰部も背骨も硬直がひどいので、特別長い靴べらが必要です。短い鋼鉄製靴べらを長尺の旧式コートハンガー線にハンダづけして、非常に長い靴べらを作りました。見ばえは良くありませんが、無理なく靴をはくことができます。

Bob Hitz

1182 Warren Road, Lakewood, Ohio
44107, U.S.A.

自動車の床面を平らにすること

平らでない床で難渋しないために、私は正確な寸法に切断した一枚の合板を持っています。前輪キャスターが上がると、車いすは楽にころがり、適所におさまります。

John A. Coffin

734 Overbrook Road,
Baltimore,
Maryland 21212 U.S.A.

車いすの固定方法

私は Dodge Maxivan の自家用車を持っています。床の上に一枚の鉄板を置いて、床のでっぱりを覆っています。私はトラック車体メーカーにたのむと数百ドルすると言われた車いすの固定の方法を、たった 1 ドル 50 セント (375 円) で行う方法を工夫しました。そ

れは長さ約 30 インチ (75cm) の大きく開いた逆 U 字型をしており、両端に板がついていて床にボルトで締められます。じょうぶなヒモで後輪と車いすの枠組を床に縛りつけています。

John W. Leibold,

3006 N. High Street, Columbus, Ohio
43202, U.S.A.

歩行器用のカゴ

自転車用のカゴを歩行器の前棒にしっかり留めると、安くて便利です。

携帯用ゆりベッドの設計図

私はこれらの設計図を改良して重さたった 50 ポンド (22.7kg) のゆりベッドを作ってもらいました。旅行をする時便利で快適です。その設計図の写しをリハビリテーション・ギャゼット誌に送りました。

Lawrence R. Wagner

4101 West 54th St. Terrace, Shawnee
Mission, Kansas 66205 U.S.A.

リフトに旅行用補助具をつけること

両下肢マヒの妻のために考えたアイデアをお知らせします。それは Trans-Aid-Lift (乗り移り用リフト) につり具をつけることです。つり具をつけたことにより、私は民間航空機の狭い場所で妻を車いすから座席へ又はその逆に移すことが楽に行えるようになりました。

R.G. Zimmerman

2908 45th Street N. W., Washington,
D.C. 20016, U.S.A.

(Zimmerman 氏は彼の工夫した補助具の写真を持っています。)

(訳一兎玉桂子)

編集後記

★まず雑誌がこのように遅れましたことを、お詫びいたします。第1号が6月、第2号が4月、第3号が3月と、春～夏にかけて出されていたギャゼットが、今回は編集子多忙のため、冬になってしまいました。第5号はまた定時にらせるよう努力いたします。発行は遅れましたが、3号雑誌で終わらずに済んだことを喜びたいと思います。

★今号のトップ記事は“旅行”です。人工呼吸装置の必要な四肢まひの人でも、長い旅行や外国旅行をしているのを知って驚かれる方も少なくないと思います。しかし、日本でも今年の夏は車いすの方々がグループでヨーロッパに旅行しました。外国と同じようなテーマで日本の情報がのせられるようになりました。

★意欲的な研究記事としては、“障害への適応”があげられますが、その中で“自分よりもっと悪い人がいるのを知ってなぐさめられた”というコメントが多いのは、ちょっとひっかかります。下をみることによって慰めを得るとするのは、人間の感情として仕方のないことなのでしょう。

★今号は資金的にはかなり苦しい中で、ださなくてはならないことになりました。購読料その他、読者の皆さまのご協力をお待ちしています。

なお、下記の方々にご協力いただきました。ありがとうございました。

日興建設工業株式会社
出光興産株式会社
(齊藤)

リハビリテーションギャゼットのスタッフ

- 〈編集〉永井昌夫 国立身体障害センター
調 一興 社会福祉法人 東京コロニー
丸山一郎 日本赤十字社語学奉仕団員
社会福祉法人 東京コロニー
齊藤明子 日本赤十字社語学奉仕団員
編集者
岸本舜晴 ボランティア、編集者
佐藤由利子 ボランティア
〈翻訳〉郡司素子 日本赤十字社語学奉仕団員
田村晴美 ボランティア
一方井柝子 日本赤十字社語学奉仕団員
橋詰美知子 ボランティア
平山治子 ボランティア
和泉利子 ボランティア
和泉圭亮 ボランティア
岩坪奇子 ボランティア、臨床心理士
児玉桂子 日本赤十字社語学奉仕団員
東京都老人総合研究所・研究員

〈連絡先〉 〒182東京都調布市西つつじヶ丘
1-54-6 丸山一郎方

リハビリテーションギャゼット No. 4 非売品

1976年11月20日印刷
1976年12月1日発行

編・訳 リハビリテーションギャゼット編集委員会
発行 社会福祉法人 **東京コロニー**
東京都中野区江原町2-6-7
電話 (03) 953-3541 (代)

印刷・製本 コロニー印刷

